取扱説明書

SANYO

ハードディスクデジタルレコーダー
品番 VDH-8000

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、後々のために『保証書』とともに大切に保管してください。

- 製造番号は、品質管理上、重要なものです。
- お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。
- 取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。

目　次

HDD内蔵機器に対する取扱注意事項 ……2

主な特長 ……3

付属品 ……3

安全上のご注意 ……4

はじめに

各部の名前 ……7

接続のしかた ……9
- ■基本接続 ……9
- ■システムコントロール制御 ……9
- ■コントロール端子の接続 ……9
- ■フレームスイッチャーとの接続 ……10
- ■デジタルシリーズ接続 ……10

操　作

内蔵ハードディスクについて ……12
- ■ハードディスクについて ……12
- ■操作表示部について ……14

通常記録領域に録画する ……16
- ■通常録画 ……16
- ■タイマー録画 ……17

アラーム記録領域に録画する ……19
- ■アラーム録画 ……19
- ■プリアラーム録画 ……20

通常記録領域に録画した映像を再生する ……21

録画した映像を検索する ……26

録画した映像を保存（コピー）する ……35
- A ハードディスクのバックアップ領域に映像をコピーする…36
- B コンパクトフラッシュカードまたはマイクロドライブに映像をコピーする ……37
- C バックアップ領域の映像をDDS（DAT）ドライブまたはCD-Rドライブへコピーする ……39

設　定

メニューの流れとメニューの操作 ……42
- ■メニューの流れ ……42
- ■メニュー画面の基本操作 ……43
- ■サブメニュー画面表示中の操作 ……43

メインメニュー ①

時刻設定 ……44
- ■時刻の設定 ……44
- ■外部時刻の設定 ……44

映像入力設定 ……45
- ■フレームスイッチャーの選択 ……45
- ■入力信号の設定 ……45

記録領域設定 ……46
- ■全容量の表示 ……46
- ■各記録領域を設定し直す ……46
- ■記録再開許可の設定 ……47

記録設定 ……49
- ■デジタルシリーズ（最大3台）録画の設定 ……49
- ■通常記録領域の上書き設定と操作表示部への残容量の設定 ……50

通常記録設定 ……51
- ■通常記録の設定 ……51

タイマー設定 ……52
- ■タイマーの設定 ……52
- ■毎日、同時間、同画質のタイマー予約 ……52
- ■24時間以上のタイマー予約 ……54
- ■外部タイマー入力を利用したタイマー予約 ……55

休日設定 ……56
- ■休日の設定 ……56

アラーム記録設定 ……57
- ■アラーム記録の設定 ……57
- ■プリアラーム録画の設定 ……59
- ■アラームトリガーの設定 ……60
- ■モーションセンサーの設定 ……60

メインメニュー ②

データ表示／VIDEO LOSS設定 ……62
■データ表示の設定 ……62
■VIDEO LOSSの設定 ……62

RS-232C/RS-485設定 ……63
■RS-232C/RS-485の設定 ……63
■RS-232Cを選択する場合 ……63
■RS-485を選択する場合 ……64

ブザー設定 ……65
■ブザーの設定 ……65

セキュリティーロック設定 ……66
■操作権の設定とセキュリティーロック ……66
A 管理者のパスワード設定 ……66
B 使用者のパスワード設定 ……67
C 録画・再生時の操作優先権の設定 ……68
D セキュリティーロックの設定 ……68

ネットワーク設定 ……69
■ネットワーク接続 ……69
■ネットワークの設定 ……70
■パスワードの設定 ……71

ハードディスク設定 ……73
■ハードディスクの設定 ……73
■ハードディスクを増設する ……74

停電情報／使用時間の表示 ……75

初期化履歴の表示 ……76
■初期化履歴の表示 ……76

メニュー設定の内容をセーブする ……77
■コンパクトフラッシュにセーブする ……77
■セーブした設定内容をロードする ……78

その他

インターフェース仕様 ……79
アフターサービスについて ……82
仕　様 ……83

HDD内蔵機器に対する取扱注意事項

本機はハードディスクドライブ（HDD）が内蔵されています。本機の操作や設置、サービスをおこなうときは以下の事項に留意し、慎重に取り扱ってください。

1 衝撃、振動を与えない

衝撃、振動が加わるとHDDが故障あるいはHDD内のデータが破壊される恐れがあります。

- 通電中は本機の移動はおこなわないでください。ラックなどからの出し入れも必ず電源をOFFした状態でおこなってください。
- 本機を搬送する場合は、指定の梱包材料で梱包してください。また、搬送には振動の少ない方法でおこなってください。
- 本機を床などに置くときは、底に指定の足がついている状態で静かに降ろしてください。
  足が付いていない場合は、着地音がしないよう静かに降ろしてください。

2 電源OFF後の30秒間は動かさない

電源OFF後もしばらくはHDD内のディスクは慣性で回転しており、ヘッドは不安定な状態にあります。
この期間は通電中以上に衝撃、振動に弱い状態です。電源OFF後30秒は軽い衝撃も与えないように注意してください。

3 結露状態で動作させない

本機に結露が起きた状態で動作させると故障の原因となることがあります。
急激な温度変化があった場合は、十分に温度が安定するまで待ってから動作させてください。

4 HDD交換時の注意

HDDの交換は交換手順に従っておこなってください。

- 梱包していないHDDは衝撃、振動が加わると故障する恐れがあります。梱包していないHDDはプリント基板面を上にし、水平にしてやわらかいものの上に置くことを推奨します。
- HDDの交換作業でねじの締め付けや取り外す際は、衝撃、振動を与えないように作業をしてください。
  ねじの締め付けはゆるまないようしっかりとおこなってください。
  HDDは静電気に弱いので必ず静電対策をおこなって作業をしてください。

5 HDD単体の取扱注意

HDD単体を輸送、保管する場合は必ず指定の梱包材料でおこなってください。
また、輸送時はHDDにかかる振動の少ない方法でおこなってください。
万一、HDDが故障した場合も不良内容の確認や解析をおこなうまでの破損の拡大を防ぐため、本機および交換のため取り外した故障のHDD取り扱いにも十分注意してください。

主な特長

本機は、監視中のカメラ映像を内蔵のハードディスクに録画することができます。

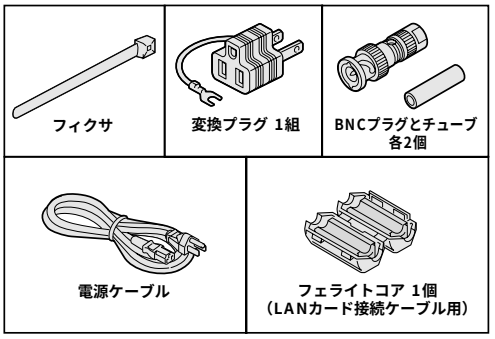
- **3.5インチ大容量ハードディスクを搭載。**
- **フレームスイッチャーからのデジタル信号で、内蔵のハードディスクに録画・再生が可能。**
- **録画と同時に、再生が可能。**
- **不審者の行動を録画するアラーム録画。**
- **タイマー録画により、曜日毎に異なる録画が可能。**
- **アラームの直前の映像を録画するプリアラーム録画。**
- **音声の録音・再生が可能。(記録周期が1秒より短いとき)**
- **モーションディテクター機能を内蔵し、動き検出によるアラーム録画が可能。**
- **コンパクトフラッシュカードに対応し、録画した画像のコピーが可能。**
- **多彩なサーチ機能**
  - ☞アラームのイベントリストまたはアラームのサムネイルによるアラームサーチ。
  - ☞日付・時間で検索する日時サーチ
  - ☞侵入者の動きを検索するモーション検出サーチ
- **再生中の映像を拡大して表示するズーム機能。**
- **画像の取り込みは、フィールド・フレームに対応。**
- **画質モードは、フィールド・フレームそれぞれ5つのモードから選択可能。**
- **2段階のセキュリティーロックが可能。**
- **PCカードタイプのネットワークカードの使用により、ネットワークコントロールに対応。最大4ユーザーまでのマルチアクセス対応。**
- **RS232Cによるコンピュータコントロール機能。**
- **RS485によるシステムコントローラー(別売)との接続可能。**
- **PCカードタイプSCSIカードの使用によりDDS(DAT)、CD-Rドライブにバックアップが可能。ただし、CD-Rにバックアップした画像再生には、専用ソフトが必要。**
- **メニュー設定内容をコンパクトフラッシュにアップロード・ダウンロードが可能。**

■設置条件

本機周辺5cm以内には物を置かないください。
本機には両側面および底面に通気孔がありますので、本機を設置する場合は、通気孔を塞がないでください。
また、本棚や箱の中など通気性が悪くなる環境での使用は避けてください。

- **本機をラックなどに固定するときには、別売のラックマウント金具をお勧めします。**

付属品



- **本機にはBNCプラグ2個を付属していますが、ご使用のシステムに不足する数量については、別売のBNCプラグをお買い求めください。**
- **フェライトコアは、LANカード接続ケーブルに1回巻いて取り付けてください。**

■ハードディスクの保護

ハードディスクのフォーマットに異常が発生した状態で電源を入れると自動的にディスクチェックをおこないます。ハードディスクに異常が発見されると、アラームランプが点滅しますので、ハードディスクを初期化するか画像の保管が必要な場合は、お買上げの販売店にご相談ください。ハードディスクはほこり、振動、衝撃に弱く、さらに磁気を帯びた物の近い場所での使用も避ける必要があります。記録したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に注意してください。

- 衝撃を与えないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 録画や再生中は、コンセントを抜いたりしないでください。
- 急激な温度変化(毎時10℃以上の変化)のある場所では使用しないでください。
- 温度差の大きいところや湿度の高いところへ移動すると、結露を生じることがあります。結露したまま使用すると故障の原因となりますので、ご注意ください。
- 常に振動を伴う車・列車などには設置しないでください。

■ハードディスクと放熱ファンは消耗品です

- 周囲温度25℃の使用条件で、ハードディスクは2年、放熱ファンは3年を目安に交換してください。この年数はあくまでも交換の目安であり、部品の性能を保証するものではありません。

■大切な記録の場合

- **必ず事前に記録をおこない、正常に記録されていることを確認してください。**
- **本機を使用中、本体もしくは接続機器等の不具合により記録されなかったり、正常に再生できなくなった場合、その内容の補償についてはご容赦ください。**
- **万一の故障や事故に備えて、大切な記録の場合は定期的にバックアップをとられることをお勧めします。**

安全上のご注意

安全のため必ずお守りください

この**安全上のご注意**は、安全な使いかたを理解していただくため、記号(絵表示)を使って、わかりやすくまとめています。

■絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠**警告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠**注意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

指をはさまれないよう注意

△の記号は、注意(警告を含む)をうながす事項を示しています。
△の中に、具体的な注意内容が描かれています。
(左の絵表示は、指をはさまれないよう注意することを意味します。)

分解禁止

⃠の記号は、してはいけない行為(禁止事項)を示しています。
⃠の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
(左の絵表示は、分解禁止を意味します。)

電源プラグをコンセントから抜け

●の記号は、しなければならない行為を示しています。
●の中に、具体的な指示内容が描かれています。
(左の絵表示は、電源プラグをコンセントから抜け、という指示です。)

正しくご使用いただくために必ずお守りください

■キャビネットのお手入れ

電源プラグをコンセントから抜き柔らかい布で汚れを軽くふき取る。
汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げる。

注意

- お手入れの際、ベンジン・シンナーは使用しないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。
  変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

■長時間使用しないとき

機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

⚠警告

■ 煙が出ている、変な音やにおいがするなどの異常状態のまま使用しない

異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。
すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店または工事店に修理をご依頼ください。
お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。

■ 電源コードを傷つけない

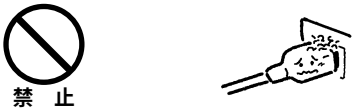
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。
- 電源コードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、電源コードを無理に折り曲げたり、加工したり、ステープルなどで固定しないでください。電源コードが傷み、火災、感電の原因となります。

（電源コードが傷んだら、お買い上げ販売店または工事店に交換をご依頼ください。）

■ 電源プラグやコンセントにほこりなどを付着させない

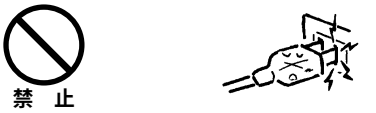
- ほこりにより、ショートや発熱が起こって火災の原因となります。
- 湿度の高い部屋、結露しやすいところ、台所やほこりがたまりやすい場所のコンセントを使っている場合は、特に注意してください。

（定期的に電源プラグを抜いて、プラグとプラグの間に付着したほこり・よごれを取り除いてください。）



■ 電源コード接続時の注意

- 電源プラグはコンセントへ確実に接続してください。不完全な接続のまま使用すると、発熱などにより、火災の原因となります。
- 電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱などにより、火災の原因となります。



■ キャビネットをはずしたり、改造しない

内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は、お買い上げ販売店または工事店にご依頼ください。

■ 接続する機器の上に、水などの入った容器を置かない

万一内部に水などが入った場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

■ ぬらさない

ぬらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。
風呂場では使用しないでください。

■ 雷が鳴り出したら使わない

電源プラグや接続ケーブルには絶対に触れないでください。感電の原因になります。

■ 不安定な場所に置かない

- 落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。

（万一落としたり、キャビネットを破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。）

■ 電源電圧100V以外の電圧で使用しない

火災、感電の原因となります

■ 国外では使用しない

使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
(This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

⚠注意

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらない

必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っぱるとコードが傷ついて、火災、感電の原因となることがあります。

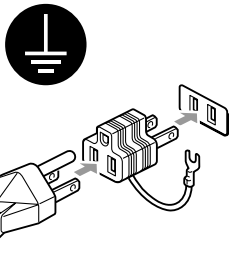
■ ぬれた手で電源プラグをさわらない

感電の原因となることがあります。

■ 安全アースを接続する

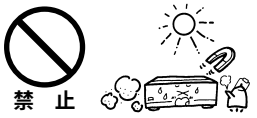
安全アースを接続しないと、感電の原因になることがあります。
次の方法でアースを接続してください。

- **電源コンセントが3極の場合**
  電源プラグをそのまま接続すれば、安全アースが接続されます。
- **電源コンセントが2極の場合**
  付属の変換プラグ（3極→2極）を使用し、変換プラグから出ている
  緑色のアース線を、建物に備えつけられているアース端子に接続する。



■ 設置場所の注意

- 湿気・ほこりの多い場所や、油煙・湯気が当たる場所には置かないでください。
  火災、感電の原因となることがあります。
- 磁気を持っているものの近くや、直射日光が当たる場所、熱器具の近くには置かないでください。事故、故障の原因となることがあります。



■ 通風孔をふさがない

専用のラック以外の風通しの悪い狭い所に入れたり、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたりして通風孔をふさがないでください。
また、壁や家具などに密接して置かないでください。内部に熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。

■ 上に乗らない

倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

■ コード類は正しく配線する

電源コードや接続ケーブルはじゅうぶん注意して接続、配線してください。
足などにケーブルを引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。

■ 接続する機器の上に重いものを置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
また、重みによって故障の原因となることがあります。

■ 持ち運びの注意

電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードをはずしたことを確認のうえ、行ってください。
電源コードが傷つくと、火災、感電の原因となることがあります。

■ お手入れの際、長期間使用しない場合の注意

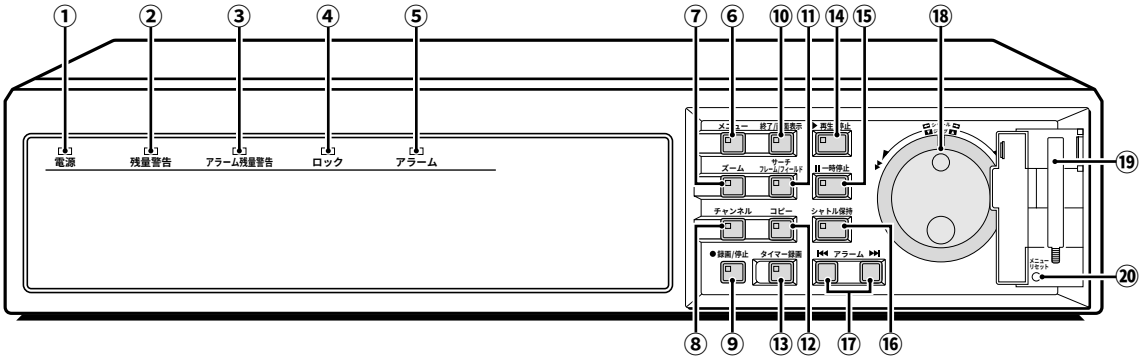
安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグを差し込んだままお手入れすると、感電の原因となることがあります。

■ 内部の掃除について

内部の掃除については、お買い上げ販売店または工事店にご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。

各部の名前

前面パネル



①電源ランプ
電源プラグをコンセントに差し込み電源スイッチを「入」にすると電源ランプが点灯します。

②残量警告ランプ
上書き記録が「切」の時に、ハードディスクの通常記録領域が残り1%*になるとランプが点滅します。そのまま録画を続けると記録領域がいっぱいになり、録画を中止します。その際、ランプが点灯に換わります。(* メニュー設定で変更することができます。)

③アラーム残量警告ランプ
上書き記録が「切」の時に、ハードディスクのアラーム記録領域が残り1%*になるとランプが点滅します。そのまま録画を続けると記録領域がいっぱいになり、録画を中止します。その際、ランプが点灯に換わります。(* メニュー設定で変更することができます。)

④セキュリティーロックランプ
セキュリティーロックが設定されていて、操作がロックされていると点灯します。
ロック中に操作ボタンを押すとブザーが鳴り、ランプが点灯します。

⑤アラームランプ
ハードディスクまたはファンに異常がある場合には、ランプが点滅します。

⑥メニューボタンとランプ
メニュー画面(設定画面)を表示させるときに使用します。

⑦ズームボタンとランプ
再生中にズーム画面で表示できます。
ズーム表示中は、ランプが点灯します。
フレームスイッチャーを接続した場合は操作できません。

⑧チャンネルボタンとランプ
当社製などのチャンネル(カメラ番号)情報をデコード可能なフレームスイッチャーに接続している場合は、チャンネルを指定してそのチャンネルのみを再生します。再生中は、ランプが点灯します。チャンネルボタンは、静止画のみ有効です。

⑨録画/停止ボタンとランプ
通常録画が開始します。
録画中は、ランプが点灯します。
録画中に、ボタンを2秒以上押すと録画が停止し、ランプが消灯します。

⑩終了/画面表示ボタンとランプ
- メニュー画面表示時
  メインメニューまたは、サブメニューから抜けます。
- 録画中・再生中
  録画・再生中に押すと、タイムデート・アラームなどの操作表示を画面の下から上へ4段階で移動/非表示の順に押すごとに切り換わります。
  情報の表示中は、ランプが点灯します。

⑪サーチ　フレーム/フィールドボタンとランプ
- 録画中・停止中
  録画および停止中に押すとランプが点灯し、サーチ再生画面が表示します。
- 再生中
  再生中に押すと、再生中のフレーム/フィールドの再生モードを切り換えます。

⑫コピーボタンとランプ
ハードディスクのバックアップ領域やコンパクトフラッシュまたはマイクロドライブに映像をコピーします。
コピー中は、ランプが点灯します。

⑬タイマー録画ボタンとランプ
録画停止中に押すとタイマー録画待機中になり、設定した時間になるとタイマー録画になります。

⑭再生/停止ボタンとランプ
ランプが点灯し、通常記録領域の映像が再生されます。
再生中に押すと、再生を中止します。

⑮一時停止ボタンとランプ
再生中に押すとランプが点灯し、静止画になります。
もう一度押すと、解除します。

⑯シャトル保持ボタンとランプ
再生や、コマ送りのスピードをロックします。
ロック中は、ランプが点灯します。

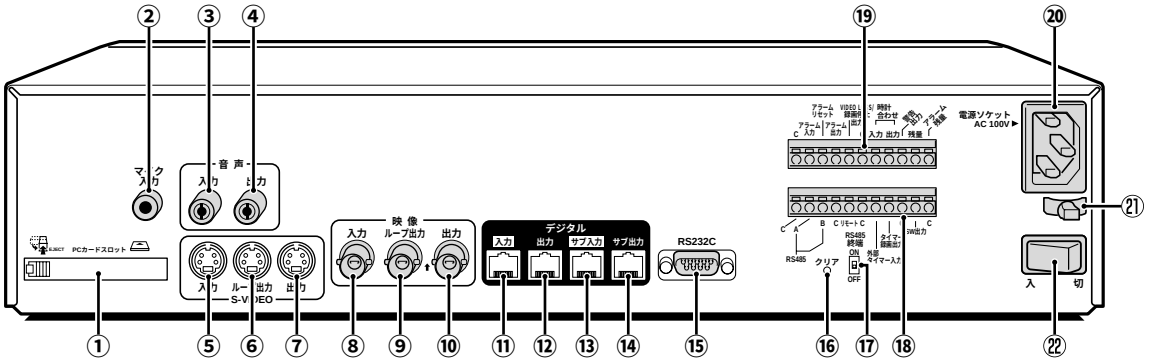
⑰アラームスキップボタン
再生中に押すと、直前または直後のアラームにスキップします。

⑱ジョグ(内側)・シャトル(外側)ダイヤル
- 再生中
  ジョグダイヤルで再生レートの変更をします。
  シャトルダイヤルで早送り、早戻し再生をします。
- メニュー画面
  ジョグダイヤルでカーソルの移動や設定値の変更をします。
  シャトルダイヤルで設定の確定をします。

⑲コンパクトフラッシュスロット
コンパクトフラッシュまたはマイクロドライブを装着します。

⑳メニューリセットボタン
メニュー画面表示時に押すと、その画面のメニュー設定値が初期値に戻ります。また、通常画面表示時に押すと時刻調整をおこないます。

後面パネル



①PCカードスロット
市販の推奨ネットワークカードまたはSCSIカードを装着します。

注意：PCカードソケットは、16bit 5V専用です。32bit card Busタイプを使用すると本体PCカードソケットが破損する恐れがありますので挿入しないでください。

②マイク入力端子

③音声入力端子

④音声出力端子（パワーオフスルー機能対応）

⑤S-VIDEO入力端子

⑥S-VIDEOループ出力端子

⑦S-VIDEO出力端子

⑧映像入力端子
ビデオ用S映像入力端子の映像が優先されます。

⑨映像ループ出力端子

⑩映像出力端子

⑪デジタル入力端子

⑫デジタル出力端子

⑬デジタルサブ入力端子

⑭デジタルサブ出力端子

⑮RS232C端子

⑯クリアボタン
クリアボタンを押すと時刻が初期値に戻ります。

⑰RS485終端スイッチ

⑱コントロール端子

ピン	信　号
C	アース
A/RS485	RS485用端子※
B/RS485	RS485用端子※
C	アース
リモート	リモコン入力
C	アース
外部タイマー入力	外部タイマー入力
タイマー録画出力	タイマー録画出力
C	アース
SW出力	スイッチ出力
C	アース

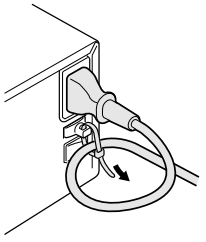
※ツイストペアケーブルの接続に使用します。

⑲アラーム端子

ピン	信　号
C	アース
アラーム入力	アラーム入力
アラームリセット	アラームリセット入力
アラーム出力	アラーム出力
VIDEO LOSS/録画停止出力	ビデオロスか録画停止の選択出力
C	アース
時計合わせ入力	時計合わせ入力（☞ P44）
時計合わせ出力	時計合わせ出力（☞ P44）
警告出力	HDD異常警告出力
残量	HDD残量警告出力
アラーム残量	アラーム録画領域の残量警告出力

⑳電源ソケット
付属の電源コードを電源ソケットにしっかりと差し込んでください。

㉑電源コードホルダー
付属のフィクサーで図のように電源コードホルダーに固定してください。

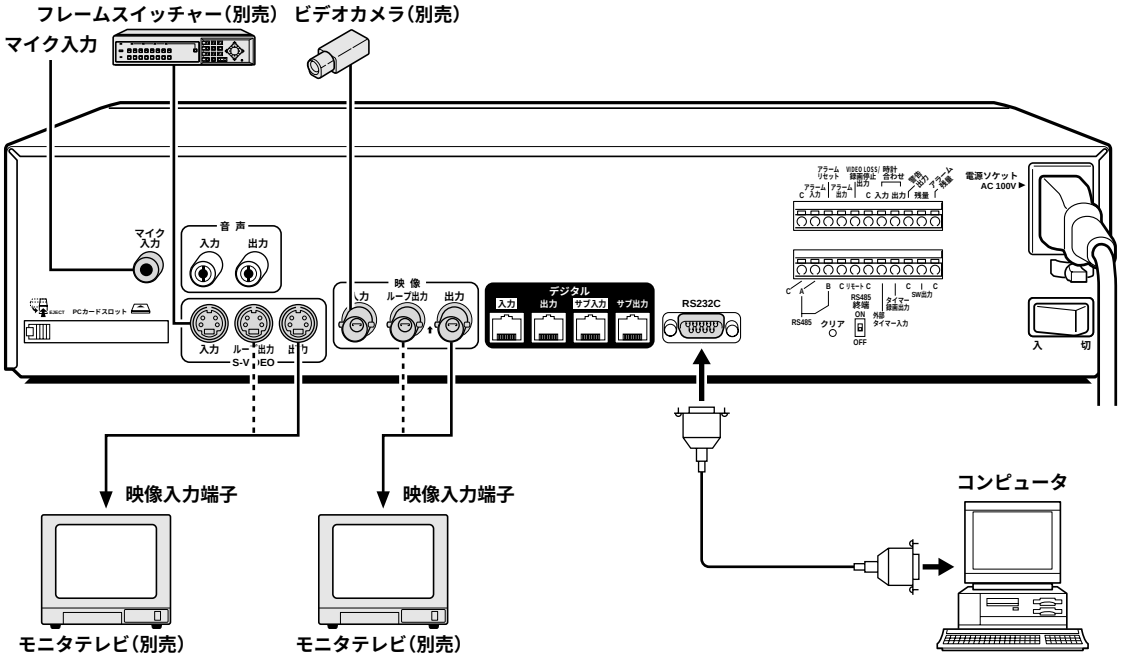


㉒電源スイッチ

接続のしかた

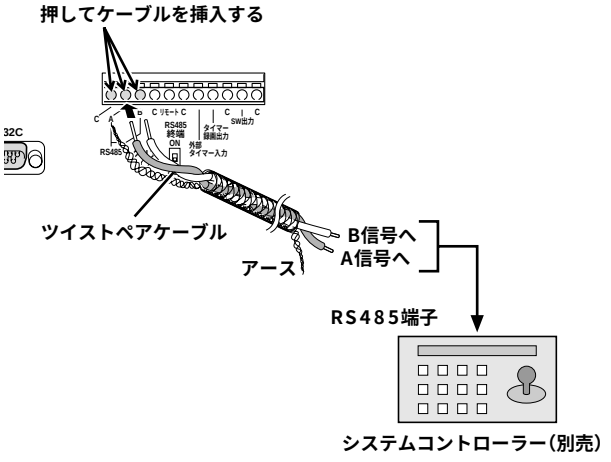
接続する各機器の取扱説明書をよくお読みください。
接続を誤ると発煙したり、故障の原因になることがありますので注意してください。

■基本接続



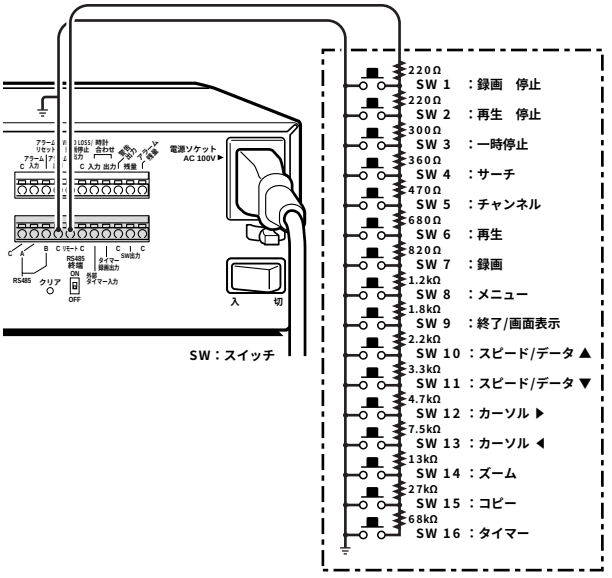
■システムコントロール制御

ツイストペアケーブル(別売)で後面のコントロール端子A、B、C(アース)に接続します。A信号とA信号、B信号とB信号を接続します。



■コントロール端子の接続

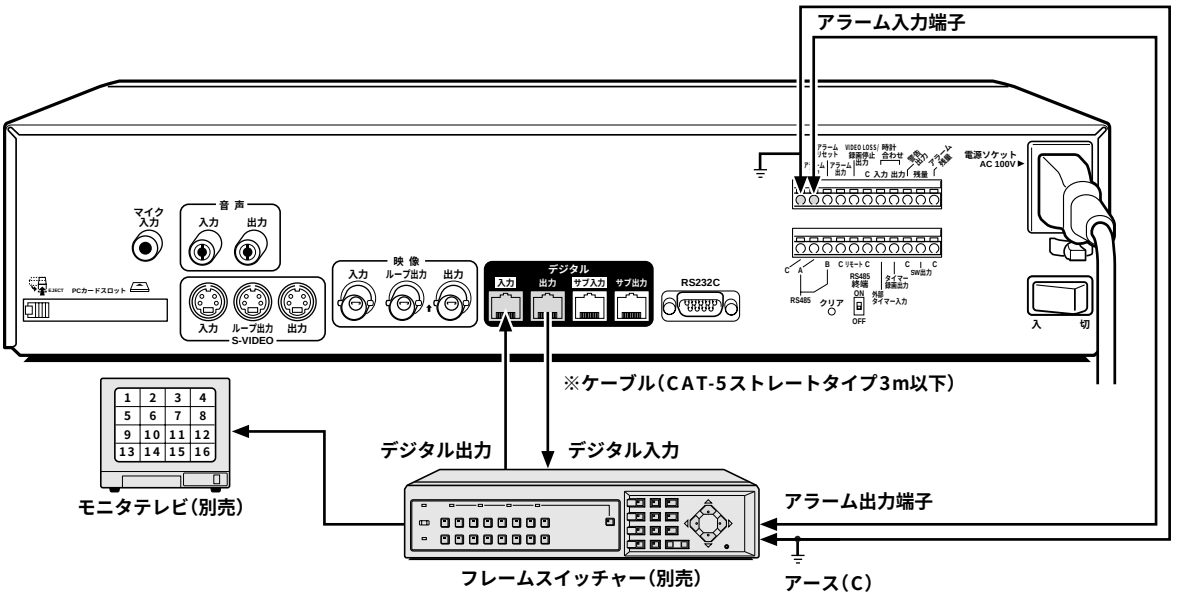
コントロール端子のリモコン入力部に図の様なリモコン回路を製作して接続すると、本機をリモートコントロールできます。



注意:
- **リモコン操作のケーブルは5m以下で使用してください。**
- **抵抗は1/10W以上で、Dランク品(精度±0.5%以下)のものをご使用ください。**

■フレームスイッチャーとの接続

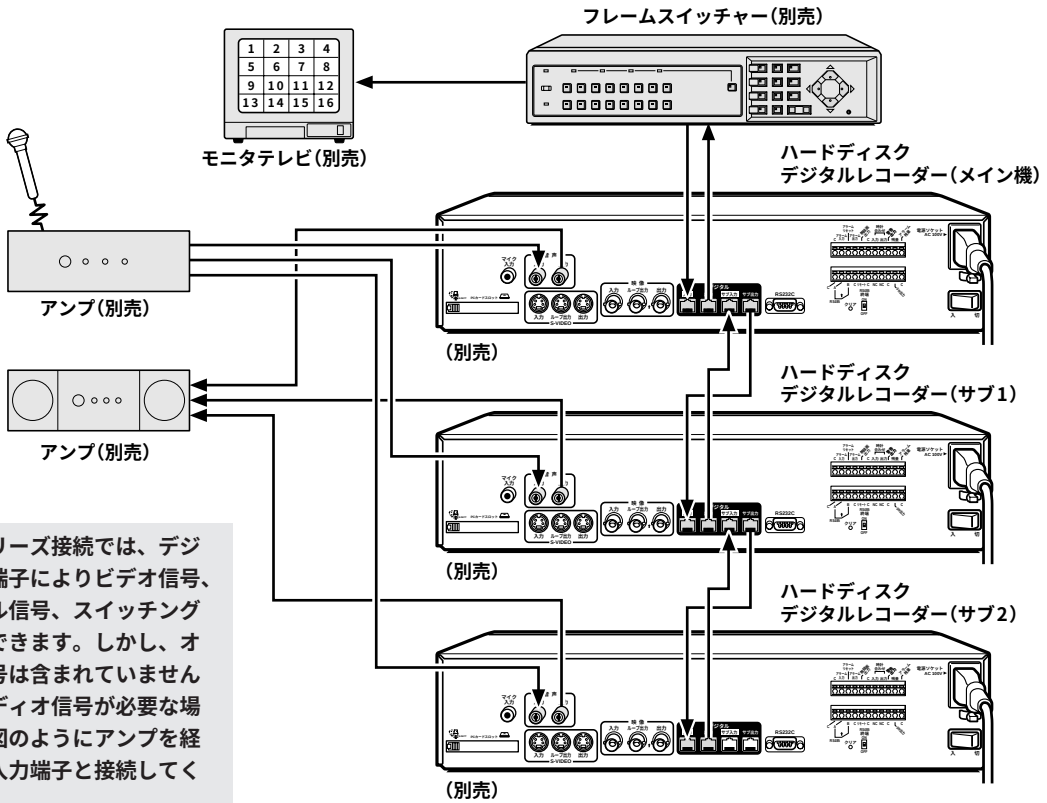
デジタル接続が可能なフレームスイッチャー（VCS-FD162, FD92）と接続します。



■デジタルシリーズ接続

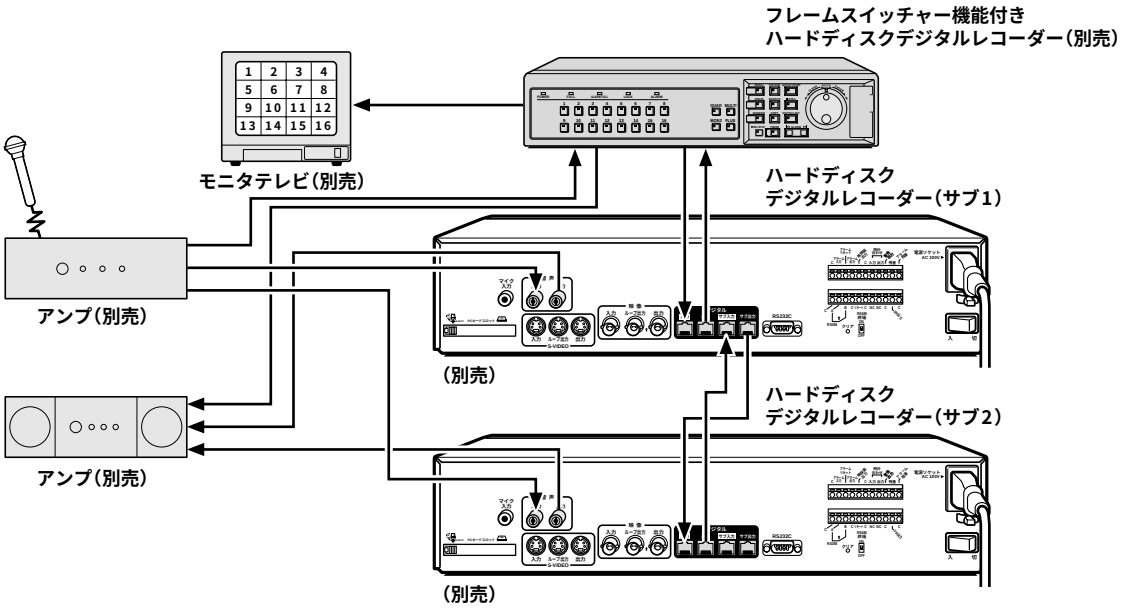
本機を最大3台までデジタル接続してシリーズ録画をすることができます。フレームスイッチャーや9/16CHハードディスクレコーダーにデジタル接続をおこなうと、時刻が未設定の場合や30秒以上時間がずれた場合は、フレームスイッチャーまたは9/16CHハードディスクレコーダーと同じ時刻に自動的に設定されます。

A フレームスイッチャーとのデジタルシリーズ接続



注意：デジタルシリーズ接続では、デジタル入出力端子によりビデオ信号、コントロール信号、スイッチング信号を伝送できます。しかし、オーディオ信号は含まれていませんので、オーディオ信号が必要な場合は本接続図のようにアンプを経由して音声入力端子と接続してください。

B フレームスイッチャー機能付きハードディスクデジタルレコーダーとのデジタルシリーズ接続

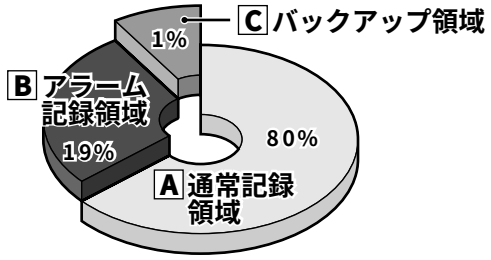


内蔵ハードディスクについて

■ハードディスクについて

●記録領域について

本機に電源が入ると、自動的に内蔵のハードディスクに記録領域（通常記録：80%・アラーム記録：19%・バックアップ領域：1%）が設定されます。録画/停止ボタンを押すと通常記録領域とアラーム時にはアラーム記録領域に映像が記録されます。この状態を初期状態といい、今から説明する“通常記録領域に録画する”または“アラーム記録領域に録画する”では次の様に詳細設定を確認することができます。また、この記録領域や画質などの設定はメニュー画面で変更することができます。



ハードディスクの記録領域

注意：メニュー画面にハードディスクの全容量が80GBと表示されますが、ハードディスクの種類によっては81GBと表示されるものもあります。

A 通常記録領域

- 監視中に録画/停止ボタンを押すと、通常記録領域に映像が録画されます。
- 曜日ごとに開始時間と終了時間を入力して入設定すると、設定された時間で自動的に映像を通常記録領域にタイマー録画されます。

B アラーム記録領域

メニューの「アラーム記録」設定が必要です。

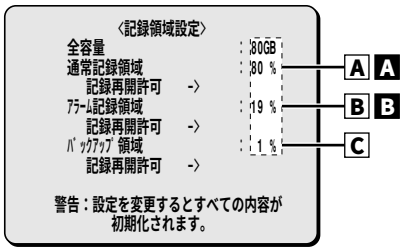
- アラーム記録設定をおこなうとアラーム録画ができます。設置したアラーム入力端子のスイッチ動作やモーションセンサーで不審者などを検出するとアラーム領域にアラーム映像が録画されます。
- プリアラーム記録設定をおこなうとプリアラーム録画ができます。プリアラーム録画は設定された時間間隔で通常記録と同じ映像をアラーム記録領域にアラームが入るまで録画しては上書きをくり返します。プリアラーム録画を設定すると、アラーム直前の映像を録画することができます。

C バックアップ領域

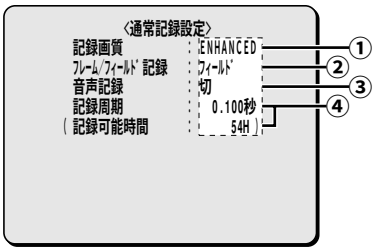
通常記録領域やアラーム記録領域の大切な映像を複写する領域です。通常記録領域またはアラーム記録領域の変更により最大10GB（80GBハードディスク使用時：12%、160GBハードディスク使用時：6%）まで設定できます。

メニュー画面（初期設定）

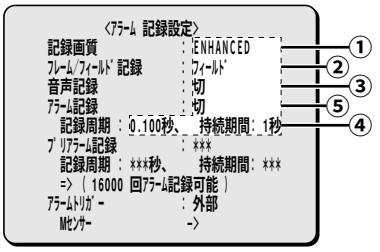
メニューボタンで表示できます。



A 通常記録領域の画質・録画スピードなどの設定画面



B アラーム記録領域の画質・録画スピードなどの設定画面



①画質：ENHANCED（準高画質）
画質は5段階から選択することができます。
画質の選択により録画スピードが異なります。

②記録方式：フィールドとフレームの選択可
選択により録画スピードが異なります。

③音声記録：入/切の選択可

④録画スピード：記録周期と録画時間の表示
詳しくは録画スピード一覧表を参照してください。

⑤アラーム録画の設定：入/切の選択可
アラーム録画をおこなうときは切設定をモード1などに選択してください。録画スピードとアラーム持続時間が表示されます。

操作

内蔵ハードディスクについて

●録画スピード一覧表（録画時間は録画する画像により変動することがあります。）

この録画時間一覧表は、本機のハードディスク（80GB）の通常記録領域にフィールド記録とフレーム記録で映像を記録する場合の画質、記録周期を示したもので、音声記録の設定は含まれていません。
通常記録領域およびアラーム記録領域の録画時間は、録画スピード一覧表の録画時間にメニューの記録領域設定で設定した通常記録領域およびアラーム記録領域のパーセント表示値を掛けた時間になります。

■80 GBハードディスク録画時間（領域を100%使用した場合）

フィールド記録

記録レート（フィールド/秒）	記録周期（秒）	録画時間				
		BASIC（ラフ画質）	NORMAL（標準画質）	ENHANCED（準高画質）	FINE（高画質）	SUPER FINE（最高画質）
60.00	0.017	20H	14H	10H	7H	6H
30.00	0.033	40H	28H	21H	15H	13H
20.00	0.050	61H	43H	32H	23H	20H
15.00	0.067	81H	57H	43H	31H	26H
10.00	0.100	122H	86H	65H	47H	40H
7.50	0.133	163H	115H	86H	63H	53H
6.00	0.167	204H	144H	108H	78H	66H
5.00	0.200	245H	173H	130H	94H	80H
4.29	0.233	285H	202H	151H	110H	93H
3.75	0.267	326H	231H	173H	126H	106H
3.33	0.300	367H	260H	195H	142H	120H
3.00	0.333	408H	289H	217H	157H	133H
2.73	0.367	449H	318H	238H	173H	146H
2.31	0.433	531H	376H	282H	205H	173H
2.00	0.500	612H	434H	325H	236H	200H
1.67	0.600	735H	520H	390H	284H	240H
1.43	0.700	857H	607H	455H	331H	280H
1.25	0.800	980H	694H	520H	378H	320H
1.11	0.900	1102H	781H	585H	426H	360H
1.00	1	1225H	868H	651H	473H	400H
0.50	2	2450H	1736H	1302H	946H	801H
0.33	3	3676H	2604H	1953H	1420H	1201H
0.25	4	4901H	3472H	2604H	1893H	1602H
0.20	5	6127H	4340H	3255H	2367H	2003H
0.10	10	12254H	8680H	6510H	4734H	4006H
0.05	20	24509H	17361H	13020H	9469H	8012H
0.03	30	36764H	26041H	19531H	14204H	12019H

フレーム記録

記録レート（フレーム/秒）	記録周期（秒）	録画時間				
		BASIC（ラフ画質）	NORMAL（標準画質）	ENHANCED（準高画質）	FINE（高画質）	SUPER FINE（最高画質）
30.00	0.033	20H	14H	10H	7H	6H
15.00	0.067	40H	28H	21H	15H	13H
10.00	0.100	61H	43H	32H	23H	20H
7.50	0.133	81H	57H	43H	31H	26H
5.00	0.200	122H	86H	65H	47H	40H
3.75	0.267	163H	115H	86H	63H	53H
3.00	0.333	204H	144H	108H	78H	66H
2.50	0.400	245H	173H	130H	94H	80H
2.14	0.467	285H	202H	151H	110H	93H
1.88	0.533	326H	231H	173H	126H	106H
1.67	0.600	367H	260H	195H	142H	120H
1.50	0.667	408H	289H	217H	157H	133H
1.36	0.733	449H	318H	238H	173H	146H
1.15	0.867	531H	376H	282H	205H	173H
1.00	1.000	612H	434H	325H	236H	200H
0.83	1.200	735H	520H	390H	284H	240H
0.71	1.400	857H	607H	455H	331H	280H
0.63	1.600	980H	694H	520H	378H	320H
0.56	1.800	1102H	781H	585H	426H	360H
0.50	2	1225H	868H	651H	473H	400H
0.25	4	2450H	1736H	1302H	946H	801H
0.17	6	3676H	2604H	1953H	1420H	1201H
0.13	8	4901H	3472H	2604H	1893H	1602H
0.10	10	6127H	4340H	3255H	2367H	2003H
0.05	20	12254H	8680H	6510H	4734H	4006H
0.03	40	24509H	17361H	13020H	9469H	8012H
0.02	60	36764H	26041H	19531H	14204H	12019H

音声記録可能領域（音声を録画した場合は、上の表の録画時間より短くなります。）

下記はハードディスク合計容量が160GBの録画時間一覧表です。（ハードディスクを増設する場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。）

■160 GBハードディスク録画時間（領域を100%使用した場合）

フィールド記録

記録レート（フィールド/秒）	記録周期（秒）	録画時間				
		BASIC（ラフ画質）	NORMAL（標準画質）	ENHANCED（準高画質）	FINE（高画質）	SUPER FINE（最高画質）
60.00	0.017	40H	28H	21H	15H	13H
30.00	0.033	81H	57H	43H	31H	26H
20.00	0.050	122H	86H	65H	47H	40H
15.00	0.067	163H	115H	86H	63H	53H
10.00	0.100	245H	173H	130H	94H	80H
7.50	0.133	326H	231H	173H	126H	106H
6.00	0.167	408H	289H	217H	157H	133H
5.00	0.200	490H	347H	260H	189H	160H
4.29	0.233	571H	405H	303H	220H	186H
3.75	0.267	653H	462H	347H	252H	213H
3.33	0.300	735H	520H	390H	284H	240H
3.00	0.333	816H	578H	434H	315H	267H
2.73	0.367	898H	636H	477H	347H	293H
2.31	0.433	1062H	752H	564H	410H	347H
2.00	0.500	1225H	868H	651H	473H	400H
1.67	0.600	1470H	1041H	781H	568H	480H
1.43	0.700	1715H	1215H	911H	662H	560H
1.25	0.800	1960H	1388H	1041H	757H	641H
1.11	0.900	2205H	1562H	1171H	852H	721H
1.00	1	2450H	1736H	1302H	946H	801H
0.50	2	4901H	3472H	2604H	1893H	1602H
0.33	3	7352H	5208H	3906H	2840H	2403H
0.25	4	9803H	6944H	5208H	3787H	3205H
0.20	5	12254H	8680H	6510H	4734H	4006H
0.10	10	24509H	17361H	13020H	9469H	8012H
0.05	20	49019H	34722H	26041H	18939H	16025H
0.03	30	73529H	52083H	39062H	28409H	24038H

フレーム記録

記録レート（フレーム/秒）	記録周期（秒）	録画時間				
		BASIC（ラフ画質）	NORMAL（標準画質）	ENHANCED（準高画質）	FINE（高画質）	SUPER FINE（最高画質）
30.00	0.033	40H	28H	21H	15H	13H
15.00	0.067	81H	57H	43H	31H	26H
10.00	0.100	122H	86H	65H	47H	40H
7.50	0.133	163H	115H	86H	63H	53H
5.00	0.200	245H	173H	130H	94H	80H
3.75	0.267	326H	231H	173H	126H	106H
3.00	0.333	408H	289H	217H	157H	133H
2.50	0.400	490H	347H	260H	189H	160H
2.14	0.467	571H	405H	303H	220H	186H
1.88	0.533	653H	462H	347H	252H	213H
1.67	0.600	735H	520H	390H	284H	240H
1.50	0.667	816H	578H	434H	315H	267H
1.36	0.733	898H	636H	477H	347H	293H
1.15	0.867	1062H	752H	564H	410H	347H
1.00	1.000	1225H	868H	651H	473H	400H
0.83	1.200	1470H	1041H	781H	568H	480H
0.71	1.400	1715H	1215H	911H	662H	560H
0.63	1.600	1960H	1388H	1041H	757H	641H
0.56	1.800	2205H	1562H	1171H	852H	721H
0.50	2	2450H	1736H	1302H	946H	801H
0.25	4	4901H	3472H	2604H	1893H	1602H
0.17	6	7352H	5208H	3906H	2840H	2403H
0.13	8	9803H	6944H	5208H	3787H	3205H
0.10	10	12254H	8680H	6510H	4734H	4006H
0.05	20	24509H	17361H	13020H	9469H	8012H
0.03	40	49019H	34722H	26041H	18939H	16025H
0.02	60	73529H	52083H	39062H	28409H	24038H

音声記録可能領域（音声を録画した場合は、上の表の録画時間より短くなります。）

参考：24H（1日）、168H（1週間）、720H（1ヶ月）、8760H（1年）

操作

■プリアラーム録画時間

プリアラーム録画時の録画時間一覧表です。プリアラーム録画をするときにご覧ください。(☞ P20)

記録レート (フィールド/秒)	記録周期 (S)	記録時間(メニュー画面上での時間表示　s：秒、m：分)												
		2s(2s)	3s(3s)	5s(5s)	10s(10s)	20s(20s)	40s(40s)	60s(1m)	120s(2m)	180s(3m)	240s(4m)	300s(5m)	600s(10m)	900s(15m)
60.00	0.017	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30.00	0.033		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20.00	0.050			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15.00	0.067			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10.00	0.100				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7.50	0.133				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6.00	0.167				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5.00	0.200					○	○	○	○	○	○	○	○	○
4.29	0.233					○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.75	0.267					○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.33	0.300					○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.00	0.333					○	○	○	○	○	○	○	○	○
2.73	0.367					○	○	○	○	○	○	○	○	○
2.31	0.433						○	○	○	○	○	○	○	○
2.00	0.500						○	○	○	○	○	○	○	○
1.67	0.600							○	○	○	○	○	○	○
1.43	0.700							○	○	○	○	○	○	○
1.25	0.800							○	○	○	○	○	○	○
1.11	0.900							○	○	○	○	○	○	○
1.00	1							○	○	○	○	○	○	○

□ 初期設定値、記録周期：0.100秒（10FPS）、記録時間：1分とします。
[---] 通常記録領域を0%に設定した場合のみ対応

メニューでのアラーム持続時間の設定では、設定された記録レートで可能な持続時間しか設定できません。
また、記録レートを設定する場合には、設定された持続時間で可能な範囲でしか設定できません。たとえば、アラーム持続時間を3秒に設定した場合、記録周期は、0.017秒か0.033秒しか選択できません。
遅い記録レートを設定する場合は、一旦アラーム持続時間の設定を変更しないと設定できません。

■操作表示部について

電源コードをコンセントに差し込んで後面の電源スイッチを入にする

電源ランプが点灯し、約15秒すると、「終了/画面表示」ランプが点灯します。モニタにはカメラ映像が表示しモニタ画面の下部に操作表示がでます。

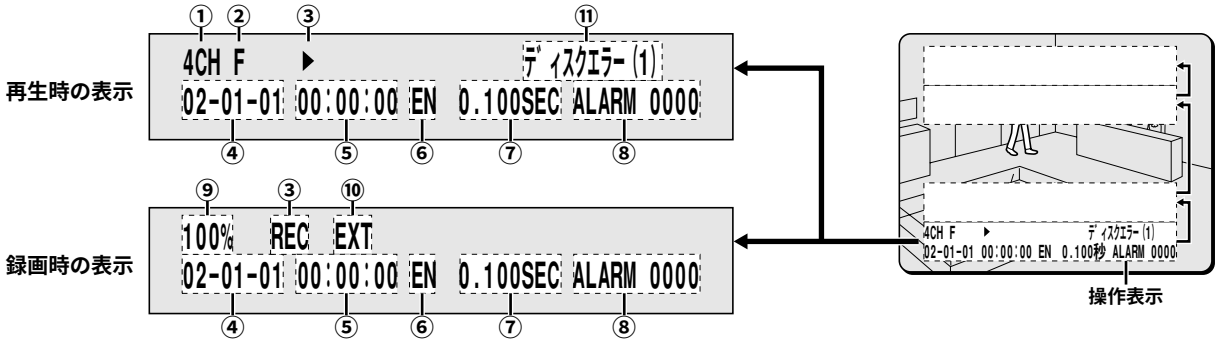
注意：時刻を設定していない場合は、時刻設定の〈警告〉画面が表示します。いずれかの操作ボタンを押すと〈警告〉画面は消えますが、時刻の設定をしていないと録画や再生はできません。時刻の設定をしてください。(☞ P44)

メモ

終了/画面表示ボタンをくり返し押すと操作表示の位置変更や表示を消すことができます。

☞ 操作表示部

この操作表示部は操作に必要な日付・時刻、画質、録画スピートなどを表示します。(☞ P15)



■操作表示部について（つづき）

①カメラ番号表示
本機に当社などのチャンネル情報（カメラ番号）をデコード可能なフレームスイッチャーを接続して、本機のチャンネルボタンを押して、再生するカメラ番号を指定したときに表示されます。

②フレーム表示
再生中にフレーム表示をおこなっている場合に「F」が表示します。フィールド再生時は、何も表示しません。

③操作シンボル表示
録画、再生中などに表示します。

REC：録画中	▶▶：早送り再生中
▶：再生中	◀◀：早戻し再生中
◀：逆再生中	▮▮▶：スロー再生中
▮▮：停止中	◀▮▮：逆スロー再生中

注意：録画と再生を同時におこなっている場合は、再生中（▶）の表示になります。

④日付表示
初めて本機に電源を入れたときは「02－01－01（年月日）」と表示します。メニューで必ず日付の設定をおこなってください。

⑤時刻表示
初めて本機に電源を入れたときは「00：00：00」と表示し、日付を設定すると時刻が刻まれます。本機は日付と時刻により録画や再生箇所を管理します。正しい時刻設定がおこなわれていないと、正確な映像を検索できません。
メニュー設定で必ず時刻の設定をおこなってください。

⑥画質表示
ハードディスクに記録される映像の画質を表示します。初期設定はEN（準高画質）に設定されています。メニューの「通常記録設定」で画質を変更すると、表示が切り換わります。

BA：Basic（ラフ画質）	**FI：**Fine（高画質）
NO：Normal（標準画質）	**SF：**Super fine（最高画質）
EN：Enhanced（準高画質）	

⑦録画スピード表示
ハードディスクに記録される記録周期を表示します。初期設定は0.100秒（フィールド設定時）です。メニューの「通常記録設定」で画質や記録方式を変更すると、表示が切り換わります。

⑧アラーム表示とアラーム回数表示
メニューの「アラーム記録」でアラームの設定をするとアラーム表示部には次のように表示します。
但し、プリアラームの設定の場合は、「PRE」が表示します。アラームが入ると「PRE」が消えて「ALARM」が表示し、アラーム回数も表示します。アラーム表示は累計の表示になります。
- **アラーム記録設定の場合：「**ALARM**」**表示
  アラーム記録中は「ALARM」表示が点滅する。
- **プリアラーム記録設定の場合：「**PRE**」**表示
- **バックアップ領域を再生中の場合：「**BACKUP**」**表示

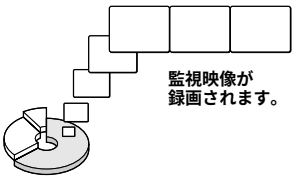
⑨記録領域の残量
通常記録領域またはアラーム記録領域を上書き禁止（上書き記録：切）状態にすると、記録残量をパーセントで表示します。残量表示の変更は「記録設定」でおこなってください。（☞ P49）また、上書き許可（上書き記録：入）状態にすると「REPEAT」と表示します。

⑩外部タイマー表示
外部タイマーでタイマー録画をおこなっているときに「EXT」が表示します。

⑪ハードディスクのディスクエラー表示
ハードディスクに異常が発生すると表示します。
ディスクエラー（1→2）：ハードディスクが2台搭載または増設されていて、どちらかのハードディスクに異常が発生すると表示。
ディスクエラー（1）：DISK1（MASTER）に異常があると表示。
ディスクエラー（2）：DISK2（SLAVE）に異常があると表示。

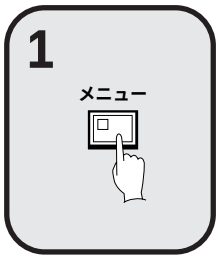
注意：本機は録画中に再生、コピー、通信などの操作ができますが、録画優先のため各操作の動作が遅くなることがあります。

通常記録領域に録画する



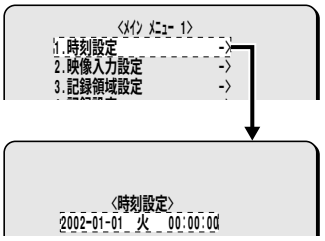
■通常録画

監視中の映像を通常記録領域に録画することができます。本機は時刻の設定がされていないと録画をすることはできません。必ず時刻の設定をしてください。(☞ P44)



時計を設定する

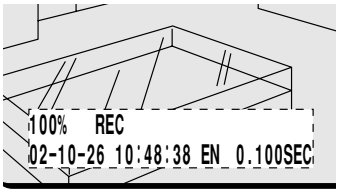
メニューボタンで「時刻設定」を表示させて、日付・時刻の設定をおこなってください。設定後、終了/画面表示ボタンを押すと操作表示部に日付と時刻が表示されます。(☞ P44)

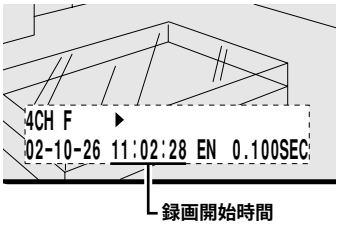


録画/停止ボタンを押す

操作表示部にREC (録画マーク) が表示し、通常記録領域に監視映像が録画されます。ハードディスクには自動的 (初期設定) に次の様な設定で録画されます。長時間録画から高画質録画まで5段階の設定ができます。(☞ P51)

- **ハードディスクの記録領域：**
  通常記録領域80%
  アラーム記録領域19%
  バックアップ領域1%
- **画質：**EN (準高画質)
- **録画：**フィールド録画
- **録画スピード：**0.100秒 (54H)





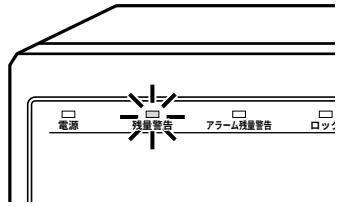
メモ

録画中に再生することができます。録画中に再生/停止ボタンを押すと、操作表示が ▶ になり、録画した開始点から映像が再生されます。(☞ P21)

録画/停止ボタンを約3秒間押す

操作表示の「REC」が消えて、録画が終了します。

注意：通常記録領域の記録残量が設定した残量以下の値になると本機前面パネルの残量警告ランプが点滅します。そのまま録画を続けると、記録領域がいっぱいになり録画を中止します。記録領域設定で通常記録領域の記録再開許可をおこなってください。最初から記録できるようになります。(☞ P47)



☞ **録画をおこなう場合は、あらかじめ表示時刻が正しいことを確認ください。**

操作

■タイマー録画

曜日ごとに録画開始時間と録画終了時間を設定すると、自動的に監視映像を録画することができます。

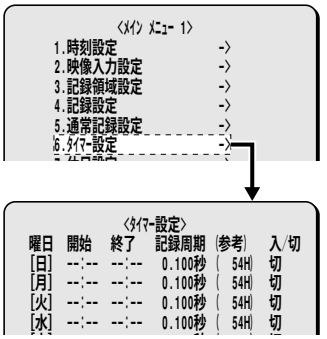
1

①時計を設定する

メニューボタンで「時刻設定」を表示させて、日付・時刻の設定をおこなってください。設定後、終了/画面表示ボタンを押すと操作表示部に日付と時刻が表示されます。(☞ P44)

②タイマーを設定する

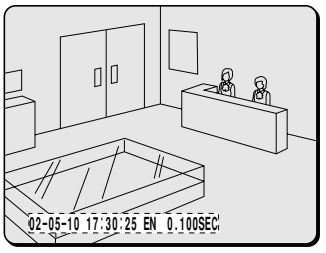
メニューボタンで「タイマー設定」を表示させて、タイマー録画の開始時間と終了時間などの設定をおこなってください。(☞ P52)
設定終了後､終了/画面表示ボタンを押すと通常の画面に戻ります。



2

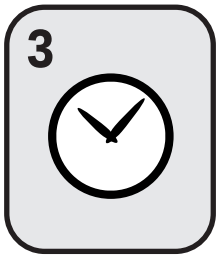
タイマー録画ボタンを押す

タイマー録画ランプが点灯して、タイマー録画待機状態になります。



注意：

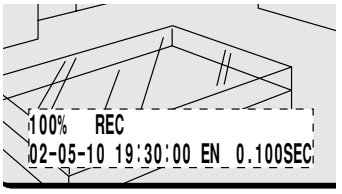
- **タイマー設定の「入/切」を“ 入 ”に設定していない場合やタイマー設定が正しく設定されていない場合は、タイマー録画ボタンを押すとアラーム音が鳴ります。**
- **タイマー予約が正しく設定されていると、タイマー録画ランプが点灯します。**
- **タイマー予約した時間になると、タイマー録画ランプと録画/停止ランプが点灯してタイマー録画を開始します。**
- **タイマー録画中にタイマー録画ボタンを押すと、タイマー録画ランプと録画/停止ランプが消えて、タイマー録画が終了します。**



タイマー設定した時間になるとタイマー録画を開始する

操作表示にRECが表示し、通常記録領域に監視映像が録画されます。ハードディスクには自動的（初期設定）に次の様な設定で録画されます。長時間録画から高画質録画まで5段階の設定ができます。（☞ P51）

- **ハードディスクの記録領域：**
  通常記録領域80%
  アラーム記録領域19%
  バックアップ領域1%
- **画質：**EN（準高画質）
- **録画：**フィールド録画
- **録画スピード：**0.100秒



メモ

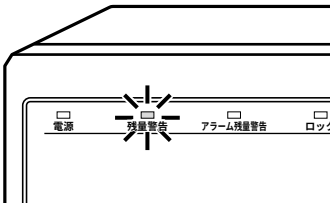
録画中に再生することができます。録画中に再生/停止ボタンを押すと、操作表示が ▶ になり、録画した開始点から映像が再生されます。（☞ P21）

タイマー終了時間になるとタイマー録画が終了する

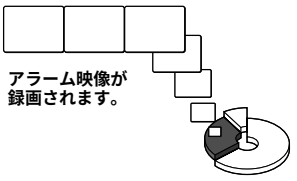
録画マーク（REC）が消え、録画が終了します。

注意：

- **タイマー録画を途中でやめるときはタイマー録画ボタンを押してください。タイマー録画が終了します。**
- **通常記録領域の記録残量が設定した残量以下になると前面パネルの残量警告ランプが点滅します。そのまま録画を続けると、記録領域がいっぱいになり録画が中止します。その際、ランプが点灯に換わります。記録領域設定で通常記録領域の記録再開許可をおこなってください。最初から録画できるようになります。（☞ P47）**

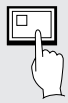


アラーム記録領域に録画する



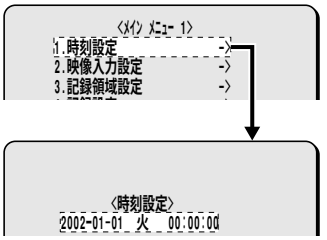
■アラーム録画

1



①時計を設定する

メニューボタンで「時刻設定」を表示させて、日付・時刻の設定をおこなってください。設定後、終了/画面表示ボタンを押すと操作表示部に日付と時刻が表示されます。(☞ P44)



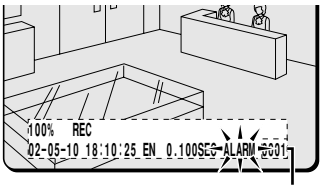
②アラーム録画を設定する

- メニューボタンでメインメニューの〈アラーム記録設定〉を表示させて、「アラーム記録」(モード1、2、3、4)と「アラームトリガー」の設定をおこなってください。(☞ P57、60)
- メニューボタンでメインメニュー2の〈ブザー設定〉を表示させてのアラームを“ 入 ”に設定してください。(☞ P65)
- 終了/画面表示ボタンを押すと通常の画面に戻ります。

2

不審者の検知

アラームが入ると、操作表示部の“ ALARM ”が点滅してアラーム録画(REC表示)になります。アラーム記録領域にアラーム映像が録画されます。また、アラームが入るたびに操作表示のアラーム回数がカウントされます。



アラーム回数が
カウントされます。

メモ

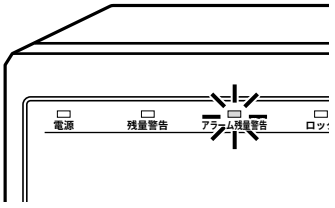
通常録画中やタイマー録画中にアラームが入ると通常録画やタイマー録画は中止します。

3

アラーム録画の終了

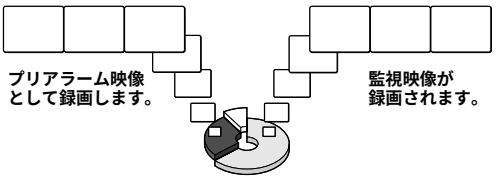
アラーム持続期間(初期設定：1秒)が終了すると操作表示部の「REC」と“ ALARM ”の点滅が終了し、録画が終了します。

注意：アラーム記録領域の記録残量が設定した残量以下の値になると本機前面パネルのアラーム残量警告ランプが点滅します。そのまま録画を続けると、記録領域がいっぱいになり録画を中止します。その際、ランプが点灯に換わります。記録領域設定でアラーム領域の記録再開許可をおこなってください。上書きを消去し最初から録画できるようになります。(☞ P47)



操作

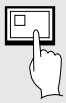
アラーム記録領域に録画する



■プリアラーム録画

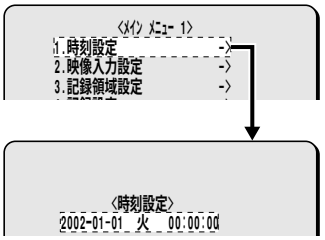
1

メニュー



時計を設定する

メニューボタンで〈時刻設定〉を表示させて、日付・時刻の設定をおこなってください。設定後、終了/画面表示ボタンを押すと操作表示部に日付と時刻が表示されます。



2

●録画/停止

プリアラーム録画を設定する

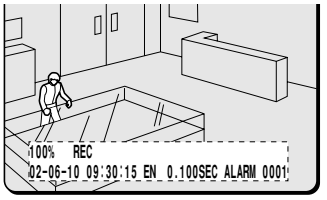
メニューボタンで〈アラーム記録設定〉を表示させて、「アラーム記録」(例：モード1) を設定してください。「プリアラーム記録」の＊＊＊が“ 切 ”になりますので“ 入 ”に切り換えてください。
(☞ P57)
終了/画面表示ボタンを押すと通常画面に戻り操作表示部に“ PRE ”が表示されます。プリアラーム録画 (RECマークは表示しません) が始まります。
映像は通常記録領域と同じ監視映像をアラーム記録領域にくり返し録画されます。
ハードディスクには自動的 (初期設定) に次の様な設定で録画されます。長時間録画から高画質録画まで5段階の設定ができます。
(☞ P51)

- **画質：**EN (準高画質)
- **録画：**フィールド録画

3

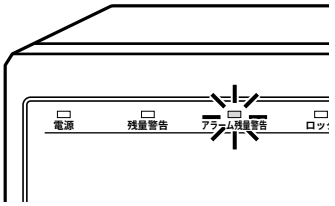
アラームを受けると、自動的にプリアラーム録画を終了してアラーム映像を録画する

操作表示部の“ PRE ”が消えて“ ALARM ”表示の点滅になります。



注意：

- **アラーム記録領域の記録残量が残り1%になると本機前面パネルのアラーム残量警告ランプが点滅します。そのまま録画を続けると、記録領域がいっぱいになり録画を中止します。その際、ランプが点灯に換わります。記録領域設定でアラーム領域の記録再開許可をおこなってください。上書きを消去し最初から録画できるようになります。(☞ P47)**
- **プリアラームの録画スピードなどについては「録画スピード一覧表」をご覧ください。(☞ P14)**

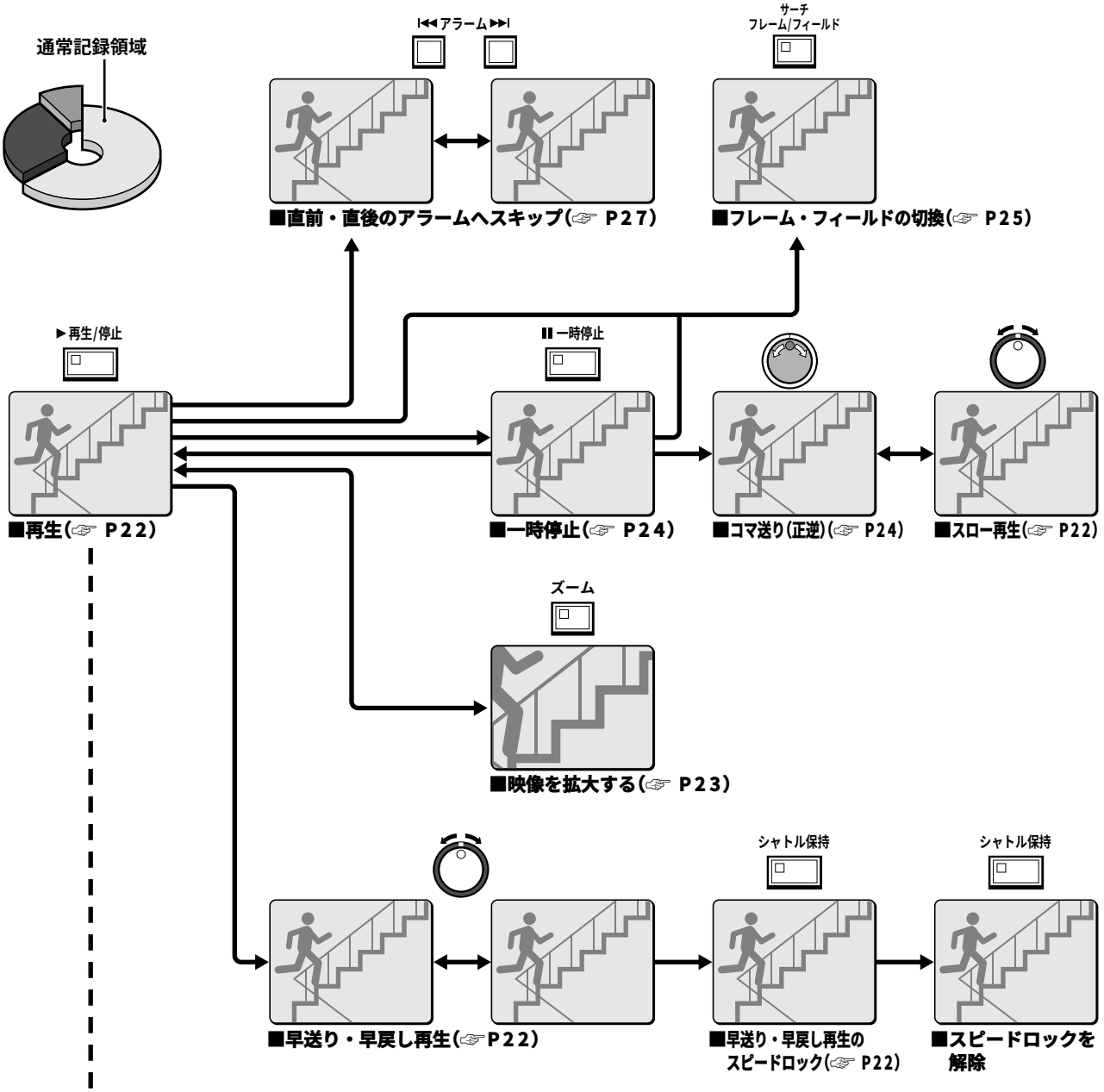


操作

通常記録領域に録画した映像を再生する

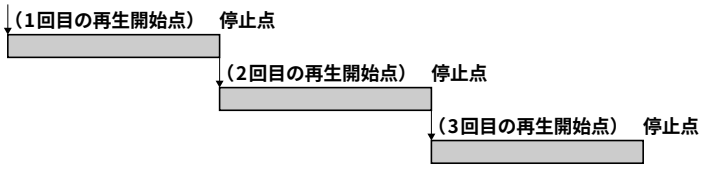
通常記録領域（通常録画、タイマー録画）の録画映像を再生します。

再生時の操作



通常再生について

- **初めて録画して再生する場合**
  録画した内容を最初から再生します。
- **2回目以降の再生をおこなう場合**
  前回の再生が終了した時点から再生します。



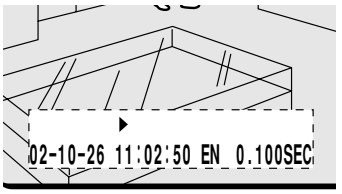
操作

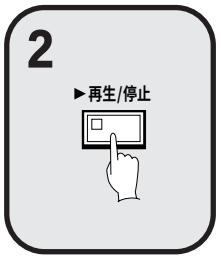
再生する

再生/停止ボタンを押す

操作表示部に ▶ が表示し、通常記録領域に記録された映像を再生します。

注意：
- **映像の再生は録画を開始した位置（時間）から再生します。録画を開始した位置がない場合やリセットされた場合は、もっとも古い録画映像から再生します。**
- **再生が終わると自動的に再生一時停止になります。操作表示部には停止中（ ⏸ ）表示となり一時停止ランプが点灯します。**
- **一度でも再生をおこなうと、最後に再生した位置から再生が始まります。**

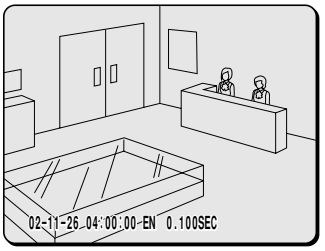




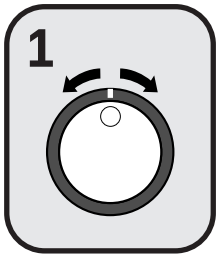
再度、再生/停止ボタンを押す

再生が終了します。

注意：録画している付近を再生すると、記録を優先とした処理をおこなっているため再生画像が一時的に静止画になることがあります。



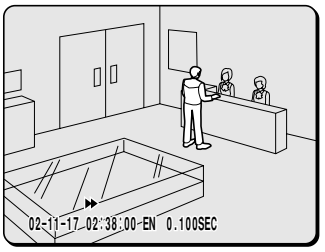
早送り、早戻し再生をするときは

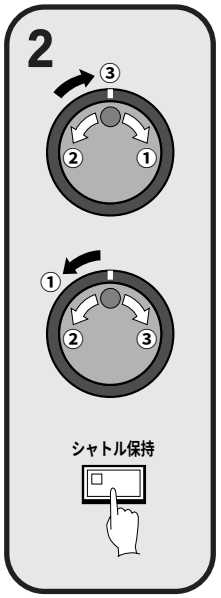


「再生中」に、シャトルダイヤルを右（または左）へ回す

シャトルダイヤルを右に回すと操作表示に ▶▶ が表示し、早送りします。左に回すと操作表示に ◀◀ が表示し、早戻しになります。
シャトルダイヤルを離すと通常の再生になります。

注意：早送りは最高70倍速程度、早戻しは最高50倍速程度の速度となります。実際の速度は、記録画質などの記録条件によって変化します。





再生中のスピードを変更する

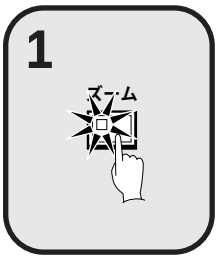
（早送り・スロー再生）

①ジョグダイヤルを右に回す
　早送りになり操作表示部は ▶▶ 表示になります。
②ジョグダイヤルを左に回す
　スロー再生になり操作表示部は ⏸▶ 表示になります。
③通常再生に戻す
　ジョグダイヤルを右に回して ▶ 表示にしてください。

（早戻し・スロー再生）

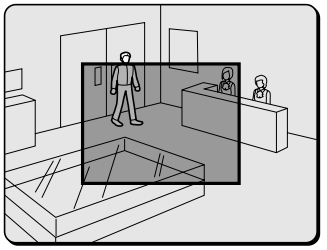
①シャトルダイヤルを左に回す（早戻し固定）
　◀ 表示になりますので、シャトル保持ボタンを押してください。
　シャトル保持ランプが点灯して、逆戻し再生スピードが固定されます。
②ジョグダイヤルを左に回す
　通常の早戻し再生より早くなります。操作表示部は ◀◀ 表示になります。
③ジョグダイヤルを右に回す
　早戻しスロー再生になり操作表示部は ◀⏸ 表示になります。
④通常再生に戻す
　ジョグダイヤルを左に回して ▶ 表示してください。

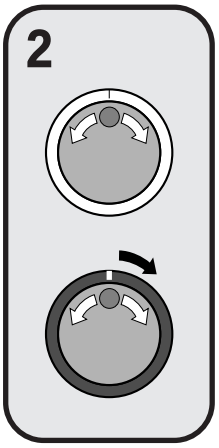
再生中の映像を拡大するときは



「再生中」に、ズームボタンを押す

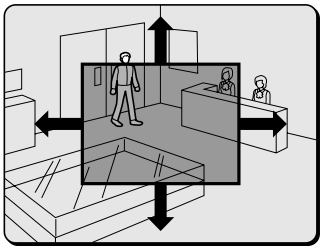
画面中央にズーム枠（青）が表示します。

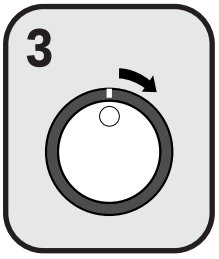




ズーム枠を拡大したい位置に移動する

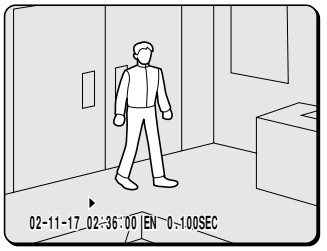
- ジョグダイヤルを右に回すとズーム枠が右に移動します。
  左に回すとズーム枠が左に移動します。
- シャトルダイヤルを右に回すと、上下動切り換えになります。
  ジョグダイヤルを右に回すとズーム枠が下に移動し、左に回すと上に移動します。
  映像を拡大したい位置へズーム枠を移動させてください。

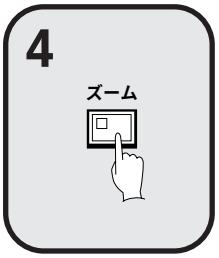




シャトルダイヤルを回す

ズーム枠の範囲が拡大（2倍）画面になります。



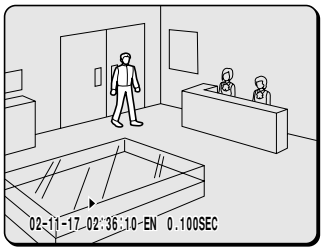


ズームボタンを押す（ズームの解除）

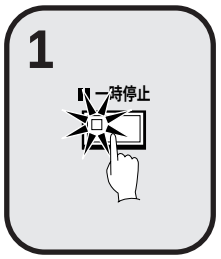
映像の拡大が中止し、再生状態になります。

注意：

- **カメラ映像の監視中は拡大表示はできません。**
- **メニューの映像入力設定でフレームスイッチャーを選択している場合は、ズームボタンは操作できません。**
- **ズーム画像にすると画質が粗くなります。**

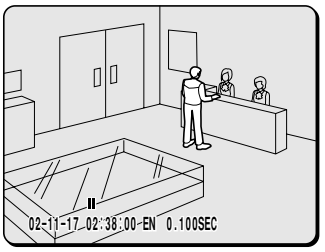


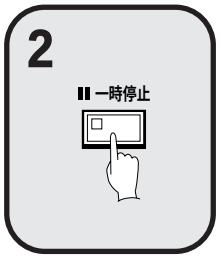
静止画で見るときは



「再生中」に、一時停止ボタンを押す

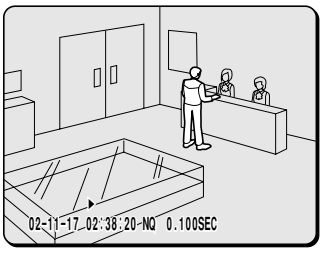
操作表示部に ⏸ が表示し、映像が静止画になります。



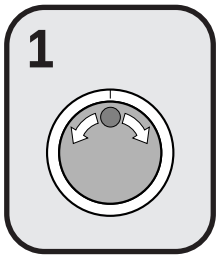


再度、一時停止ボタンを押す

静止画が中止します。



コマ送り（正逆）するときは

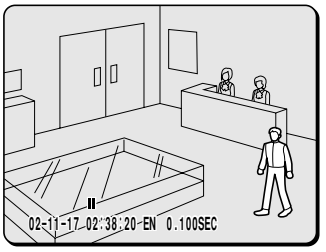


「静止画中」に、ジョグダイヤルを右（または左）へ回す

ジョグダイヤルを右に回すと静止画が1コマ（1フィールド）進みます。
左に回すと静止画が1コマ（1フィールド）戻ります。

メモ

ジョグダイヤルを早く回すとコマ送り速度も上がります。



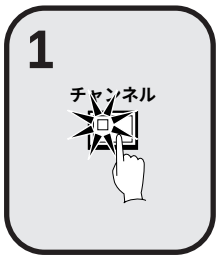
下記の操作中は映像が乱れたり、一時的に映像が止まったように見えますが不良ではありません。

- **通常記録領域とアラーム記録領域を連続して再生する場合、各記録領域の切り換わり時に画像が乱れる場合があります。**
- **アラーム記録中の再生や通常記録領域とアラーム記録領域の連続再生中に、通常再生や早送り・早戻し再生をおこなうと、映像が止まったように見える場面があります。**

通常記録領域に録画した映像を再生する

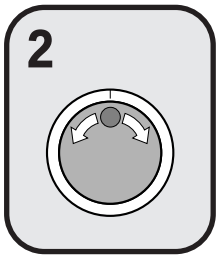
カメラ映像のチャンネルを指定して再生する

本機に別売のフレームスイッチャーを接続して、カメラ映像を録画した後、録画したチャンネル（カメラ番号）を指定して再生できます。

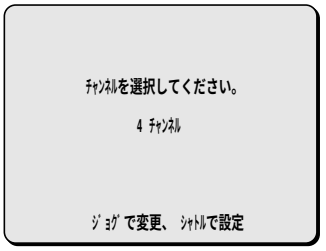


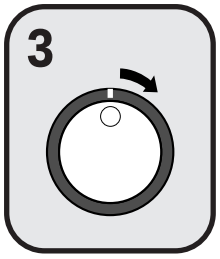
「再生一時停止中」に、チャンネルボタンを押す

フレームスイッチャーに接続されているカメラ番号が選択画面になります。



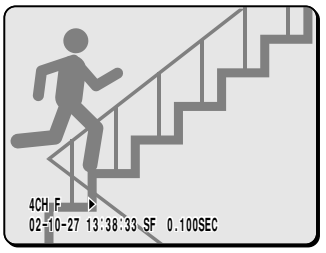
ジョグダイヤルでチャンネル（例：カメラ4）を指定する





シャトルダイヤルを右へ回す

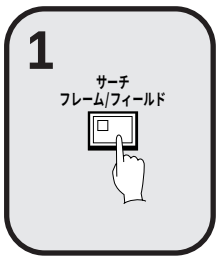
操作表示部に ▶ が表示し、指定したチャンネルの映像が再生されます。



注意：

- **チャンネル情報（カメラ番号）をデコード可能なフレームスイッチャーに接続していなければ、チャンネル指定再生はできません。**
- **この操作をおこなった場合は、指定したチャンネルのみを再生しますので他のチャンネルは表示されません。**
- **チャンネル選択した場合には、フレームスイッチャーのタイトル情報や日時情報が部分的に表示されないことがあります。**

フレームとフィールド再生を切り換える



「フレーム録画の映像」を再生中に、サーチ フレーム/フィールドボタンを押す

ボタンを押すごとに、フレームとフィールドの画面が切り換わります。
フレーム再生時は、操作表示部に“ F ”を表示します。

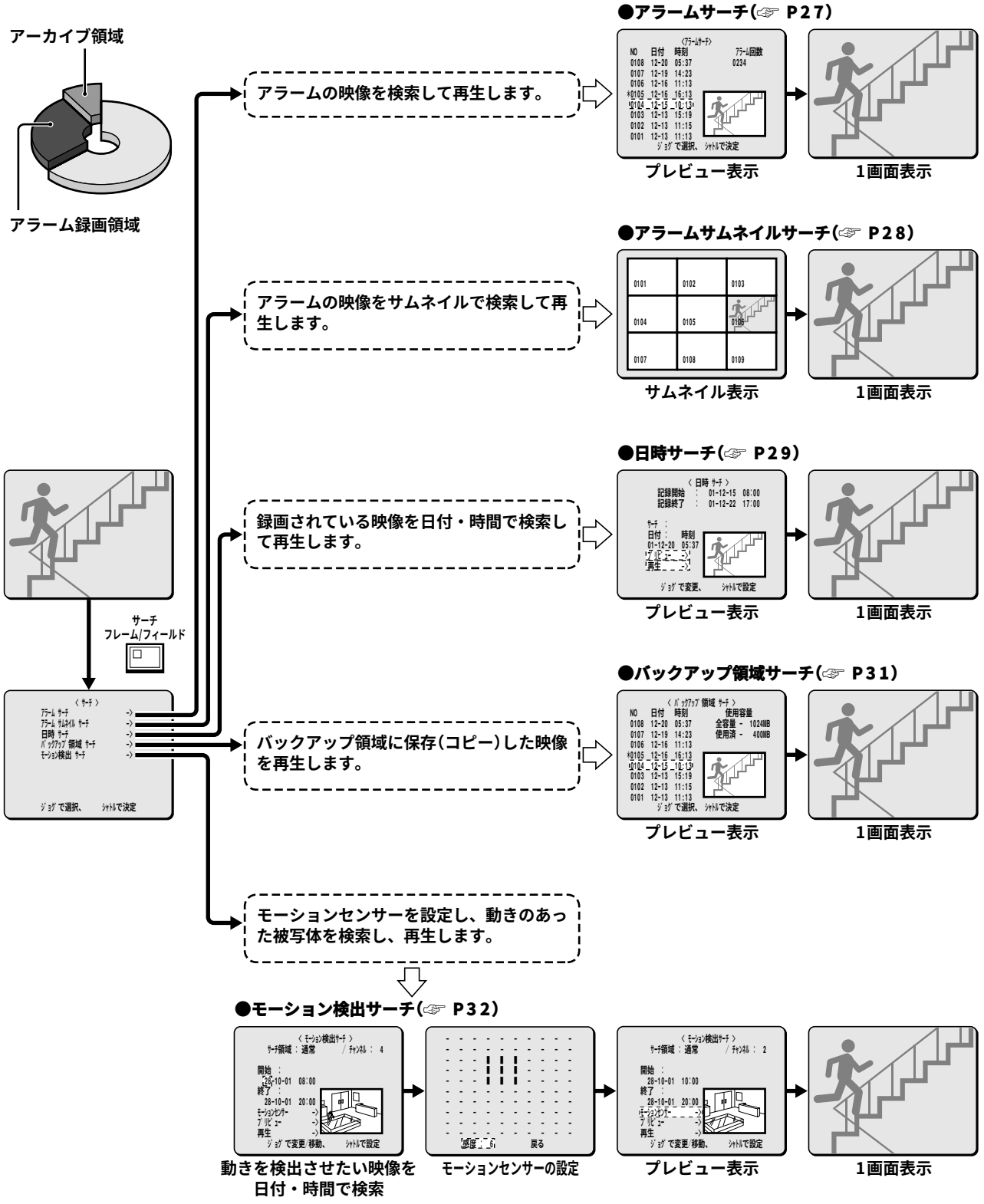
注意：

- **フレーム・フィールド再生の切り換えは、フレームで録画した映像のみ切り換えることができます。**
- **動きの早い映像をフレーム録画した場合の再生は映像が揺れることがあります。**

操作

録画した映像を検索する

アラーム記録領域やバックアップ領域に録画されている映像を再生します。また、日付・時間で録画されている映像の検索や、再生中の映像をセンサー検知により動きのあった被写体を検索することができます。

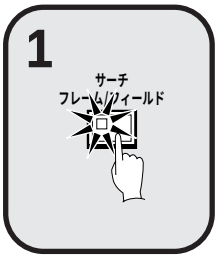


☞ 映像を検索する為には、日付・時間が正しく設定されている必要があります。

操作

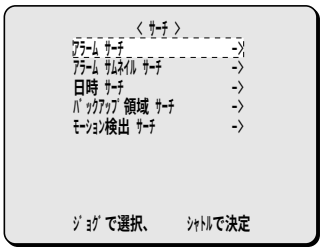
アラームサーチ

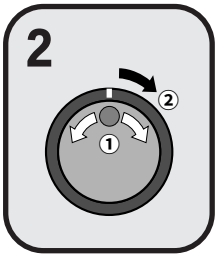
アラーム記録領域に記録されている全てのアラーム映像を検索して再生します。プリアラームの映像を録画している場合は、アラームの直前の映像も再生できます。



「録画中または停止中」に、サーチ フレーム/フィールドボタンを押す

〈サーチ〉画面が表示します。

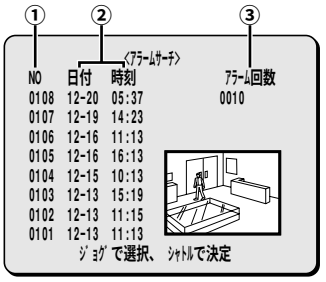


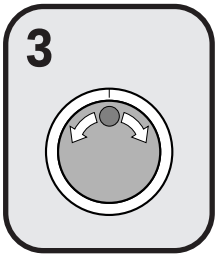


ジョグダイヤルで「アラームサーチ」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

〈アラームサーチ〉画面が表示します。

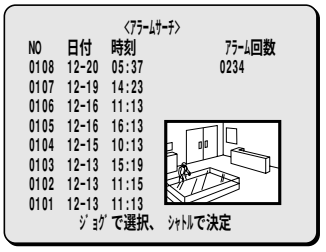
①**NO**：アラームの番号が表示します。
②**日付／時刻**：アラームを受けて録画した映像の日付・時間が表示します。
③**アラーム回数**：録画されているアラーム映像の総数を表示します。





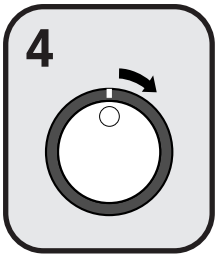
ジョグダイヤルでカーソルを移動させ、再生したい映像を選択する

選択したアラーム映像がプレビュー画面に表示します。



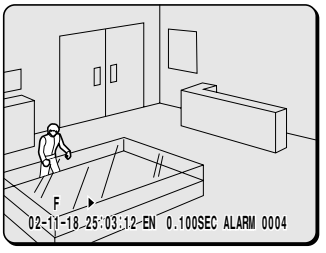
メモ

- **〈アラームサーチ〉画面で表示できるアラームの情報は8件までです。ジョグダイヤルを回すと前後のアラーム画面を見ることができます。**
- **本サーチモードを終了するときは、サーチ フレーム/フィールドボタンを押してください。**
- **探したいアラーム日時が離れている場合は、正または逆のアラームスキップボタンを押し続けると、正または逆に5画面分を送り続けることができます。**



シャトルダイヤルを右に回す

プレビュー画面を1画面で表示して再生が始まります。

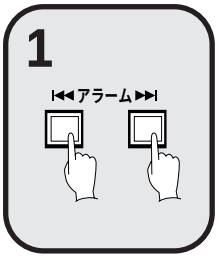


メモ

- **シャトルまたはジョグダイヤル、各ボタン操作で静止画や早送りなどの操作もできます。**

注意：アラームサーチはアラームの発生した瞬間の画像から再生しますので、プリアラームの映像を見るときは、シャトル動作で逆再生操作をおこなってください。

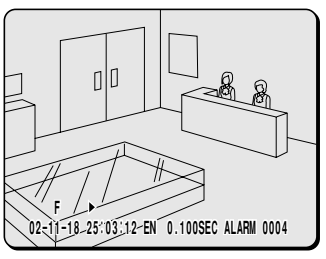
アラームサーチ2



「再生中」に、アラームスキップボタンを押す

- ⏮ ボタンを押すと直前のアラーム映像へスキップします。
- ⏭ ボタンを押すと直後のアラーム映像へスキップします。

注意：アラームサーチで再生した場合には、各アラーム記録の先頭および最後で静止画状態になります。アラームスキップボタンで前後のアラームを再生してください。



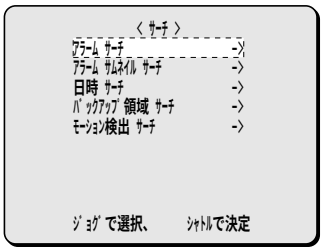
操作

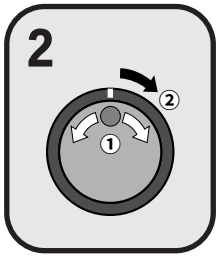
アラームサムネイルサーチ

アラームの映像をサムネイルから検索して再生します。
アラーム記録領域に記録されている全てのアラーム映像がサムネイル表示されます。

「録画中または停止中」に、サーチ フレーム/フィールドボタンを押す

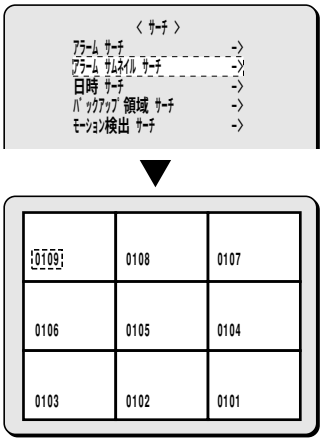
〈サーチ〉画面が表示します。

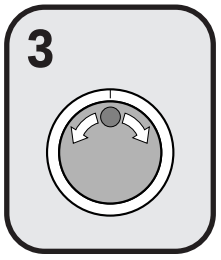




ジョグダイヤルで「アラームサムネイルサーチ」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

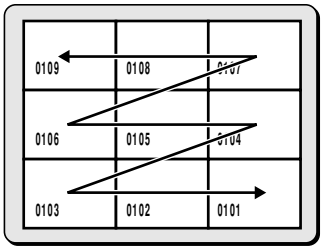
最新のアラーム映像9件が表示します。
各アラーム映像にはアラーム番号が表示され、選択中のアラーム映像の番号が点滅しています。





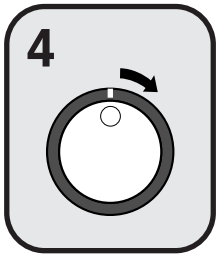
ジョグダイヤルでカーソルを移動させ、再生したい映像を選択する

選択されている画像のアラーム番号が点滅します。



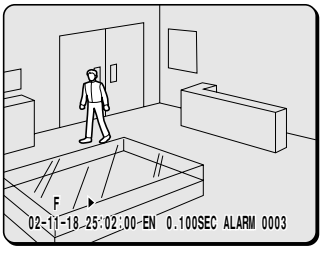
メモ

- **サムネイルで表示できるアラームの情報は9件までです。ジョグダイヤルを回すと前後のアラーム画面を見ることができます。**
- **本サーチモードを終了するときは、サーチ フレーム/フィールドボタンを押してください。**



シャトルダイヤルを右に回す

選択した映像を1画面で表示して再生が始まります。



メモ

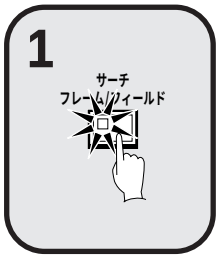
シャトルまたはジョグダイヤル、各ボタン操作で静止画や早送りなどの操作もできます。

注意：アラームサーチと同様に各アラーム記録内でしか再生できません。前後のアラームはアラームスキップボタンで再生してください。

操作

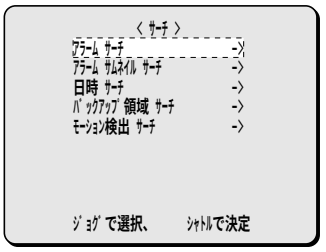
日時サーチ

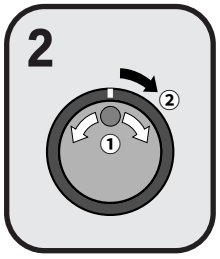
ハードディスクの通常記録領域（通常録画・タイマー録画の映像）とアラーム記録領域に記録した映像の日付と時間を指定して再生することができます。



「録画中または停止中」に、サーチ フレーム/フィールドボタンを押す

〈サーチ〉画面が表示します。

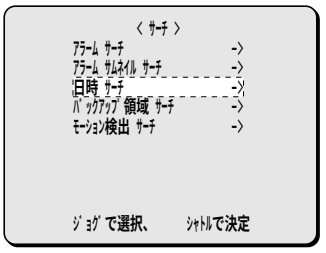


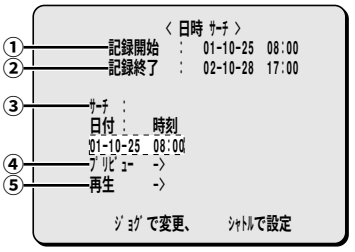


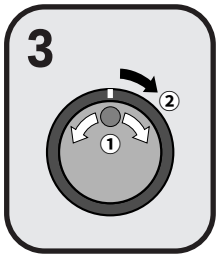
ジョグダイヤルで「日時サーチ」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

〈日時サーチ〉画面が表示します。

①記録開始：一番最初に録画した映像の日付・時間が表示します。
②記録終了：一番最後（最新）に録画した映像の日付・時間が表示します。
③サーチ：この欄に再生したい日付・時間を入力します。
④プリビュー：選択するとプレビュー画面が表示します。
⑤再生：選択するとモニタに1画面表示します。



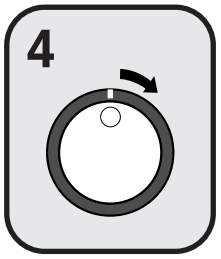




例：02年10月26日　午後8時を検索する

①ジョグダイヤルを右に回して02を選択する。
②シャトルダイヤルを右に回して10を選択する。
③シャトルダイヤルを右に回してジョグダイヤルで“ 25 ”を“ 26 ”に変更する。
④シャトルダイヤルを右に回してジョグダイヤルで“ 08 ”を20に変更する。
⑤シャトルダイヤルを右に回して“ 00 ”を選択してシャトルダイヤルを回す。
カーソルがプリビューに移動しています。

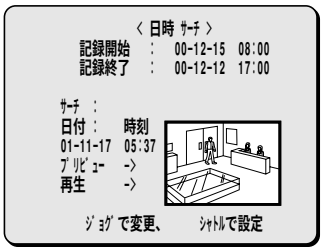
操作



シャトルダイヤルを右に回す

検索中は、サーチ表示になり、入力した日付と時間のプレビュー画面を表示します。

注意：完全に時刻が一致する画像が無ければ、選択した時間帯にもっとも近い映像が表示されます。

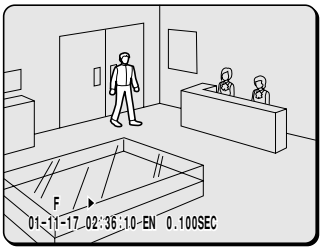


5 ジョグダイヤルで「再生」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

プレビュー画面が1画面で再生されます。

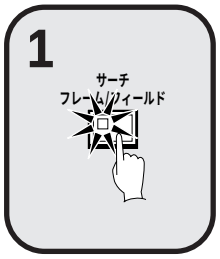
メモ

- **プレビュー画面を表示させなくても、日付・時間を入力して再生を選択すると1画面で表示させることができます。**
- **シャトルまたはジョグダイヤル、各ボタン操作で静止画や早送りなどの操作もできます。**



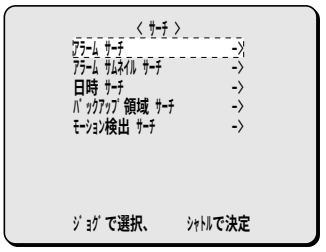
バックアップ領域のサーチ

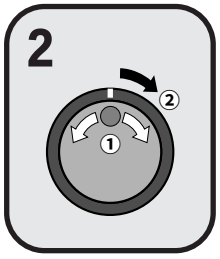
バックアップ領域の映像を再生します。



「録画中または停止中」に、サーチ フレーム/フィールドボタンを押す

〈サーチ〉画面が表示します。

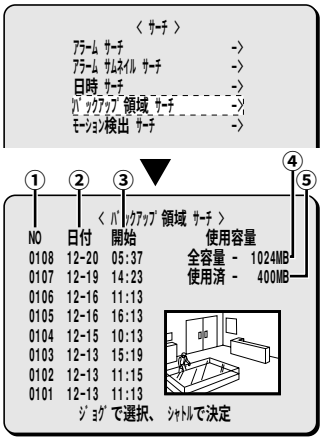


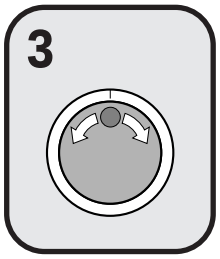


ジョグダイヤルで「バックアップ領域サーチ」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

〈バックアップ領域サーチ〉画面が表示します。

①**NO：**バックアップの番号が表示します。
②**日付：**録画した映像の日付が表示します。
③**開始：**録画した映像の開始時間が表示します。
④**全容量：**バックアップ領域の全容量を表示します。
⑤**使用済：**バックアップ領域の記録済み容量を表示します。



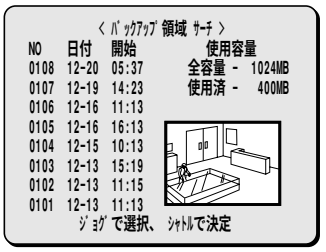


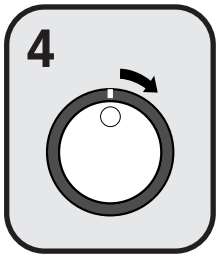
ジョグダイヤルでカーソルを移動させ、再生したい映像を選択する

選択した映像をプレビュー画面に表示します。

メモ

- **バックアップ領域サーチ画面で表示できるリストは8件までです。**
  ジョグダイヤルを回すと前後のバックアップ画面を見ることができます。
- **本サーチモードを終了するときは、サーチ フレーム/フィールドボタンを押してください。**



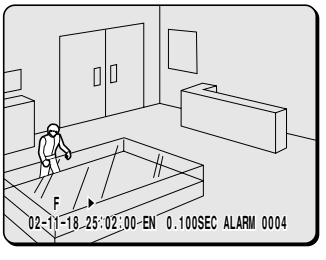


シャトルダイヤルを右に回す

選択した映像を1画面で再生します。

メモ

- **プレビュー画面がない状態でも、再生させたい映像にカーソルを合わせ、シャトルダイヤルを右に回すと、1画面で表示させることができます。**
- **シャトルまたはジョグダイヤル、各ボタン操作で静止画や早送りなどの操作もできます。**



操作

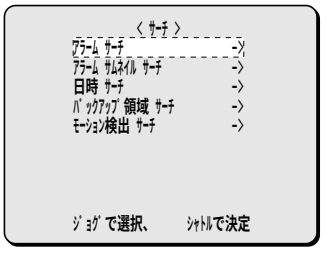
モーション検出サーチ

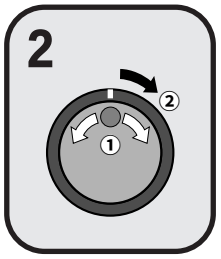
ハードディスクの通常記録領域（通常録画・タイマー録画の映像）またはアラーム記録領域に記録した映像にモーションセンサーを設定すると、侵入者などにより映像に変化があった箇所のみを検出し、再生することができます。

注意：
- **フレームスイッチャーの映像をモーション検出サーチする場合は「映像入力設定」の「フレームスイッチャー」の設定を“ なし ”以外に設定してください。**
- **当社などのチャンネル情報をデコード可能なフレームスイッチャーに接続しているときは、カメラ番号（チャンネル）を指定して、そのカメラ映像のみを検出することができます。それ以外のフレームスイッチャーと接続している場合は、この設定をすることはできません。**

「録画中または停止中」に、サーチ フレーム/フィールドボタンを押す

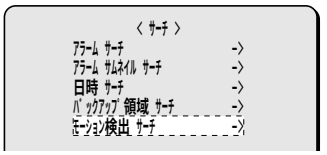
〈サーチ〉画面が表示します。

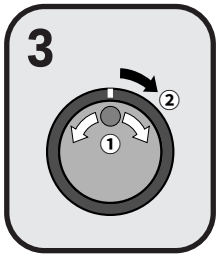




ジョグダイヤルで「モーション検出サーチ」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

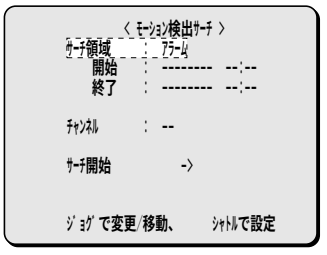
〈モーション検出サーチ〉画面が表示します。

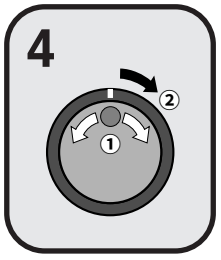




ジョグダイヤルで「サーチ領域」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

アラーム表示が点滅します。



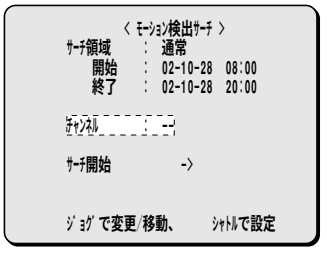


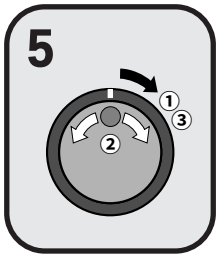
ジョグダイヤルでサーチ領域（例：通常）を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

カーソルが「チャンネル」に移動します。

注意：「映像入力設定」の「フレームスイッチャー」の設定が“ なし ”の場合は「サーチ開始」にカーソルが移動します。

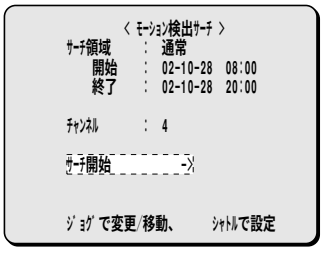
サーチ領域の選択例：
- **アラーム：**アラーム記録領域の映像のみを検出対象にします。
- **通常：**通常記録領域の映像のみを検出対象にします。
- **アラームと通常：**アラーム記録領域と通常記録領域の両方を検出対象にします。





シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルでカメラ番号（例：4）を選択して、シャトルダイヤルを右に回す

カーソルが「サーチ開始」に移動します。



6

シャトルダイヤルを右に回す

画面が切り換わりカメラ番号4のプレビュー画面が表示されます。

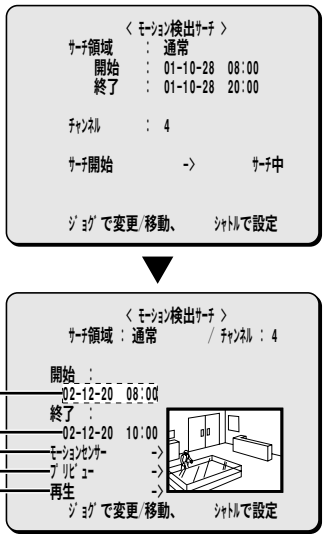
①**開始：**各記録領域に記録された最初の画面の日付と時間を表示します。
モーションセンサーを設定する画面の選択ができます。

②**終了：**各記録領域に記録された最後の日付と時間を表示します。開始時間と終了時間の差が1時間未満のときには、開始時間に1時間追加した値を終了時間として表示します。
モーションセンサーを設定する画面の選択ができます。

③**モーションセンサー：**モーションセンサーを表示します。

④**プリビュー：**選択した開始点を表示します。
シャトルダイヤルを右に回すと終了点までの映像を確認できます。

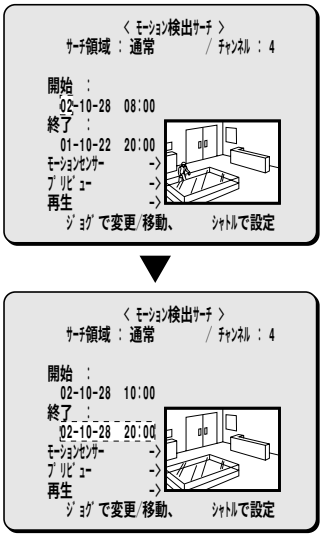
⑤**再生：**選択した映像を1画面表示し、通常再生の画面になります。



7

シャトルダイヤルを右に回す

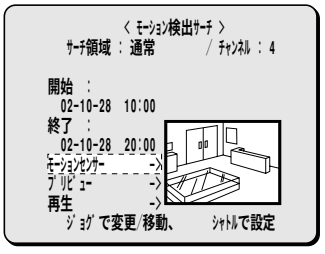
モーションセンサーを設定する開始の日付・時刻（例：同日の午前10時）をジョグダイヤルで設定して、シャトルダイヤルを右に回してください。
プレビュー画面で指定した時刻の映像になり、カーソルが終了の日付・時刻に移動します。



8

シャトルダイヤルを右に回す

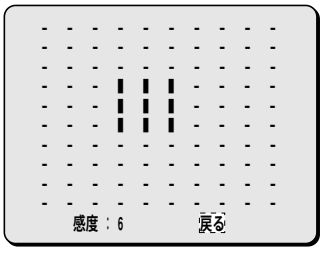
モーションセンサーを設定する終点の日付・時刻（例：同日の午後8時）をジョグダイヤルで設定して、シャトルダイヤルを右に回してください。
カーソルがモーションセンサーに移動します。

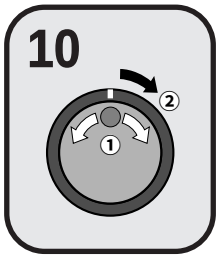


9

シャトルダイヤルを右に回す

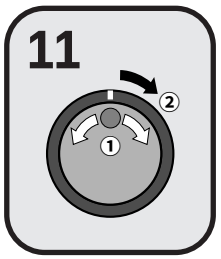
モーションセンサー設定画面になります。
動きのある場面を見たい箇所にモーションセンサーを設定してください。
カーソルを「戻る」に移動させてシャトルダイヤルを右に回してください。〈モーション検出サーチ〉の画面に戻ります。
「モーションセンサー」の設定（☞ P60）をご覧ください。





ジョグダイヤルでプリビューにカーソルを移動させて、シャトルダイヤルを右に回すたびにモーションセンサーを設定した画面がプレビュー画面に表示します。

注意：モーションセンサーを設定していない場合は「見つかりません！」表示になりますので必ずモーションセンサー設定をおこなってください。



モーションセンサーを一画面で見るときはジョグダイヤルでカーソルを「再生」に移動させてシャトルダイヤルを右に回す

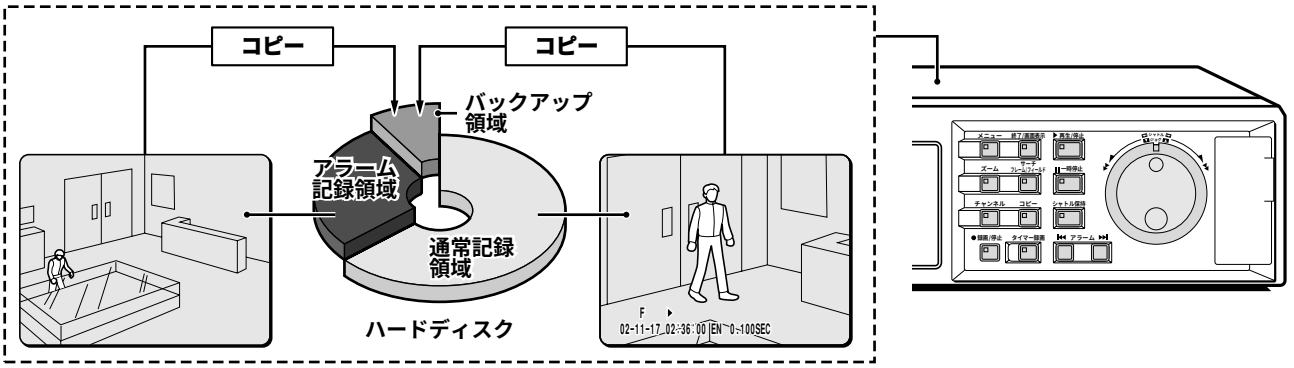
指定した映像から通常再生になります。

注意：フレームスイッチャーと組み合わせでカメラ番号をチャンネルで指定して「モーション検出サーチ」をおこなった場合は、指定したカメラ番号のみを再生します。また、このときにフレームスイッチャーのタイトル情報や日時情報が部分的に表示されないことがあります。すべてのカメラを再生する場合は、一度再生を停止してからもう一度再生をおこなってください。

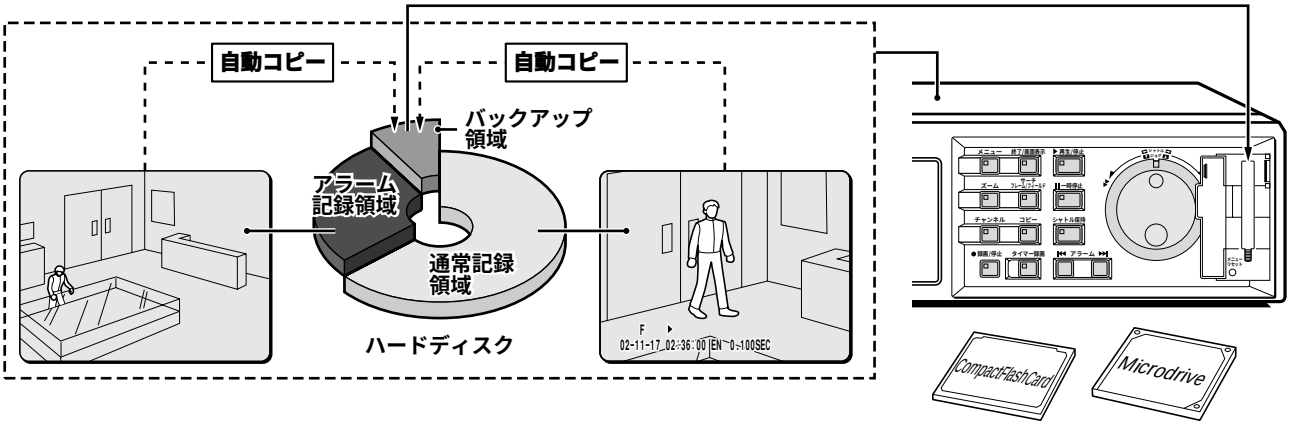
録画した映像を保存（コピー）する

通常記録領域やアラーム記録領域に録画した映像の中から大切な映像のみを本機のバックアップ領域や次の媒体にコピーすることができます。

A ハードディスクのバックアップ領域に映像をコピーする

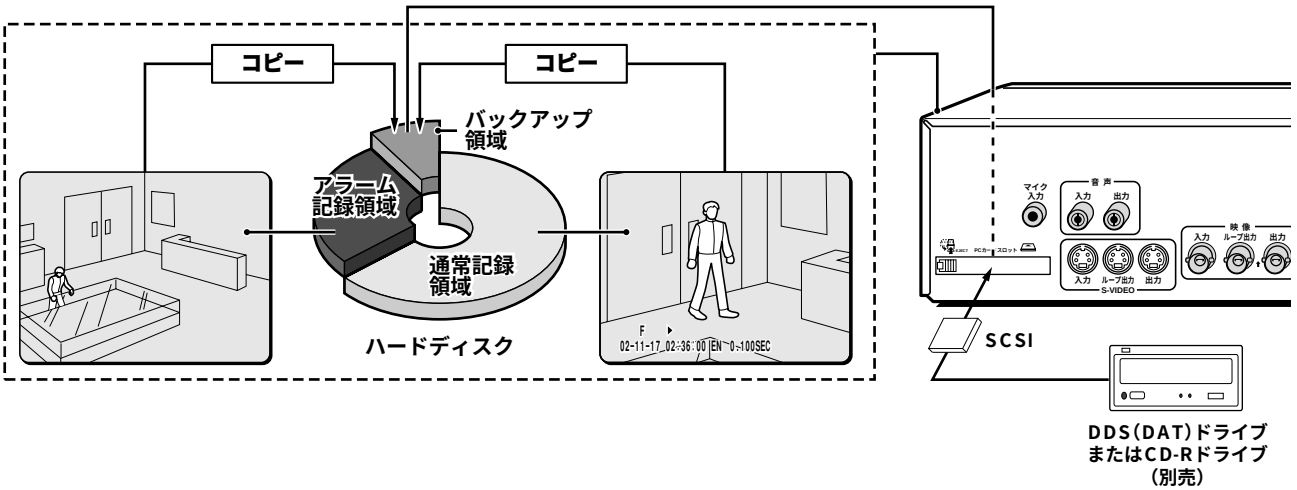


B コンパクトフラッシュカードまたはマイクロドライブに映像をコピーする



CFカード、マイクロドライブ

C バックアップ領域の映像をDDS（DAT）ドライブまたはCD-Rドライブへコピーする



DDS（DAT）ドライブ
またはCD-Rドライブ
（別売）

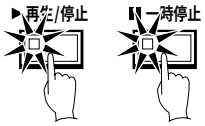
注意：

- コピーする映像は、1枚ずつの画像として保存されます。
- コンパクトフラッシュカードに画像をダウンロードさせる場合は、画像は自動的にバックアップ領域に保存された後、バックアップ領域からコンパクトフラッシュカードにコピーされます。ただしバックアップ領域には画像は残りません。
- バックアップ領域の画像がいっぱいになった場合は、メニューの〈記録領域設定〉の「バックアップ領域の記録再開許可」で削除してください。

操作

Aハードディスクのバックアップ領域に映像をコピーする

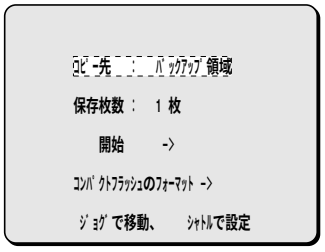
1 通常記録領域の映像やアラーム記録領域の映像を再生してコピーしたい映像で静止画にしてください。(☞ P24)



例：指定した映像を10秒間分コピーする

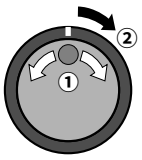
2 **コピーしたい「静止画像」で、コピーボタンを押す**

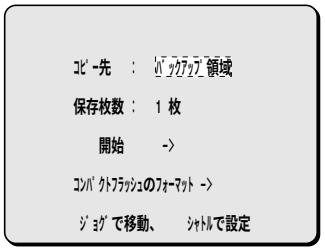
コピー画面が表示します。



3 **ジョグダイヤルで「コピー先」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

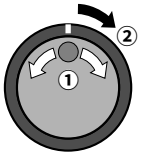
バックアップ領域表示が点滅します。

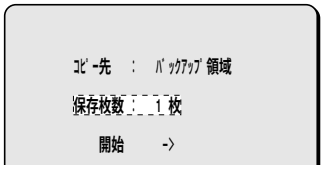




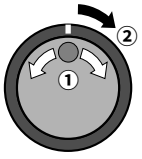
4 **ジョグダイヤルで「バックアップ領域」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「保存枚数」に移動します。





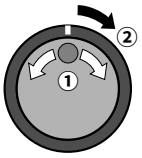
5 **シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで“10”に設定して、シャトルダイヤルを回す**

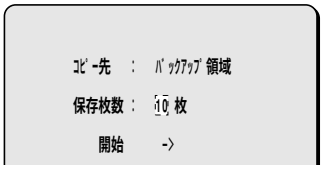


6 **ジョグダイヤルで“秒”を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

- **枚：**指定した映像から指定枚数をコピーする
- **秒：**指定した映像から指定秒間をコピーする
- **分：**指定した映像から指定した60分以内をコピーする

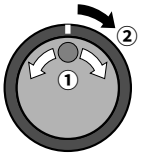
カーソルが「開始」に移動します。

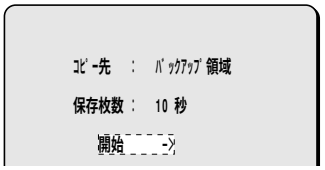




7 **シャトルダイヤルを右に回す**

バックアップ領域にコピーが開始します。コピーが終了すると、「コピー終了！」の表示がでます。





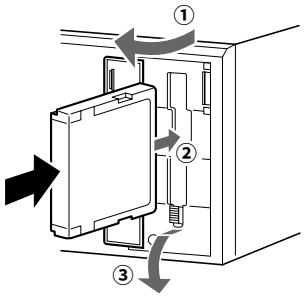
注意：コピー中にコピーボタンを押すとコピーが中止します。

B コンパクトフラッシュカードまたはマイクロドライブに映像をコピーする

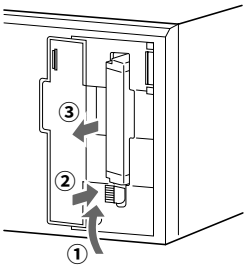
本機前面パネルのコンパクトフラッシュスロットにコンパクトフラッシュカードまたはマイクロドライブを挿入する

各カードまたはドライブを挿入するときは、挿入方向を確認してから挿入してください。

（装着）



（取出し）

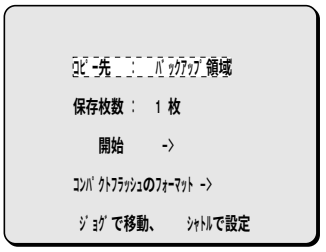


メモ

音声が記録されていれば、映像とともに音声もコピーされます。

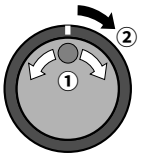
1 「バックアップ領域の静止画像」で、コピーボタンを押す

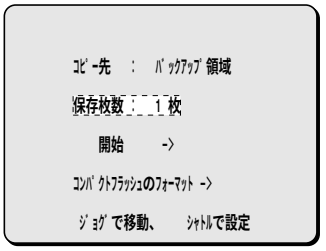
コピー画面が表示します。
バックアップ領域の再生のしかたは（☞ P31）をご覧ください。



2 ジョグダイヤルで「コピー先」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

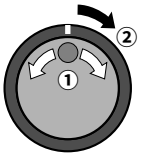
「バックアップ領域」表示が点滅します。

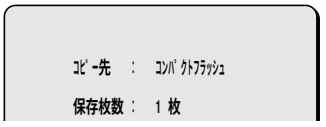




3 ジョグダイヤルで「コンパクトフラッシュ」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

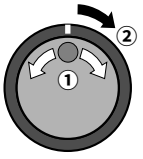
カーソルが「保存枚数」に移動します。

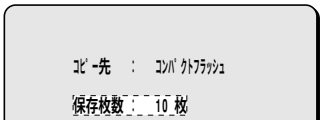




4 シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで“ 10 ”に設定して、シャトルダイヤルを右に回す

カーソルが“ 枚 ”に移動します。



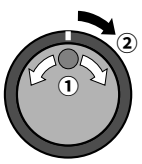


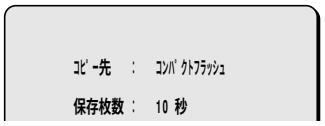
操作

5 ジョグダイヤルで“ 秒 ”を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

カーソルが「開始」に移動します。

- **枚：**指定した映像から指定枚数をコピーする
- **秒：**指定した映像から指定秒間をコピーする
- **分：**指定した映像から指定した60分以内をコピーする



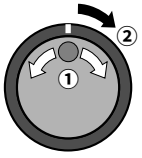


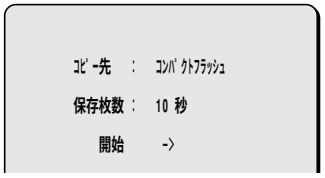
注意：

- **コピー枚数は40000枚まで可能です。40000枚になった時点でコピーを終了します。**
- **アラーム記録をコピーする場合には、アラーム1イベントずつしかコピーできません。**

6 シャトルダイヤルを右に回す

コピーランプが点灯し、「コンパクトフラッシュにコピー中」画面になり、コンパクトフラッシュカードにコピーが開始します。
コピーが終了すると、“ コピー終了 ”と表示します。



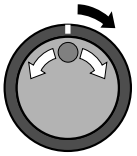


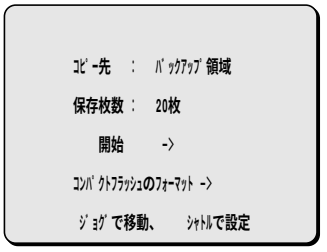
注意：

- **通常記録領域、アラーム記録領域の映像を直接コンパクトフラッシュカードにコピーする場合は、同じ映像が一時的にバックアップ領域にもコピーされます。ただし、コピー終了後、削除されます。**
- **コピー中にコピーボタンを押すとコピーが中止します。**
- **当社のフレームスイッチャーユニットで記録した画像をコンパクトフラッシュへコピーする場合には、まずコピーしたいチャンネルを「カメラ映像のチャンネルを指定して再生する」をおこなってからコピーをおこなってください。（☞ P25）**
- **音声が記録されていれば、映像とともに音声もコピーされます。**

（コンパクトフラッシュのフォーマット）

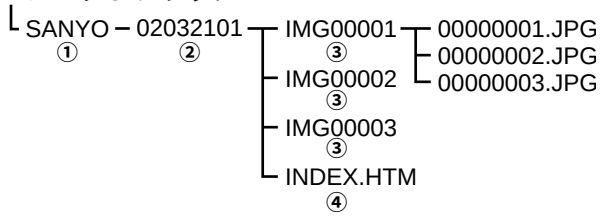
「コンパクトフラッシュのフォーマット」を選択すると、コンパクトフラッシュやマイクロドライブをフォーマットします。コンパクトフラッシュは必ずFAT16でフォーマットしたものをご使用ください。FAT32でフォーマットしたものは、認識できません。





（コンパクトフラッシュ記録領域について）

コンパクトフラッシュ



①ルートディレクトリの下にフォルダー「SANYO」を作成する。

②「SANYO」の下に、コピーした映像の日付でフォルダーを作成する。

③日付フォルダーの下に「IMG00001」から始まるサブディレクトリーを作成する。各サブディレクトリーには200枚ずつの画像が保存される。

④パソコンで閲覧する場合には、日付フォルダーの下にある「INDEX.HTM」をブラウザー（インターネットエクスプローラー5.0以上）で開いてください。JPEG画像のスライドショーなどの再生ができます。

注意：

- **JPEG画像はフィールド画像となっていますので、通常のimage viewerで見ると縦方向が1/2に圧縮して表示されます。必ずINDEX.HTMファイルで表示してください。**
- **フレーム記録した映像をコンパクトフラッシュにコピーする場合は、2枚のフィールドの映像として別々にコピーされるため、パソコン側での再生をおこなうときはフレーム再生はできません。**
- **コンパクトフラッシュにコピーした映像は、改竄検出用のコードが埋め込まれているため、改竄検出用のパソコンのアプリケーションで検出ができます。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。**

C バックアップ領域の映像をDDS（DAT）ドライブまたはCD-Rドライブへコピーする

☞ ドライブへの接続

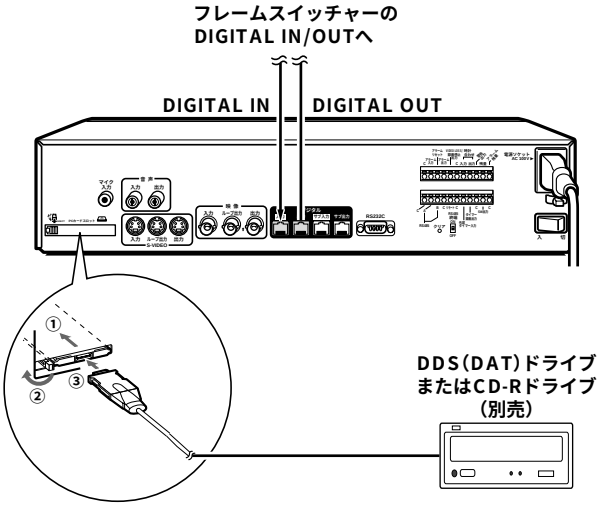
本機後面部のPCスロットにDDS（DAT）ドライブ接続のSCSIカード（市販）を接続してください。

バックアップ領域の映像をコピーしたり、DDS（DAT）ドライブに記録した映像をバックアップ領域に読み込むことができます。

●推奨SCSIカード
メーカー：ADAPTEC
型番：Slim SCSI 1460

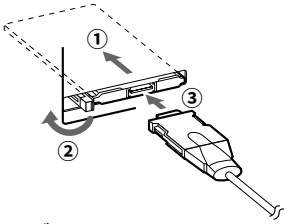
●推奨DDS（DAT）ドライブDDS-3タイプ
メーカー：ヒューレットパッカード
型番：Super Store dat 24e

●推奨CD-Rドライブ
メーカー：YAMAHA
型番：CRW-F1SX
メーカー：PLEXTOR
型番：PX-W1210TSE、PX-W4012TSE



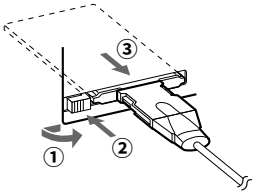
市販のSCSIカードの取り付けかた

（装着）



ノブをスライドさせて、カードをロックさせることができます。

（取出し）



ロック解除後ノブを起こす。

注意：
- **PCカードソケットは、16bit 5V専用です。32bit card Busタイプを使用すると本体PCカードソケットが破損する恐れがありますので挿入しないでください。**
- **SCSIカードの挿入方向を確認してから挿入してください。**
- **SCSIカード用の接続線には、フェライトコアの取り付けは不要です。**
- **推奨以外のSCSIカードおよびDDS（DAT）、CD-Rドライブでの動作は保証いたしません。**
- **対応できるCD-RドライブはYAMAHA SCSI CD-R/RWでメディアはCD-Rのみです。CD-RWには対応できません。**

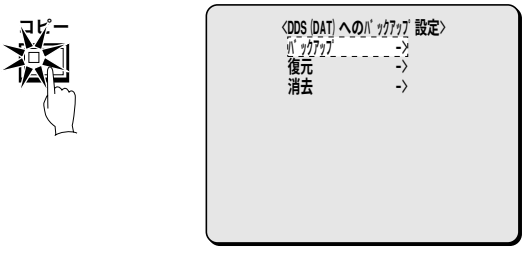
※DDS（Digital data storage）／DAT（Digital audio tape）

バックアップをする

バックアップ領域の全てのデータをDDS（DAT）ドライブへバックアップします。

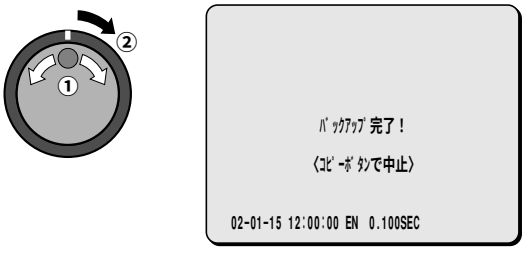
1 「録画中または停止中」にコピーボタンを押す

〈DDS（DAT）へのバックアップ設定〉画面が表示します。



2 ジョグダイヤルで「バックアップ」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

「DDS（DAT）にデータをバックアップ中！」を表示してコピーが開始されます。
- コピーを途中で中止するときは再度コピーボタンを押してください。
- コピー終了すると、「バックアップ完了！」と表示されますので、いずれかのボタンを押してください。通常の画面に戻ります。



注意：
- **DDS（DAT）ドライブのデータ変換により、変換後のデータサイズが大きくなることがあります。12GBテープに画像をコピーする場合は、10GB程度しかコピーできなくなることがあります。**
- **DDS（DAT）ドライブに10GBの画像をコピーする場合は、約4時間必要です。**

DDS（DAT）ドライブの画像データをバックアップ領域に読み込む

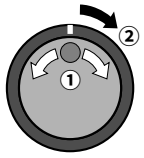
注意：読み込みをするとバックアップ領域の映像は全て消去されますので注意してください。

1 「録画中または停止中」にコピーボタンを押す

〈DDS（DAT）へのバックアップ設定〉画面が表示します。

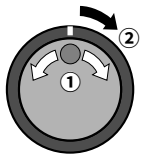
2 ジョグダイヤルで「復元」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

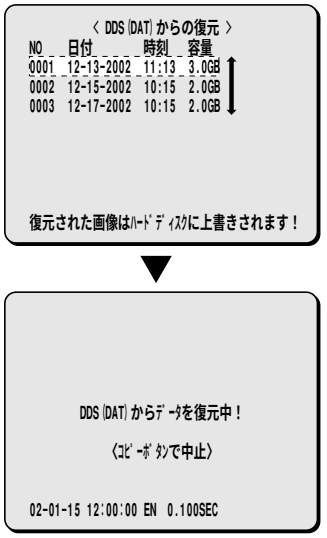
「リストを再生中です！」表示になり、終了すると〈DDS（DAT）からの復元〉画面になります。



3 ジョグダイヤルでバックアップ領域に読み込むデータを選択し、シャトルダイヤルを右に回す

画像データの読み込みが開始され、「DDS（DAT）からデータを復元中！」の画面になります。
DDS（DAT）の映像データがバックアップ領域に読み込まれます。
全てのデータがバックアップ領域に読み込まれると、「復元完了！」が表示されます。
バックアップ領域を再生状態にすると、読み込まれた映像データを再生することができます。

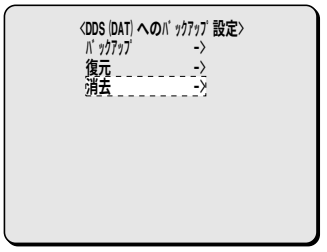




DDS（DAT）ドライブの画像データを削除する

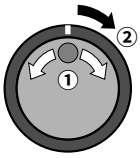
1 「録画中または停止中」にコピーボタンを押す

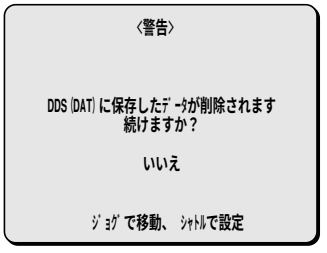
〈DDS（DAT）へのバックアップ設定〉画面が表示します。



2 ジョグダイヤルで「消去」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

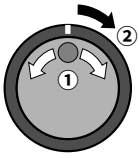
〈警告〉画面が表示します。

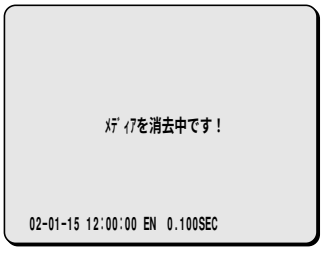




3 ジョグダイヤルで「いいえ」を「はい」に選択して、シャトルダイヤルを右に回す

「メディアを消去中です！」画面が表示され、テープのデータ消去が終わると、「消去完了！」が表示されます。



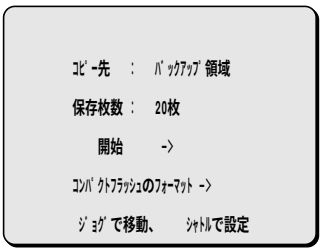


操作

CD-Rドライブに映像をコピーする

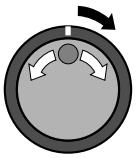
1 コピーしたい「バックアップ領域の静止画像」で、コピーボタンを押す

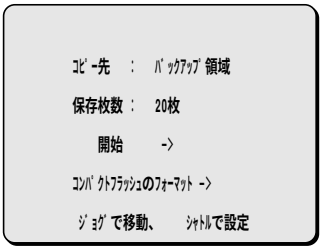
コピー画面が表示します。
バックアップ領域の再生のしかたは（☞ P31）をご覧ください。



2 ジョグダイヤルで「コピー先」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

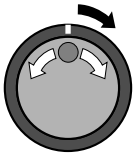
「バックアップ領域」表示が点滅します。





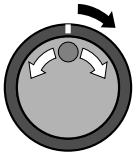
3 ジョグダイヤルで「CD-R」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

カーソルが「保存枚数」に移動します。



4 シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで“ 10 ”に設定して、シャトルダイヤルを右に回す

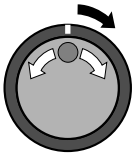
カーソルが“ 枚 ”に移動します。



5 ジョグダイヤルで“ 秒 ”を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

カーソルが「開始」に移動します。

- **枚：**指定した映像から指定枚数をコピーする
- **秒：**指定した映像から指定秒間をコピーする
- **分：**指定した映像から指定分間をコピーする
- **イベント：**指定した映像から1イベントずつコピーする

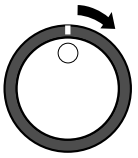


注意：

- **1回コピーするたびに、1イベントずつ別のグループとしてバックアップ領域にコピーされます。バックアップ領域の容量は、10GBまでの範囲で自由に設定できます。**
- **CD-Rドライブへのコピーは、バックアップ領域の映像のみコピーできます。通常記録領域、アラーム記録領域から直接CD-Rドライブへのコピーはできません。**
- **記録されているイベント時間によっては、指定の設定イベント数がコピーできない場合があります。（最大、約495MBまで）**
- **イベントのみは“ ＞60 ”の表示があり、選択するとCD-Rドライブが一杯になるまで記録を続けます。**

6 シャトルダイヤルを右に回す

コピーランプが点灯し、「CD-Rにコピー中」画面になり、CD-Rにコピーが開始します。
コピーが終了すると、“ コピー終了 ”と表示します。



注意：

- **書き込み速度は、1倍速で約70分以上必要となります。**
- **書き込みは、一般的なファイル形式ではなく、専用のPCアプリケーションソフトが必要です。お買い上げの販売店にお問い合わせください。**
- **コピーしたCD-Rドライブから本体に読み戻すことはできません。また、一度CD-Rドライブにコピーするとディスクがクローズし、再書き込みはできなくなります。**
- **コピー中は、コピー操作を中止できません。**
- **コピー中に容量がオーバーすると“ CD-R 残量なし！ ”の残量エラー表示とともにコピーされた最後の映像の情報が表示されます。**

メニューの流れとメニューの操作

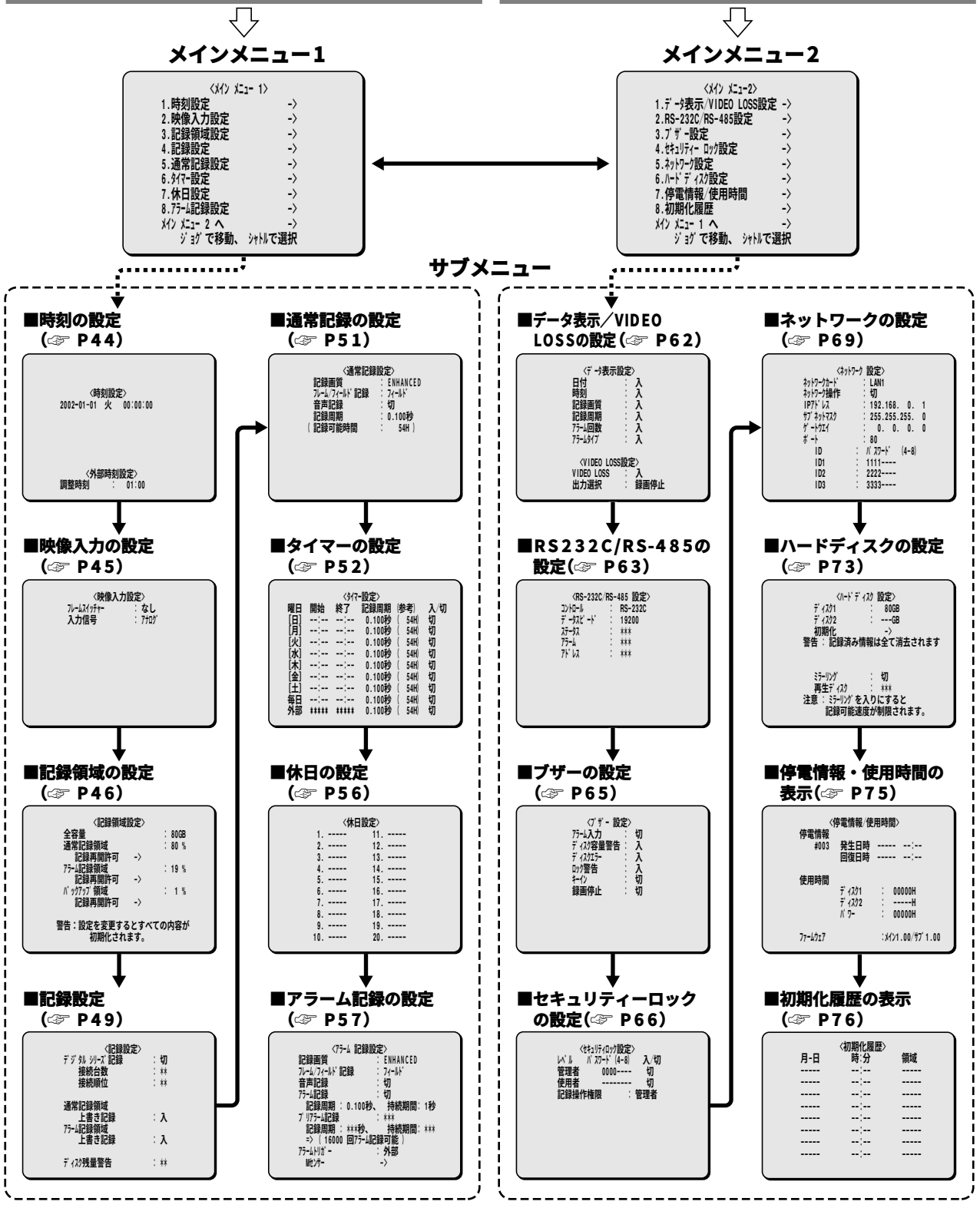
■メニューの流れ

録画に関する設定をする

メインメニュー1では、録画に関する設定をおこないます。

設置環境に関する設定をする

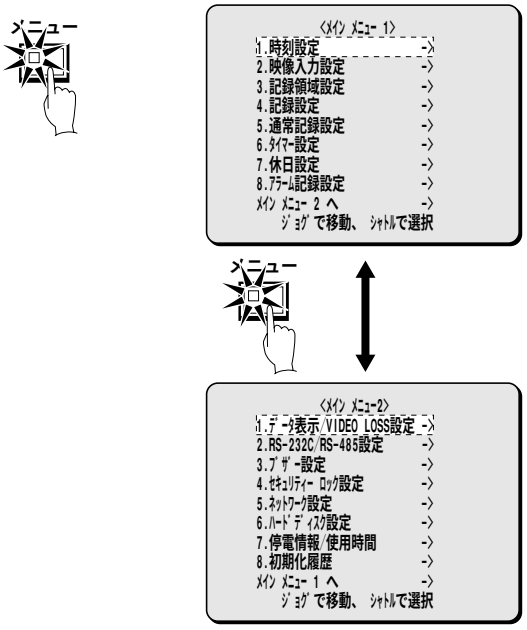
メインメニュー2では、設置環境に関する設定をおこないます。



■メニュー画面の基本操作

1 メニューボタンを押す

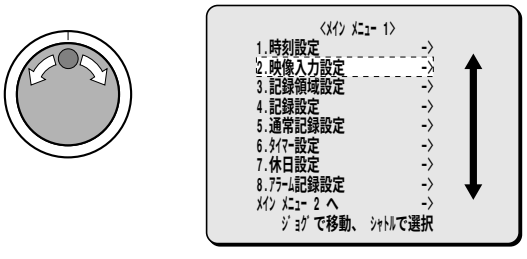
〈メインメニュー1〉が表示します。再度メニューボタンを押すと〈メインメニュー2〉の画面が表示します。



注意：繰り返しメニューボタンを押すと〈メインメニュー1〉または〈メインメニュー2〉のメニュー画面に切り換わります。また各メインメニューの「メインメニュー2へ」または「メインメニュー1へ」を選択してもメニュー画面は切り換わります。

2 ジョグダイヤルを左右に回してカーソルをメニュー（例：映像入力設定）に移動させる

選択項目が反転します。



3 シャトルダイヤルを右に回す

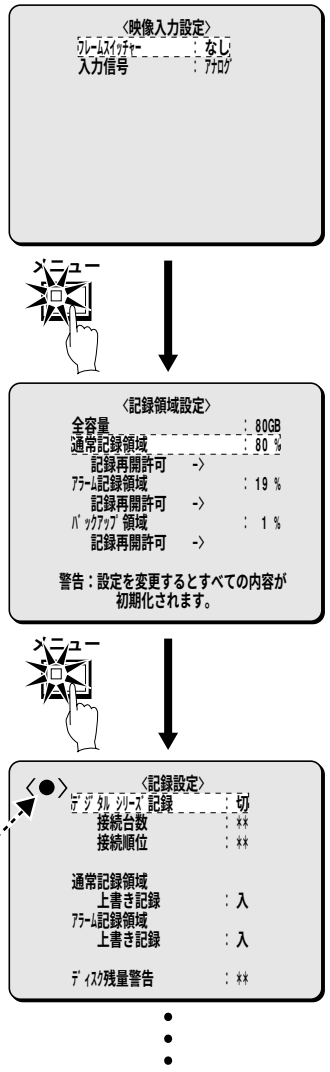
サブメニューが表示します。

4 終了/画面表示ボタンを押す

通常の画面に戻ります。

■サブメニュー画面表示中の操作

サブメニュー画面でメニューボタンを押すと、各サブメニュー画面を確認できます。

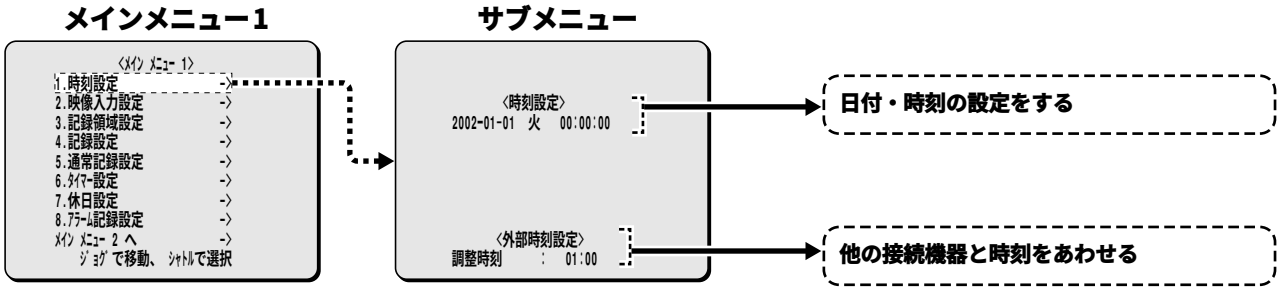


注意：各記録領域に映像を録画中でもメニュー画面の表示はできます。この時、画面上には録画シンボル〈●〉が表示します。この場合、メニュー設定の内容を確認できるだけで設定内容を変更することはできません。

時刻設定

通常の画面に表示される日付や時刻の設定をおこないます。さらに複数の機器を接続したときにすべての機器の時刻を同じにすることができます。

注意：時刻の設定をおこなわないと録画はできません。



■時刻の設定

（初期設定：2002-01-01 火 00：00：00）

必ず正確な日付・時刻の設定をおこなってください。本機は録画した時刻を記憶して再生やサーチ再生などをおこないます。

例 **2002年5月22日の8時30分に設定する**

1 カーソルが日付・時刻に移動している状態で、シャトルダイヤルを右に回す

“ 2002 ”が点滅します。

2 ジョグダイヤルを回して、「2002：年」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

カーソルが月の“ 01 ”で点滅します。

3 同じ手順で月（5）、日（22）、時（08）、分（30）を設定する

分の設定が終了すると、カーソルが〈外部時刻設定〉の「調整時刻」へ移動し、00秒からスタートします。

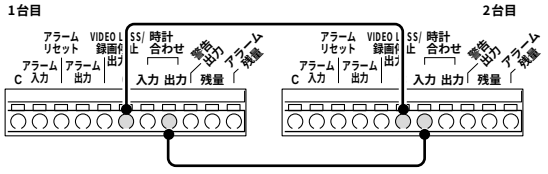
注意：時計の設定中は時刻が停止します。

■外部時刻の設定

（初期設定：01：00）

本機を2台以上接続したとき、本機と同じ時刻設定（調整時刻）をおこないます。

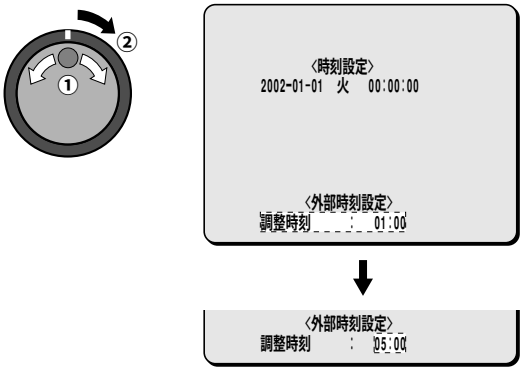
1 1台目の後面パネルの時計合わせ出力端子（時計合わせ出力）と入力端子（時計合わせ入力）間を接続する



2 ジョグダイヤルを回してカーソルを「調整時刻」に移動させ、シャトルダイヤルを右に回す

“ 01 ”が点滅します。

3 ジョグダイヤルを回して時刻（例：05時）を設定し、シャトルダイヤルを右に回す



4 終了/画面表示ボタンを押す

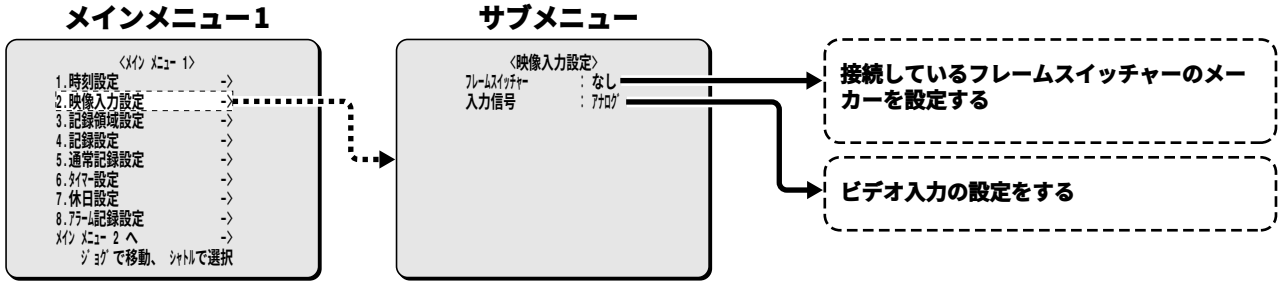
通常の画面へ戻ります。

5 同じ手順で2台目の調整時刻をおこなう

設定が終了したら通常の画面に戻ります。

映像入力設定

本機に接続するフレームスイッチャー（別売）の選択と映像入力（デジタル・アナログ）の設定をおこないます。

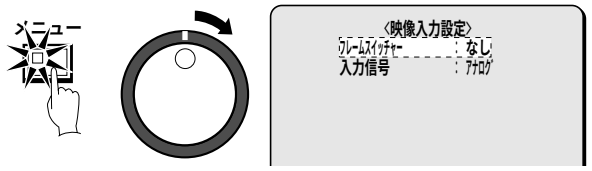


■フレームスイッチャーの選択

（初期設定：なし）

1 メニューボタンを押して「映像入力設定」でシャトルダイヤルを右に回す

〈映像入力設定〉のサブメニューになり、カーソルが「フレームスイッチャー」に移動しています。



2 シャトルダイヤルを右に回す

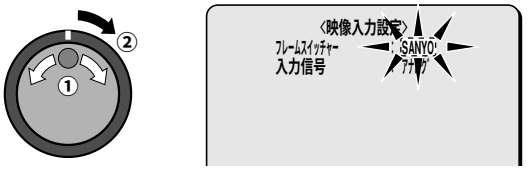
“ なし ”が点滅します。

3 ジョグダイヤルで接続しているフレームスイッチャー（例：SANYO）を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

カーソルが「入力信号」へ移動します。

表示例

- **なし**：フレームスイッチャーを使用しないとき。
- **SANYO**：三洋製のフレームスイッチャーを使用。
- **SANYO（DVR）**：三洋製のフレームスイッチャー機能付きハードディスクデジタルレコーダーを使用。（VDH-F900/VDH-F1600）
- **T1**：三洋製以外のフレームスイッチャーを使用。
- **T2**：三洋製、T1以外のフレームスイッチャーを使用。
- **T3**：三洋製、T1、T2以外のフレームスイッチャーを使用。



注意：

- **“ SANYO ”および“ T1 ”、“ T2 ”はチャンネル情報（カメラ番号）をデコード可能なフレームスイッチャーです。従って、本機でフレームスイッチャーの映像を録画して、本機のチャンネルボタンでカメラ番号（チャンネル情報）を選択して再生することができます。**
- **“ T1 ”および“ T2 ”を選択した場合は、「通常記録設定」および「アラーム記録設定」でフィールド記録しか選択できません。また“ T1 ”の場合には、最速記録周期は0.067秒に制限されます。（0.017、0.033、0.050秒周期は選択できません）“ T2 ”の場合には、最速記録周期は0.033秒に制限されます。（0.017秒周期は選択できません）**

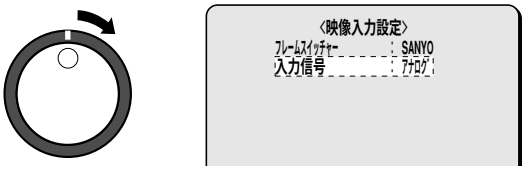
■入力信号の設定

（初期設定：アナログ）

本機の映像入力端子に入力される映像信号を“ デジタル入力 ”か“ アナログ入力 ”にするかを設定します。

1 カーソルが「入力信号」に移動している状態で、シャトルダイヤルを右に回す

“ アナログ ”が点滅します。

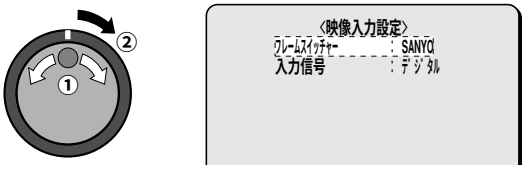


2 ジョグダイヤルを回して「例：デジタル」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

カーソルが「フレームスイッチャー」に移動します。

注意：

- **三洋のデジタル通信対応フレームスイッチャー（VCS-FD162またはFD92）とデジタル接続する場合に選択してください。**
- **フレームスイッチャーとデジタル接続する場合には、初めに本機の「映像出力端子」をモニタにつないで入力信号を“ デジタル ”に変更してください。**



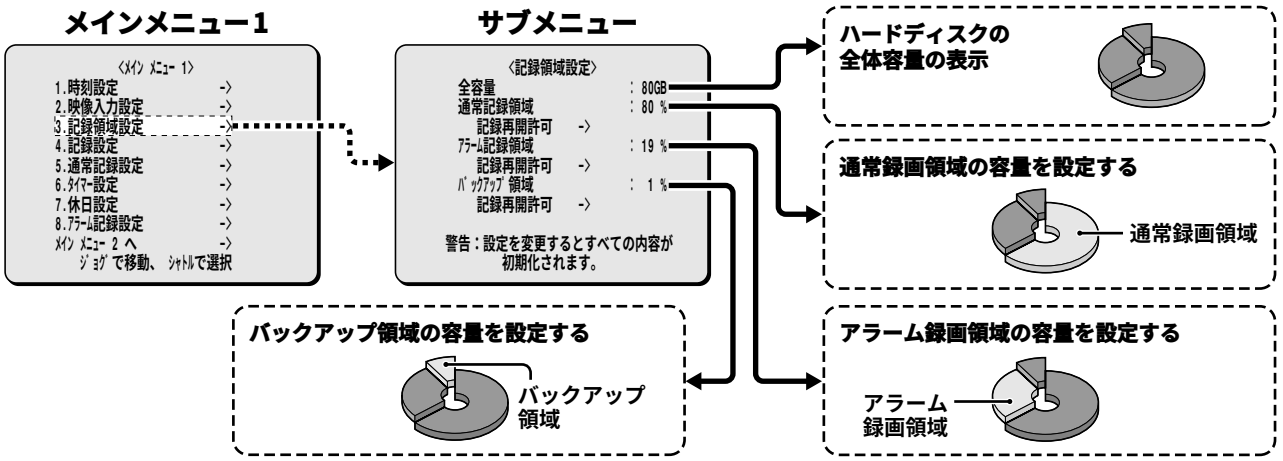
3 終了/画面表示ボタンを押す

通常の画面へ戻ります。

注意：

- **「フレームスイッチャー」を“ なし ”以外に設定すると、〈アラーム記録設定〉メニューの「アラームトリガー」では“ Mセンサー ”は選べません。フレームスイッチャー使用時は、フレームスイッチャーのモーションセンサー機能を使用してください。**
- **三洋およびそれ以外のフレームスイッチャーとアナログ接続して使用する場合は、本機後面のSW出力端子をフレームスイッチャーのSW入力に接続して使用してください。三洋のフレームスイッチャーとデジタル接続する場合には必要ありません。**

記録領域設定



■全容量の表示

ハードディスクの全記録容量を表示します。この表示はハードディスクの容量を変更する以外は変更できません。
ハードディスクの初期設定は通常記録領域が80%、アラーム記録領域が19%、バックアップ領域が1%に設定されます。バックアップ領域の上限は10GB（80GBハードディスク使用時：12%、160GBハードディスク使用時：6%）ですので、これ以上の値の設定はできません。
各記録領域の割り当ては、百分率で表示され通常記録領域とアラーム記録領域で最大99%まで設定できます。
バックアップ領域は手動での設定はできません。強制的に最低でも1%が割り当てられます。よって、通常記録領域とアラーム記録領域の合計を88%に設定した場合は、バックアップ領域は自動的に12%に設定されます。
例えば、通常記録領域を0%に設定し、アラーム記録領域を99%にすると通常記録領域の映像は録画されません。アラーム記録領域のみに映像が記録されます。各記録領域の記録容量を設置場所に合わせてうまく割り当ててください。
なお、ハードディスクを増設した場合は、増設した容量の合計が全容量に表示されます。

注意：

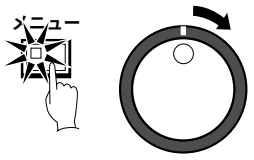
- **ハードディスクの各記録領域の割り当てを記録途中で変更することは、現在まで記録した内容を消去することになります。これはハードディスクを初期化することになりますので、各記録領域を設定するときは慎重におこなってください。やむをえず記録領域を変更する場合は記録映像をコンピュータなどの記録媒体に保存してください。**
- **〈ハードディスク設定〉の「ミラーリング」を“ 入 ”にした場合、〈記録領域設定〉の「全容量」表示はハードディスク容量の小さい方が表示されます。**

■各記録領域を設定し直す

例 **通常記録領域を50%、アラーム記録領域を49%にする**

1 **メニューボタンを押して「記録領域設定」でシャトルダイヤルを右に回す**

〈記録領域設定〉のサブメニューになり、カーソルが「通常記録領域」に移動しています。



2 **ジョグダイヤルで「通常記録領域」にカーソルを移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

“ 80% ”が点滅します。

3 **ジョグダイヤルで80%を例えば50%に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

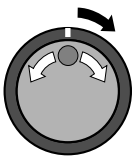
カーソルが「アラーム記録領域」に移動します。

4 **シャトルダイヤルを右に回す**

“ 35% ”が点滅します。

5 **ジョグダイヤルで35%を例えば49%に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

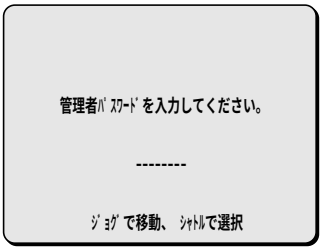
カーソルが「記録再開許可」に移動します。



〈記録領域設定〉
全容量 : 80GB
通常記録領域 : 49 %
記録再開許可 ->
ｱﾗｰﾑ記録領域 : 49 %
記録再開許可 ->
ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ 領域 : 2 %
記録再開許可 ->
警告：設定を変更するとすべての内容が
初期化されます。

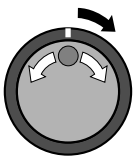
5 **シャトルダイヤルを左に回す**

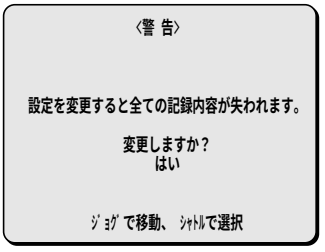
セキュリティロックの管理者パスワードが設定されている場合は、パスワード入力画面が表示します。設定している管理者パスワードを入力してください。(☞ P66) パスワード入力後、〈警告〉画面が表示されます。パスワードの初期値は“ 0000 ”です。



6 **記録領域を変更する場合はジョグダイヤルを回して「はい」表示にして、シャトルダイヤルを右に回す**

〈記録領域設定〉の画面になり変更した記録容量になりま



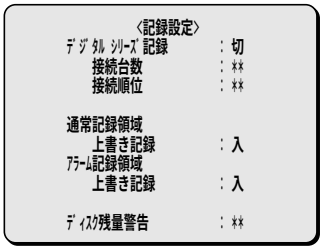


注意：「いいえ」のままシャトルダイヤルを右に回すと〈記録領域設定〉の画面になり変更前の記録容量に戻ります。記録容量の変更はされていません。

■記録再開許可の設定

ハードディスクの通常記録領域とアラーム記録領域は記録容量が満杯になると自動的に上書き（古い記録が消える）されるように設定されています。
しかし、録画の確認や編集などのため記録容量が満杯になったときの上書きを中止させることができます。その場合、各記録領域に一度だけ上書き指示をおこなう必要があります。ここではその方法を説明します。

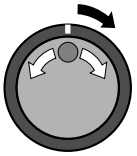
1 **メニューの〈記録設定〉で上書きする「通常記録領域」または「アラーム記録領域」の「上書き記録」の項を“ 切 ”に選択する**

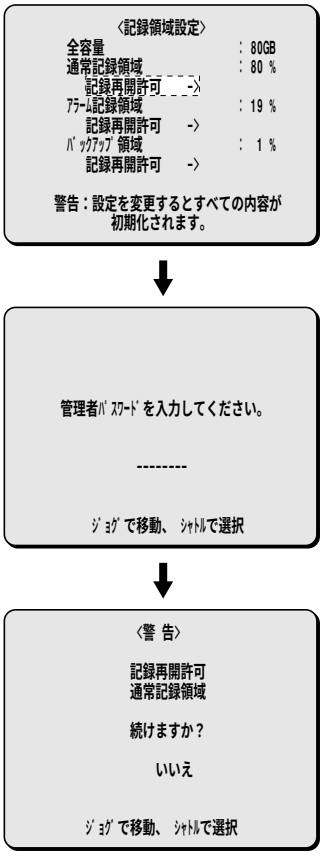


この設定をおこなうことで、ハードディスクの残容量が画面上の操作表示部に表示されると同時に前面パネルの残量警告またはアラーム残量警告ランプが点滅するようになります。ハードディスクの書き込みが終了したら再生操作で録画の確認などをおこなってください。

2 **ジョグダイヤルで「通常記録領域」の「記録再開許可」にカーソルを移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

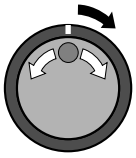
〈警告〉の「いいえ」が点滅します。





3 **ジョグダイヤルで「いいえ」を「はい」に設定して、シャトルダイヤルを右に回す**

「通常記録領域」が1回上書き状態になります。



4 **同じ手順で「アラーム記録領域」の設定をおこなってください。**

5 **終了/画面表示ボタンを押す**

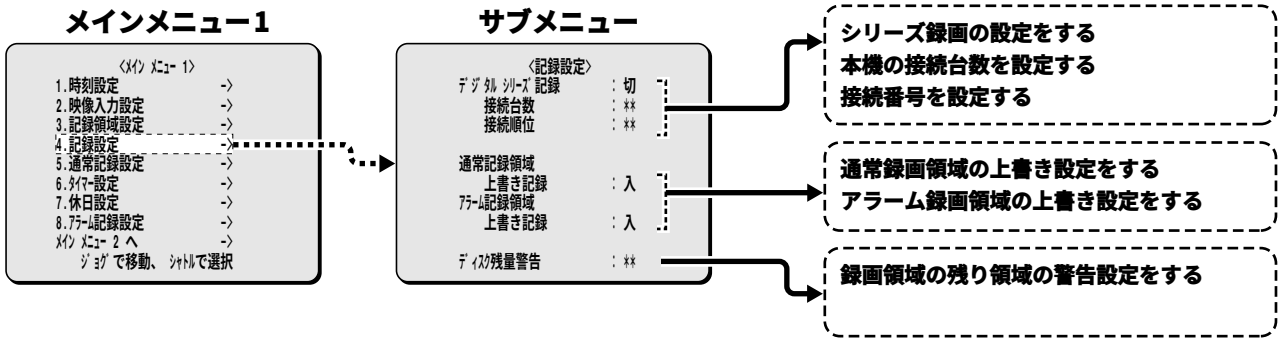
通常の画面へ戻ります。

注意：

- **自動的に上書きをおこなうときは「通常記録領域」または「アラーム記録領域」の「上書き記録」の項目を“ はい ”に設定してください。**
- **通常記録、アラーム記録で「記録再開許可」をおこなうと各領域の画像は上書きされます。**
- **バックアップ領域で「記録再開許可」をおこなうと、バックアップ領域の画像は消去されます。**

記録設定

本機を複数台（最大3台）接続してシリーズ録画をおこなうときの接続に関する設定や各記録領域の上書き許可などの設定をします。



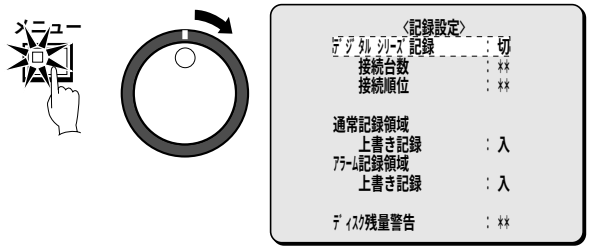
■デジタルシリーズ（最大3台）録画の設定

1 **本機のデジタル映像入出力端子に接続する機器を接続してください。（☞ P10）**

注意：機器間の接続には、ストレートタイプのLAN用ETHERNETケーブルをご使用ください。ケーブル長は3m以下のものをお使いください。

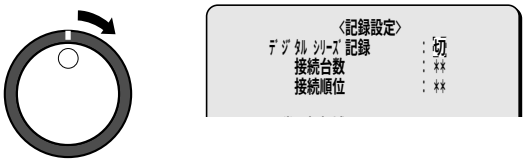
2 **メニューボタンを押して「記録設定」でシャトルダイヤルを右に回す**

〈記録設定〉のサブメニューになり、カーソルが「デジタルシリーズ記録」に移動しています。



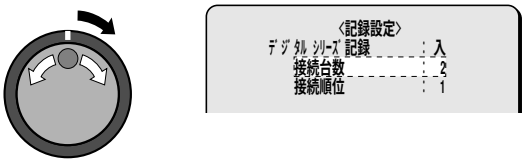
3 **シャトルダイヤルを右に回す**

“ 切 ”が点滅します。



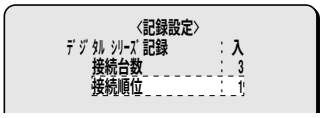
4 **ジョグダイヤルで“ 入 ”を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「接続台数」へ移動します。



5 **シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで本機の合計接続台数（例：3）を設定して、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「接続順位」へ移動します。



6 **シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで本機の接続番号（例：1）を設定して、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「上書き記録」へ移動します。

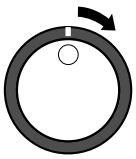
注意：
- メイン機として使用するハードディスクデジタルレコーダーには必ず接続番号を［1］に設定してください。
- 機器間で番号がとんだり、重なったりしないように設定してください。
- 〈ネットワーク設定〉で「ネットワーク操作」が“ 入 ”の場合は、「デジタルシリーズ記録」は選択できません。
  逆に「デジタルシリーズ記録」が“ 入 ”の場合は「ネットワーク操作」を“ 入 ”にはできません。
- 2台目以降のハードディスクデジタルレコーダーの入力は「映像入力設定」（☞ P45）で必ずデジタルに設定してください。
  アナログに設定されている場合は接続順位を「1」にしか設定できません。

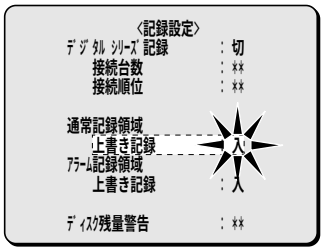
■通常記録領域の上書き設定と操作表示部への残容量の設定

ハードディスクの各記録領域が満杯になったときに、上書きして（古い映像を消去）録画するか、停止するかの設定をおこないます。停止する場合は操作表示部上にハードディスクの現在の残容量がパーセントで表示されます。残量の設定は「ディスク残量警告」でおこないます。

1 カーソルが「上書き記録」にある状態でシャトルダイヤルを右に回す

“ 入 ”が点滅します。



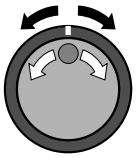


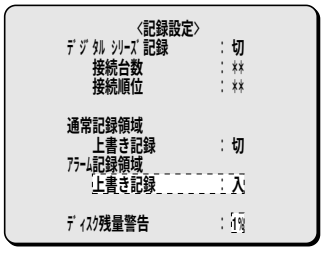
2 ジョグダイヤルで設定（例：切）を選択して、シャトルダイヤルを右に回す

「ディスク残量警告」の＊＊が1%に変わります。

表示例

- **切**：通常記録領域が満杯になると録画が停止する。
- **入**：通常記録領域が満杯になると自動的に最初から映像を上書きする。





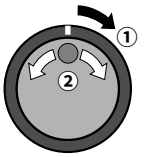
注意：設定を“ 切 ”にすると「ディスク残量警告」にハードディスクの残容量が何パーセントになったら本機前面パネルの残量警告およびアラーム残量警告ランプを点滅させるかを表示します。

3 同じ手順で「アラーム記録領域」の設定（切）もおこなってください。

注意：デジタル接続した場合でもメニューの各種設定は、1台ずつおこなってください。2台目以降の「上書き記録」の設定は、自動的に1台目に同期して設定されます。

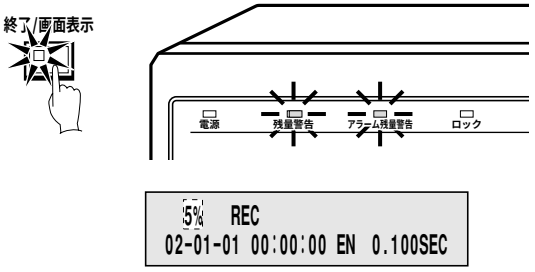
4 カーソルが「ディスク残量警告」にある状態で、シャトルダイヤルを右に回して、ジョグダイヤルで残量表示数値（例：5）を設定する

注意：残量表示は1%（初期値）から10%まで設定が可能です。

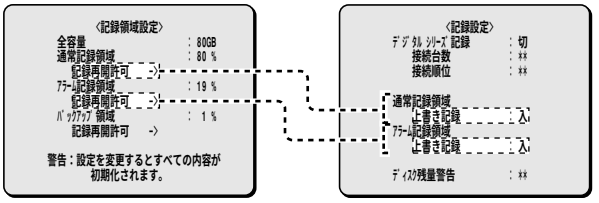


5 終了/画面表示ボタンを押す

通常の画面へ戻ります。操作表示部には各領域の残容量が5%になると警告表示します。本機前面パネルの残量警告（通常記録領域）またはアラーム残量警告（アラーム記録領域）ランプが点滅します。



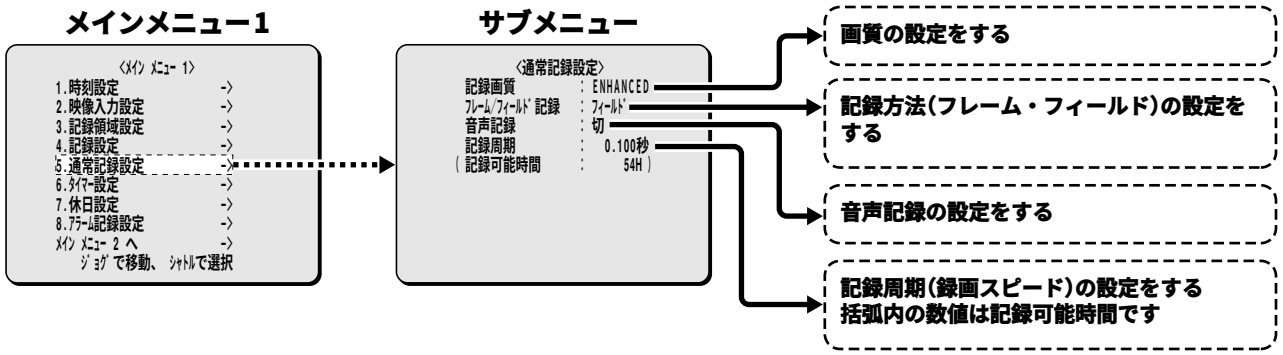
〈記録領域設定〉と「上書き記録」について



通常記録領域およびアラーム記録領域がいっぱいになった場合は〈記録領域設定〉の通常記録領域およびアラーム記録領域の「記録再開許可」を選んで実行してください。（☞ P47）

注意：デジタル入力端子からは音声入力はされません。音声入力は音声入力端子（マイクなど）からアナログ音声の入力になります。詳しくは「接続のしかた」を参照ください。（☞ P10）

通常記録設定



■通常記録の設定

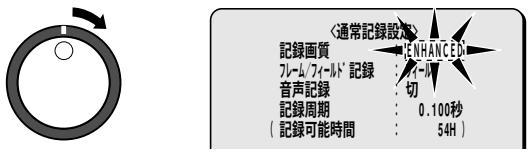
通常記録領域の録画の画質、記録方法（フレーム・フィールド）、音声記録、記録スピードの設定をおこないます。

1 メニューボタンを押して「通常記録設定」でシャトルダイヤルを右に回す

〈通常記録設定〉のサブメニューになり、カーソルが「記録画質」に移動しています。

2 シャトルダイヤルを右に回す

“ ENHANCED（準高画質）”が点滅します。



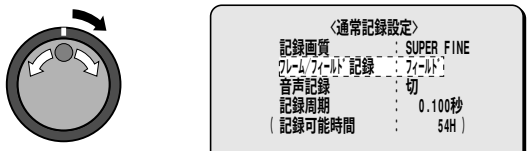
表示例：画質の選択

- **BASIC**（BA）／ラフ画質　15kB
- **NORMAL**（NO）／標準画質　22kB
- **ENHANCED**（EN）／準高画質　30kB
- **FINE**（FI）／高画質　42kB
- **SUPER FINE**（SF）／最高画質　56kB

注意：ファイルサイズは目安であり、録画する画像により変動することがあります。

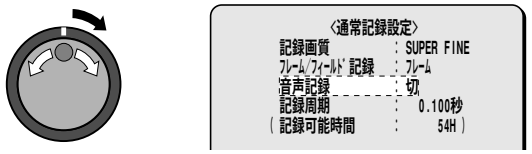
3 ジョグダイヤルで画質［例：SUPER FINE（最高画質）］を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

カーソルが「フレーム／フィールド記録」へ移動します。



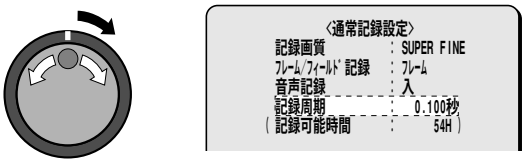
4 シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで記録方法（例：フレーム）を設定して、シャトルダイヤルを右に回す

カーソルが「音声記録」へ移動します。



5 シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで音声記録（例：入）を設定して、シャトルダイヤルを右に回す

カーソルが「記録周期」へ移動します。



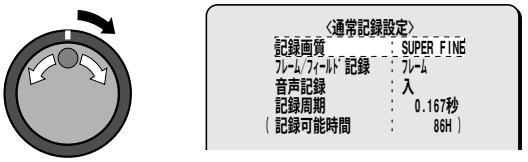
注意：

- **音声記録は「記録周期」がフィールドの場合は0.017から1.000、フレームの場合は0.033から2.000の範囲のときに設定できます。**
- **“ 入 ”設定にすると、「記録周期」の録画スピードの前に“ A（音声記録表示）”が表示します。通常記録領域に音声も記録されるので通常記録領域の記録容量は少なくなります。**
- **音声と映像には若干のタイミングのずれが発生します。**
- **音声は時と同じ速度で再生した時のみ再生されます。**

6 シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで録画スピード（例：0.167）を設定して、シャトルダイヤルを右に回す

カーソルが「記録画質」へ移動します。

注意：フィールドまたはフレームの録画スピードは「記録画質」の画質の選択により異なります。詳しくは「録画スピード一覧表」を参照ください。（☞ P14）

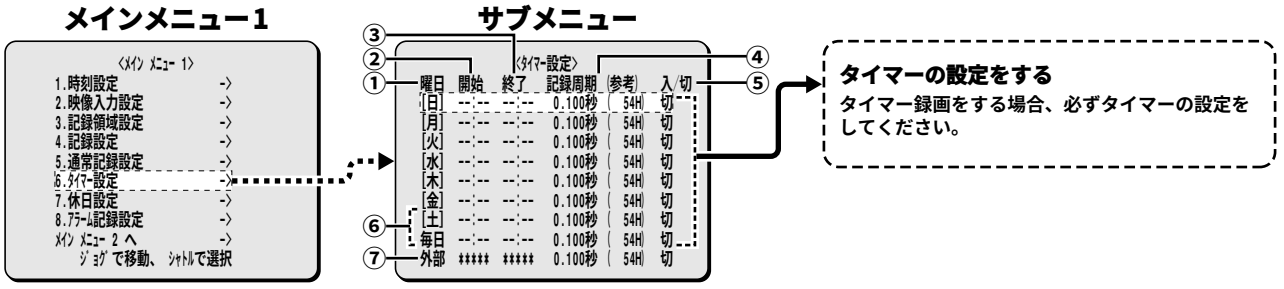


7 終了/画面表示ボタンを押す

通常の画面へ戻ります。

タイマー設定

本機のタイマー機能を使ってタイマー録画をおこなうときに設定してください。



■タイマーの設定

曜日毎に、録画の開始・終了時間の設定や録画スピードの設定をおこないます。

①曜日

タイマー設定をおこなう曜日を選択します。曜日が点滅中は他の曜日の選択ができます。また、7行目（土曜）と8行目（毎日）は24時間以上のタイマー録画の設定に使用します。

②開始

タイマー録画の開始時間を入力します。

③終了

タイマー録画の終了時間を入力します。

④記録周期

- 録画スピードを設定します。
  初期設定は、フィールド（0.100秒）録画に設定されています。フレーム録画に切り換えると0.200秒になります。
- 括弧中の数字は記録方法や画質、音声記録の可能時間を自動的に計算して表示します。最大表示は9999Hです。
  10000H以上の場合は、9999※と表示します。

⑤入／切

タイマー録画をする場合は、" 入 "にしてください。
タイマー録画をしない場合は、" 切 "にしてください。

⑥24時間以上のタイマー録画設定項目

24時間以上のタイマー録画をおこなうときはこの項目を使用します。

⑦外部タイマーの設定

外部タイマーとの接続により外部タイマーの信号に応じて録画の開始、終了をおこなうことができます。

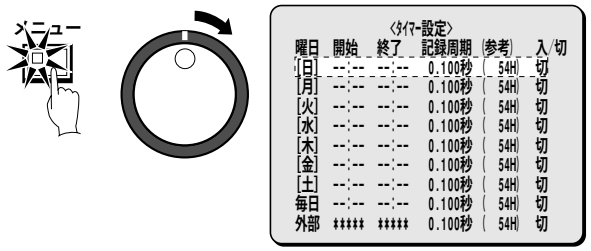
注意：タイマー録画での画質、フレーム/フィールド記録、音声記録の設定は、通常記録領域で設定した設定値になります。

■毎日、同時間、同画質のタイマー予約

例 **毎日、午前8時30分から午後6時30分まで同じ録画スピードでタイマー録画をする**

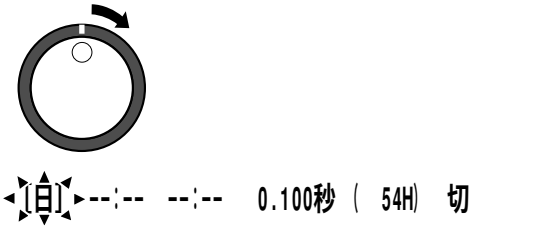
1 メニューボタンを押して「タイマー設定」でシャトルダイヤルを右に回す

〈タイマー設定〉のサブメニューになり、カーソルが" 日 "に移動しています。


メニュー
〈ﾀｲﾏｰ設定〉
曜日 開始 終了 記録周期 (参考) 入/切
[日] --:-- --:-- 0.100秒 (54H) 切
[月] --:-- --:-- 0.100秒 (54H) 切
[火] --:-- --:-- 0.100秒 (54H) 切
[水] --:-- --:-- 0.100秒 (54H) 切
[木] --:-- --:-- 0.100秒 (54H) 切
[金] --:-- --:-- 0.100秒 (54H) 切
[土] --:-- --:-- 0.100秒 (54H) 切
毎日 --:-- --:-- 0.100秒 (54H) 切
外部 ***** ***** 0.100秒 (54H) 切

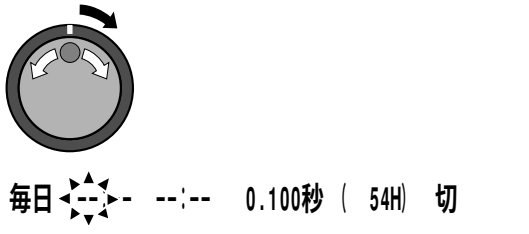
2 シャトルダイヤルを右に回す

「曜日」の" 日 "が点滅します。



3 ジョグダイヤルで" 日 "を" 毎日 "に設定し、シャトルダイヤルを右に回す

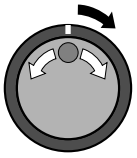
「開始」の一一（時間）が点滅します。



設定

4 **ジョグダイヤルでーーを“ 08 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

「開始」のーー（分）が点滅します。



毎日 08:-- --:-- 0.100秒 (54H) 切

5 **ジョグダイヤルでーーを“ 30 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

「終了」のーー（時間）が点滅します。

毎日 08:30 --:-- 0.100秒 (54H) 切

6 **ジョグダイヤルでーーを“ 18 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

「終了」のーー（分）が点滅します。

毎日 08:30 18:-- 0.100秒 (54H) 切

7 **ジョグダイヤルでーーを“ 30 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

「記録周期」の0.100（録画スピード）が点滅します。

毎日 08:30 18:30 0.100秒 (54H) 切

8 **ジョグダイヤルで録画スピードを0.167（86H）に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

「入／切」の“ 切 ”が点滅します。

毎日 08:30 18:30 0.167秒 (86H) 切

注意：タイマー記録の画質はサブメニューの〈通常記録設定〉の「記録画質」で設定した画質［例：ENHANCED（準高画質）］で記録されます。また、録画スピードも〈通常記録設定〉で設定された録画スピードで記録されます。

9 **ジョグダイヤルで“ 切 ”設定を“ 入 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが“ 月 ”に移動します。

〈ﾀｲﾏｰ設定〉

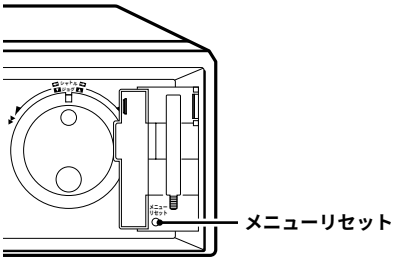
曜日	開始	終了	記録周期	(参考)	入/切
毎日	08:30	18:30	0.167秒	(86H)	入
[月]	--:--	--:--	0.100秒	(54H)	切
[火]	--:--	--:--	0.100秒	(54H)	切
[水]	--:--	--:--	0.100秒	(54H)	切
[木]	--:--	--:--	0.100秒	(54H)	切
[金]	--:--	--:--	0.100秒	(54H)	切
[土]	--:--	--:--	0.100秒	(54H)	切
毎日	--:--	--:--	0.100秒	(54H)	切
外部	*****	*****	0.100秒	(54H)	切

10 **終了/画面表示ボタンを押す**

通常の画面へ戻ります。

注意：

- **曜日によって録画時間や録画スピードを変えてタイマー録画をする場合は、各曜日の項目で録画時間などを設定してください。**
- **タイマー予約が重なった場合は、設定した時間の早い方を優先して録画します。**
- **タイマー予約の全取り消し（時間などの削除）は本機前面パネルのメニューリセットボタンを押してください。**



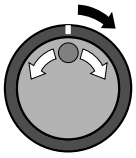
■24時間以上のタイマー予約

24時間タイマーの予約は、〈タイマー設定〉画面の7［土］と8（毎日）行目でおこないます。

例 月曜日の午前10時30分から水曜日の午後8時30分までのタイマー録画

1 **ジョグダイヤルで7行目（土）にカーソルを移動させ、シャトルダイヤルを回す**

「曜日」の“ 土 ”が点滅します。



〈タイマー設定〉

曜日	開始	終了	記録周期	(参考)	入/切
[日]	--:--	--:--	0.100秒	(54H)	切
[月]	--:--	--:--	0.100秒	(54H)	切
[火]	--:--	--:--	0.100秒	(54H)	切
[水]	--:--	--:--	0.100秒	(54H)	切
[木]	--:--	--:--	0.100秒	(54H)	切
[金]	--:--	--:--	0.100秒	(54H)	切
[土]	--:--	--:--	0.100秒	(54H)	切
毎日	--:--	--:--	0.100秒	(54H)	切
外部	#####	#####	0.100秒	(54H)	切

2 **ジョグダイヤルで“ 土 ”を“ 月 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

「開始」のーー（時）が点滅します。

[月] --:-- 0.100秒 (54H) 切

3 **ジョグダイヤルでーーを“ 10 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

「開始」のーー（分）が点滅します。

4 **ジョグダイヤルでーーを“ 30 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

「終了」のーー（時間）が点滅します。

[月] 10:30 --:-- 0.100秒 (54H) 切

5 **ジョグダイヤルでーーを“ ＊＊ ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

8行目の“ 毎日 ”が自動的に7行目に設定した次の曜日（火）に切り換わり点滅します。そして、設定不要箇所に＊印が表示されます。

[月] 10:30 **:** ＊＊＊＊＊秒 (＊＊＊＊＊) ＊＊＊
[火] **:** --:-- -----秒 (----H) 切

6 **ジョグダイヤルで“ 火 ”を“ 水 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

「終了」のーー（時間）が点滅します。

[水] **:** -- 0.100秒 (54H) 切

7 **ジョグダイヤルでーーを“ 20 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

「終了」のーー（分）が点滅します。

8 **ジョグダイヤルでーーを“ 30 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

「記録周期」の0.100（録画スピード）が点滅します。

[水] **:** 20:30 0.100秒 (54H) 切

9 **ジョグダイヤルでーーー（録画スピード）を0.200（108H）に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

「入／切」の“ 切 ”が点滅します。

[水] **:** 20:30 0.200秒 (108H) 切

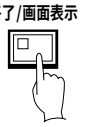
10 **ジョグダイヤルで“ 切 ”設定を“ 入 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが1行目に移動します。

[月] 10:30 **:** ＊＊＊＊＊秒 (＊＊＊＊＊) ＊＊＊
[水] **:** 20:30 0.200秒 (108H) 入

11 **終了/画面表示ボタンを押す**

通常の画面へ戻ります。



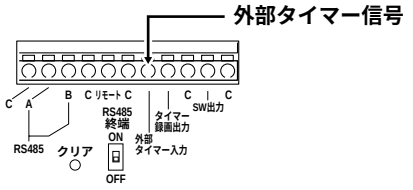
設定

■外部タイマー入力を利用したタイマー予約

後面パネルの外部タイマー入力端子への入力信号を利用して、録画の開始・終了をコントロールすることができます。

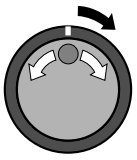
例 **外部タイマー入力端子を使って、「記録周期」（録画スピード）を0.200で録画する**

1 後面パネルのコントロール端子にある外部タイマー入力端子に外部タイマーの信号線を接続する



2 ジョグダイヤルで8行目（外部）にカーソルを移動させ、シャトルダイヤルを右に回す

「記録周期」の0.100（録画スピード）が点滅します。



〈タイマー設定〉

曜日	開始	終了	記録周期	(参考)	入/切
[日]	--:--	--:--	0.100秒	(54H)	切
[月]	--:--	--:--	0.100秒	(54H)	切
[火]	--:--	--:--	0.100秒	(54H)	切
[水]	--:--	--:--	0.100秒	(54H)	切
[木]	--:--	--:--	0.100秒	(54H)	切
[金]	--:--	--:--	0.100秒	(54H)	切
[土]	--:--	--:--	0.100秒	(54H)	切
毎日	--:--	--:--	0.100秒	(54H)	切
外部	*****	*****	0.100秒	(54H)	切

3 ジョグダイヤルでーーー（録画スピード）を0.200（108H）に設定し、シャトルダイヤルを右に回す

「入／切」の“ 切 ”が点滅します。

外部 ***** ***** 0.200秒 (108H) 切

4 ジョグダイヤルで“ 切 ”設定を“ 入 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す

カーソルが1行目に移動します。

外部 ***** ***** 0.200秒 (108H) 入

5 終了／画面表示ボタンを押す

通常の画面に戻ります。

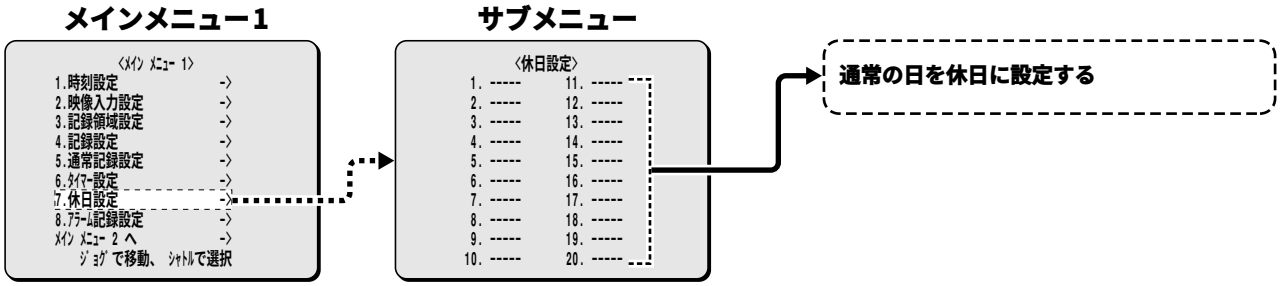
6 タイマー録画ボタンを押す

- タイマー録画ランプが点灯して、タイマー録画待機状態になります。
- 外部タイマー入力端子に入力がある間、操作表示部にRECが表示し、通常記録領域に監視映像が録画されます。

注意：

- **通常のタイマー録画との組み合わせもできます。**
- **外部タイマー入力端子に外部タイマーの信号線を接続してください。**
  接続していないと外部タイマー録画はできません。

休日設定



■休日の設定

国の指定記念日や会社などの休日は、通常と同じく平日扱いになります。当然タイマー録画も通常通りに録画がおこなわれますが、メニューの〈タイマー設定〉で休日設定（入／切：入）にして、ここで休日にしたい日付を設定すれば休日と同じタイマー録画予約になります。

注意：必ずタイマー設定の日曜日（[日]）の時間設定などをおこなってから「入／切」を“ 入 ”にしてください。

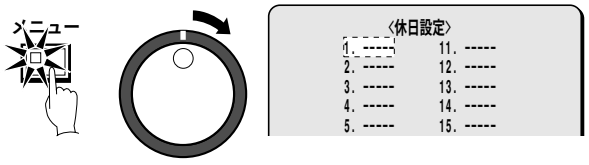
〈ﾀｲﾏｰ設定〉

曜日	開始	終了	記録周期	(参考)	入/切
[日]	08:00	18:00	0.320秒	(173H)	入
[月]	--:--	--:--	0.100秒	(54H)	切
[火]	--:--	--:--	0.100秒	(54H)	切
[水]	--:--	--:--	0.100秒	(54H)	切
[木]	--:--	--:--	0.100秒	(54H)	切
[金]	--:--	--:--	0.100秒	(54H)	切
[土]	--:--	--:--	0.100秒	(54H)	切
毎日	--:--	--:--	0.100秒	(54H)	切
外部	*****	*****	0.100秒	(54H)	切

例　11月17日を休日に設定する

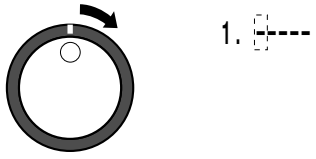
1 メニューボタンを押して「休日設定」でシャトルダイヤルを右に回す

〈休日設定〉のサブメニューになり、カーソルが「1」に移動しています。



2 シャトルダイヤルを右に回す

「1」のーー（月）が点滅します。



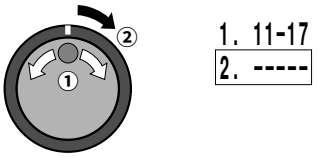
3 ジョグダイヤルでーーを“ 11 ”に設定し、シャトルダイヤルを回す

「1」のーー（日）が点滅します。

1. 11---

4 ジョグダイヤルでーーを“ 17 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す

カーソルが「2」に移動します。



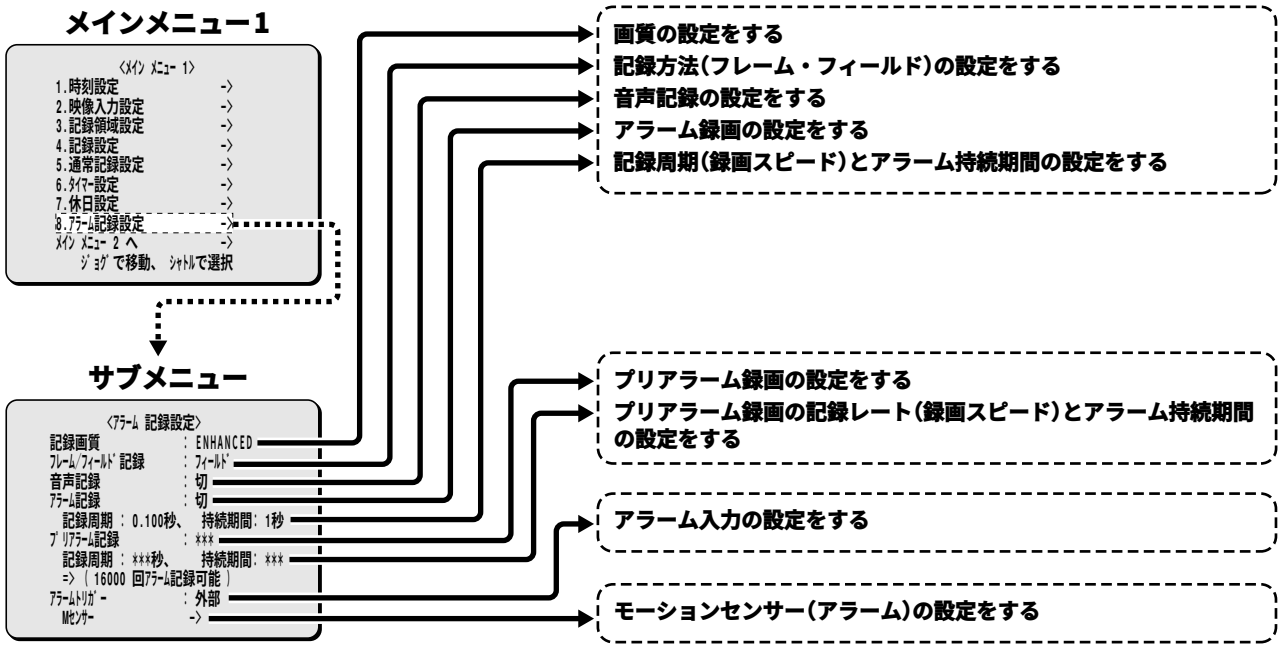
5 同じ手順で他の休日を設定してください

6 終了/画面表示ボタンを押す

通常の画面へ戻ります。

設定

アラーム記録設定



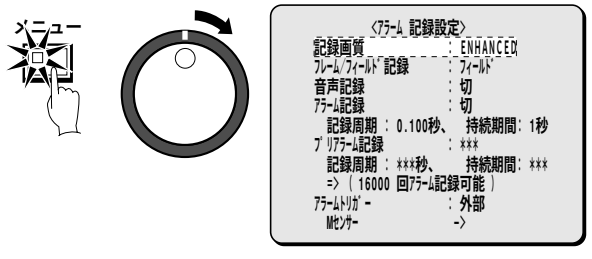
■アラーム記録の設定

アラーム記録領域の録画の画質、記録方法（フレーム・フィールド）、音声記録、記録スピードの設定をおこないます。

注意：アラーム記録は、ハードディスク1台あたり最大16000件の記録が可能です。ハードディスクを増設して2台搭載した場合は、最大32000件までアラーム記録が可能です。設定条件によっては、最大記録枚数が変わりますので、メニュー設定画面表示をご確認ください。

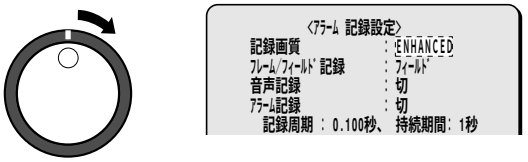
1 メニューボタンを押して「アラーム記録設定」でシャトルダイヤルを右に回す

〈アラーム記録設定〉のサブメニューになり、カーソルが「記録画質」に移動しています。



2 シャトルダイヤルを右に回す

“ ENHANCED（準高画質）”が点滅します。



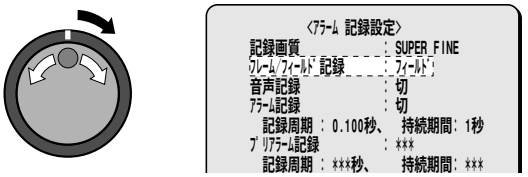
3 ジョグダイヤルで画質［例：SUPER FINE（最高画質）］を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

カーソルが「フレーム／フィールド記録」へ移動します。

注意：アラームの各種設定に応じた最大記録枚数を画面下部に表示します。

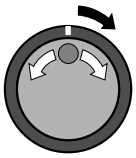
（画質の選択）

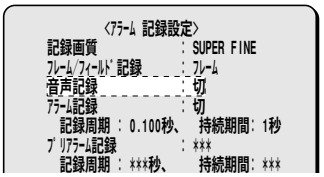
- **BASIC（BA）**／ラフ画質　15kB
- **NORMAL（NO）**／標準画質　22kB
- **ENHANCED（EN）**／準高画質　30kB
- **FINE（FI）**／高画質　42kB
- **SUPER FINE（SF）**／最高画質　56kB



4 **シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで記録方法（例：フレーム）を設定して、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「音声記録」へ移動します。

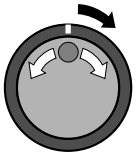


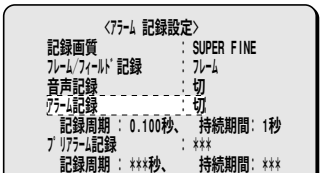


注意：
- **「フレーム／フィールド記録」を選択すると、録画スピードを「記録周期」に表示し、最大記録枚数を画面下部に表示します。**
- **記録設定容量が小さい場合は、アラーム回数には0が表示し、《容量不足》の文字が表示します。**
- **フィールドまたはフレームの録画スピードは「記録画質」の画質の選択により異なります。詳しくは「録画スピード一覧表」を参照ください。（☞ P14）**

5 **シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで音声記録（例：入）を設定して、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「アラーム記録」へ移動します。





注意：
- **音声記録は「記録周期」が1秒（フィールド）または2秒（フレーム）以下のときに設定できます。**
- **“入”設定にすると、「記録周期」の録画スピードの前に［A（音声記録表示）］表示と最大記録枚数を画面下部に表示します。**

6 **シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルでアラーム録画（例：モード1）を設定して、シャトルダイヤルを回す**

カーソルが「記録周期」へ移動します。

表示例：アラーム録画の選択
- **切：**アラーム録画をおこなわない。
- **モード1：**タイマー録画に関係なく常時、アラーム録画をおこないます。
- **モード2：**タイマー録画中のみアラーム録画をおこないます。
- **モード3：**タイマー録画中以外のときのみアラーム録画をおこないます。
- **モード4：**タイマー設定で設定した時間中のみアラーム録画をおこないます。通常記録はおこないません。

注意：アラーム録画を“モード1”などに選択すると「プリアラーム記録」の設定が可能（＊＊＊から“切”になる）になります。

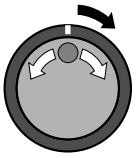
7 **シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで録画スピード（例：0.167）を設定して、シャトルダイヤルを右に回す**

「持続期間」の1秒が点滅します。

注意：録画スピードを選択すると、最大記録枚数を画面下部に表示します。

8 **ジョグダイヤルを回して持続期間（例：5秒）を設定して、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「プリアラーム記録」へ移動します。



9 **終了/画面表示ボタンを押す**

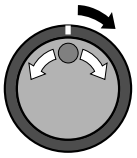
通常の画面へ戻ります。アラーム設定表示が操作表示部に表示します。アラームが入るとアラーム回数を表示します。

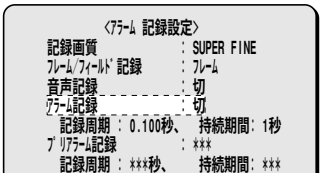
注意：アラーム記録中に次のアラームが入ると、アラーム映像の記録の途中から次のアラーム映像が続けて記録されます。
複数アラームが入った場合はアラームが途切れるまで1つのアラームの扱いとなります。

■プリアラーム録画の設定

1 **ジョグダイヤルで「アラーム記録」にカーソルを移動しシャトルダイヤルを右に回す**

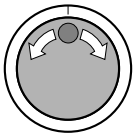
“ 切 ”が点滅します。





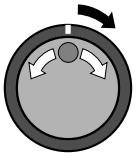
2 **ジョグダイヤルで“ 切 ”を他のモード（例：モード1）に選択して、シャトルダイヤルを右に回す**

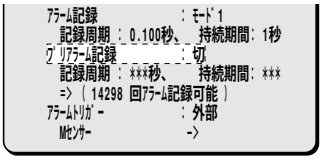
「プリアラーム記録」の＊＊＊が“ 切 ”になります。カーソルは「記録周期」へ移動します。



3 **ジョグダイヤルでカーソルを「プリアラーム記録」に移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

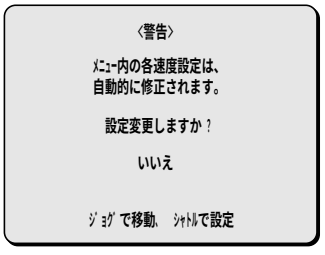
“ 切 ” が点滅します。





4 **ジョグダイヤルで“ 切 ”を“ 入 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

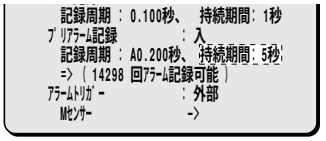
自動速度調整の警告メッセージが表示されます。



5 **警告メッセージに対してジョグダイヤルで“ はい ”を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

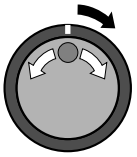
カーソルが「持続期間」の“ 5秒 ”に移動し点滅します。

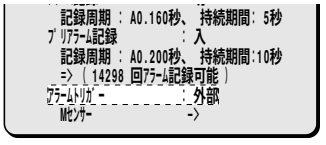
6 **ジョグダイヤルで持続時間を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**



7 **ジョグダイヤルで持続期間（例：10秒）を設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

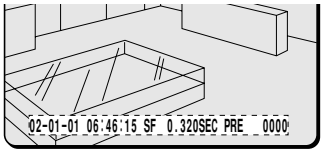
カーソルが「アラームトリガー」へ移動します。





8 **終了/画面表示ボタンを押す**

通常の画面へ戻ります。操作表示部には“ PRE ”が表示されます。アラームが入ると“ ALARM ”表示に切り換わります。



注意：

- **プリアラーム録画は、アラーム信号の入る前に「持続期間」で設定した時間で録画がおこなわれます。プリアラーム録画の映像を再生するときは、アラームサーチ（サーチ フレーム/フィールドボタン）操作をおこなってください。アラーム発生時点からの映像になりますので、シャトル操作で逆方向の再生をおこなってください。**
- **プリアラーム記録をフィールド（記録レート）でおこなう場合、記録周期の設定は周期速度が速い0.017秒と0.033秒の選択はできません。**

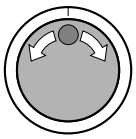
記録レート (フィールド/秒)	記録周期 (秒)	BASIC (ラフ画質)	NORMA (標準画質
60.00	0.017	20H	14
30.00	0.033	40H	28
20.00	0.050	61H	4
15.00	0.067	81H	5
10.00	0.100	122H	8
7.50	0.133	163H	11

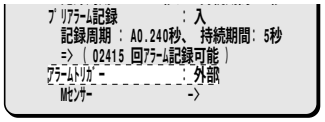
- **通常記録とプリアラーム記録を同時におこなう場合は、プリアラーム記録の映像には音声は記録されません。**
- **本機とフレームスイッチャーを組み合わせ、プリアラーム記録と通常記録を同時におこなうと、本機からは通常記録の録画タイミングに合わせてフレームスイッチャーへのスイッチング信号を出力しますので、プリアラームの記録周期を通常記録設定の記録周期よりも短く設定すると、プリアラーム記録では、同じカメラの映像が連続して録画されることがあります。**
  逆に、プリアラームの記録周期を通常記録設定の記録周期よりも長く設定すると、通常記録時にはカメラの映像が記録されないことがありますのでこの設定はおこなわないでください。

設定

■アラームトリガーの設定

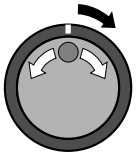
1 ジョグダイヤルでカーソルを「アラームトリガー」に移動する

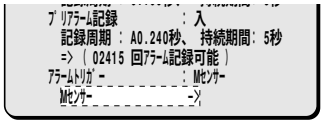




2 シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで侵入者の検出方法（例：Mセンサー）を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

カーソルが「Mセンサー」に移動します。





表示例：アラーム記録のトリガーの種類を選択

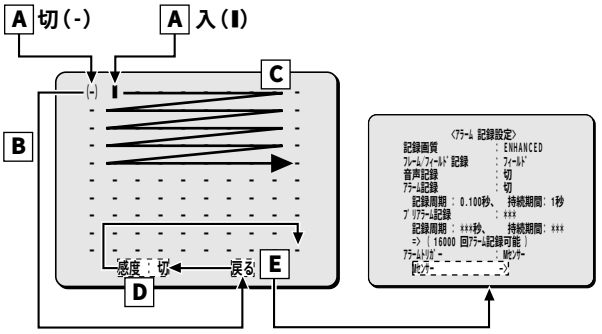
- **外部：**外部アラーム（後面パネルのアラーム入力端子にスイッチを取り付け、開閉による検出）が入ったときにアラーム録画します。
- **Mセンサー：**モーションセンサーが動きを検出したときのみアラーム録画します。モーションセンサーの設定をご覧ください。
- **外部 AND Mセンサー：**外部アラームとモーションセンサーの両方が同時に反応するとアラーム録画する。
- **外部 OR Mセンサー：**外部アラームかモーションセンサーのどちらかが反応するとアラーム録画する。

注意：

- **Mセンサー（外部 AND Mセンサー、外部 OR Mセンサー）を選択した場合はモーションセンサーの設定が必要です。**
- **フレームスイッチャーを接続している場合は、本機のモーションセンサーは使用できません。**
- **フレームスイッチャーのモーションセンサーを使用するときは、フレームスイッチャーのアラーム出力を本機後面パネルのアラーム入力に入れて、アラーム記録をおこなってください。**
- **モーションセンサーでアラーム記録中に記録を中止するときは、メインメニュー1の〈アラーム設定〉でシャトルダイヤルを右に回してください。モーションセンサーの画面になりますので「感度」を“ 切 ”にしてください。**

■モーションセンサーの設定

モニタ画面上にモーションセンサー（▪：8×10）を表示させ、侵入者などの検出（アラーム）が容易にできます。初期設定ではモーションセンサーは全て［切］となっていますので、被写体の動きを検知することはできません。



モーションセンサー画面について

ジョグダイヤルで「Mセンサー」にカーソルを移動し、シャトルダイヤルを右に回す

通常画面上にモーションセンサー画面が表示します。

A センサーが切（-）状態で、シャトルダイヤルを右に回すとセンサーが入（▮）になります。繰り返し操作で入／切になります。

B ジョグダイヤルを左に回すと、カーソルが「戻る」、「感度：切」を通過後、最下段から最上段へと移動します。

C ジョグダイヤルを右に回すと、カーソルが右に移動します。カーソルが最下段になると「感度：切」、「戻る」を通過後、最上段になります。

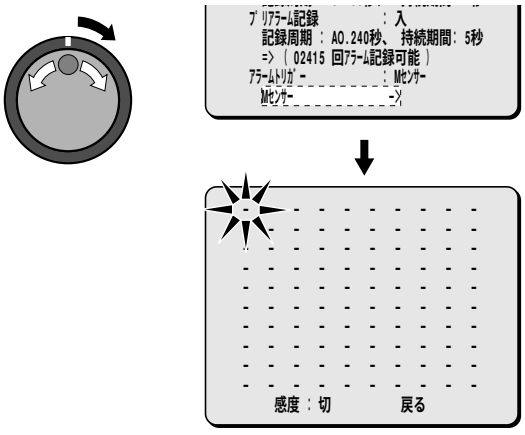
D センサーが入（▮）状態で感度レベルの調整ができます。ジョグダイヤルを回して、「感度：切」を選択しシャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで感度レベルの調整をします。（切・1～10：数値が低いほど高感度となります。）

E「戻る」にカーソルがある場合にシャトルダイヤルを右に回すと、〈アラーム記録設定〉画面に戻ります。

☞ **モーションセンサーの設定中に、設定したセンサーの反応をブザーで確認することができます。**

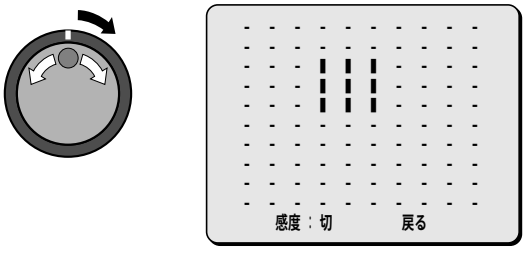
1 **ジョグダイヤルで「Mセンサー」にカーソルを移動し、シャトルダイヤルを右に回す**

通常画面上にモーションセンサー画面が表示します。



2 **ジョグダイヤルを回し、センサー設定位置を決めてシャトルダイヤルを右に回す**

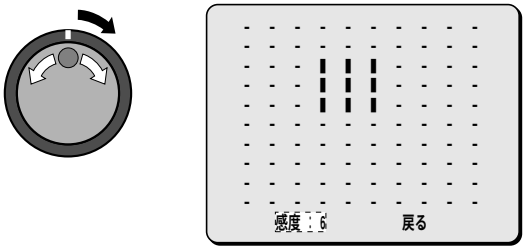
センサーが切（-）から入（▮）になりますので、同じ手順でセンサーを入に設定してください。



3 **ジョグダイヤルで「感度：切」にカーソルを移動し、シャトルダイヤルを右に回して、ジョグダイヤルで感度を設定（例：6）する**

表示例：感度レベルの選択

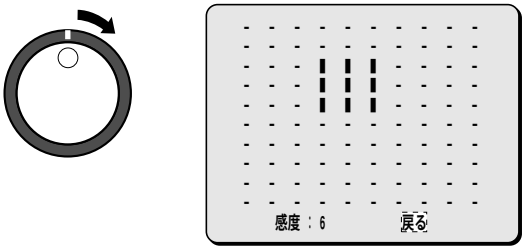
- **切：**センサー動作をしない。
- **1〜10：**センサー動作をおこなう。（数値が低いほど高感度）



注意：この設定画面で感度のチェックができます。センサーが検知するとブザー（ピッ音）が鳴ります。感度を強くしすぎると光の多少の変化にも反応しますので設置環境に応じて設定してください。

4 **シャトルダイヤルを2回右に回す**

モーションセンサー設定が終了し、〈アラーム記録設定〉画面に戻ります。



5 **終了/画面表示ボタンを押す**

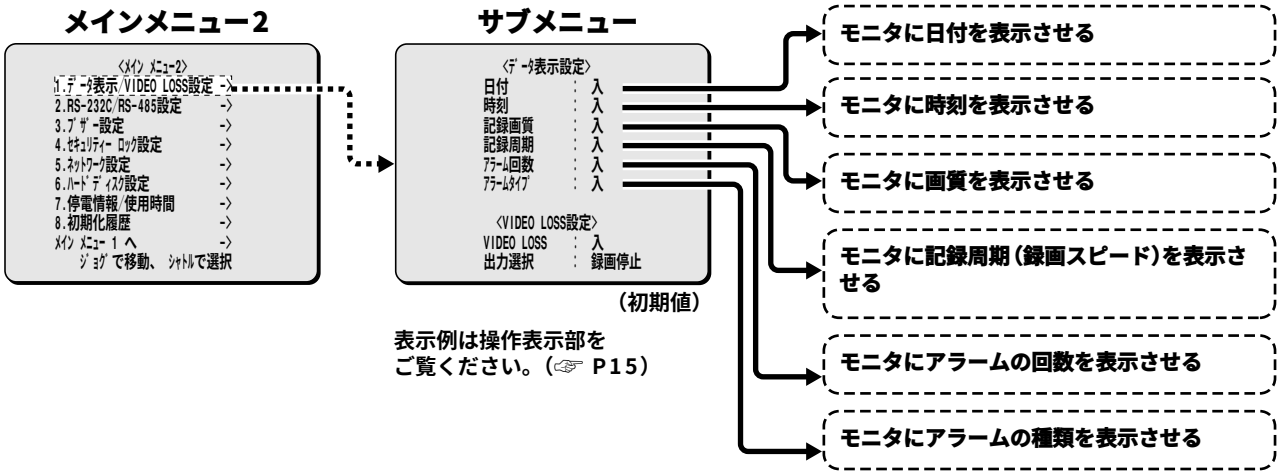
通常画面に戻ります。

注意：

- **アラーム入力時にアラーム音を鳴らす場合は、〈メインメニュー2〉の「ブザー設定」の「アラーム入力」を“ 入 ”に設定してください。**
- **センサー設定した場所の確認としてセンサーの反応をブザーで確認できます。**
- **モーションセンサーは画面の明るさの変化によって動作しており、人や物体の動きがなくても画面の明るさが変化すると反応することがあります。**

データ表示／VIDEO LOSS設定

メインメニュー②



表示例は操作表示部をご覧ください。（☞ P15）

■データ表示の設定

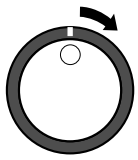
録画中や再生中に〈時刻設定〉で設定した日付・時刻などをモニタ画面に表示することができます。初期設定はすべて“ 入 ”設定ですので本設定項目は全て画面表示しています。必要に応じて“ 切 ”に切り換えてください。

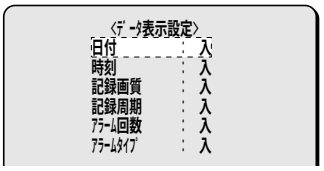
1 メニューボタンを2度押し、〈メインメニュー2〉画面にする

カーソルが「データ表示／VIDEO LOSS設定」に移動しています。

2 シャトルダイヤルを右に回す

〈データ表示設定〉のサブメニューになり、カーソルが「日付」に移動しています。





3 シャトルダイヤルを右に回す

“ 入 ”が点滅します。ジョグダイヤルで“ 切 ”にすると日付が操作表示から消えます。

4 シャトルダイヤルを右に回す

カーソルが「時刻」に移動します。

5 シャトルダイヤルを右に回す

“ 入 ”が点滅します。ジョグダイヤルで“ 切 ”にすると時刻が操作表示から消えます。

6 同じ手順（3と4）で、必要に応じて次の設定の入／切を切り換えてください。

- **記録画質（切）**：記録中および再生中の画質モードを表示しません。
- **記録周期（切）**：記録中および再生中の記録周期を表示しません。
- **アラーム回数（切）**：現在のアラーム件数を表示しません。
- **アラームタイプ（切）**：アラーム録画の種類を表示しません。

注意：

- **〈アラーム記録設定〉の「アラーム記録」が“ 切 ”の場合には、「アラーム回数」と「アラームタイプ」は表示されません。**
- **“ 入 ”設定の場合**
  - **・アラーム録画の場合は操作表示部には“ ALARM ”表示になる**
  - **・プリアラーム録画の場合は操作表示部には“ PRE ”表示になる**
  - **・バックアップ領域を再生している場合は“ BACKUP ”になる**

7 終了/画面表示ボタンを押す

通常の画面へ戻ります。

■VIDEO LOSSの設定

1 ジョグダイヤルで「VIDEO LOSS」にカーソルを移動させ、シャトルダイヤルを右に回す

“ 入 ”が点滅します。この状態でカメラ映像などが途切れると画面に“ VIDEO LOSS ”と表示します。

2 ジョグダイヤルで「出力選択」にカーソルを移動させ、シャトルダイヤルを右に回す

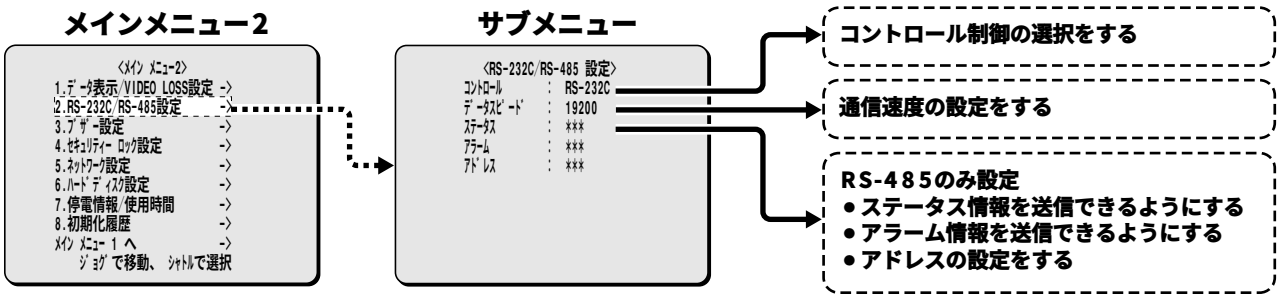
“ VIDEO LOSS ”か“ 録画停止 ”を選択して、VIDEO LOSS/録画停止の後面パネル出力端子信号を切り換えます。

＜VIDE LOSS設定＞

	設定モード	
VIDE LOSS	入	カメラ映像が途切れると画面に“ VIDEO LOSS ”表示する。
	切	カメラ映像が途切れても画面に“ VIDEO LOSS ”表示しない。
出力選択	VIDEO LOSS	“ VIDEO LOSS ”時、出力端子が12Vになる。
	録画停止	録画停止時、出力端子が12Vになる。

設定

RS-232C/RS-485設定



■RS-232C/RS-485の設定

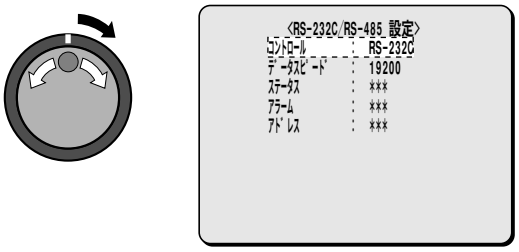
RS-232CとRS-485の通信に関する設定をします。

1 メニューボタンを2回押し、〈メインメニュー2〉画面にする

カーソルが「データ表示／VIDEO LOSS設定」に移動しています。

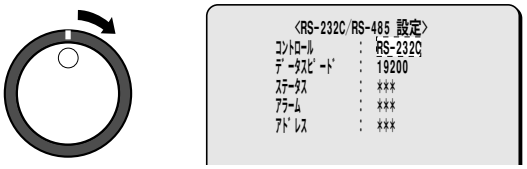
2 ジョグダイヤルでカーソルを「RS-232C/RS-485 設定」に移動させ、シャトルダイヤルを右に回す

〈RS-232C/RS-485設定〉のサブメニューになり、カーソルが「コントロール」に移動しています。



3 シャトルダイヤルを右に回す

“ RS-232C ”が点滅します。ジョグダイヤルで“ RS-232C ”か“ RS-485 ”のどちらかを選択してください。

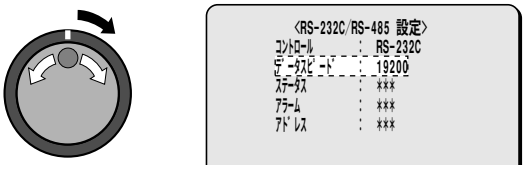


■RS-232Cを選択する場合

本機のRS-232C端子とパソコン間を別売のRS-232C専用ケーブルで接続してください。(☞ P9)

1 ジョグダイヤルで“ RS-232C ”を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

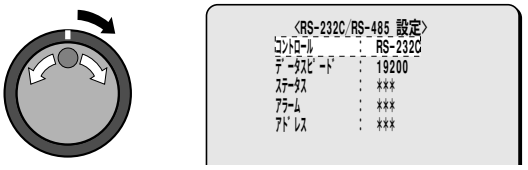
カーソルが「データスピード」に移動しています。



2 シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで通信速度（例：19200）を選択して、シャトルダイヤルを右に回す

設定が終了し、カーソルが「コントロール」に移動します。

- **通信速度の選択項目：**
  2400、4800、9600、19200



3 終了/画面表示ボタンを押す

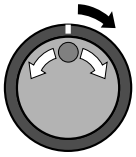
通常の画面へ戻ります

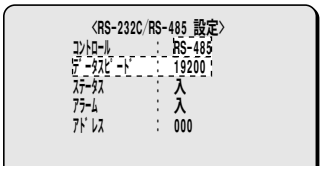
■RS-485を選択する場合

本機のコントロール端子のRS485（A、B）とシステムコントローラ、フレームスイッチャー、ハードディスクデジタルレコーダーなどをシリーズ接続してください。（☞ P10）

1 シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで“RS-485”を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

カーソルが「データスピード」に移動しています。
「ステータス」、「アラーム」、「アドレス」の設定が可能になります。

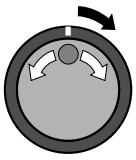


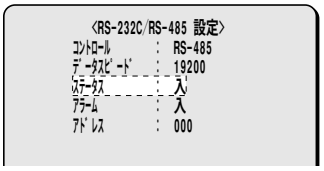


2 シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで通信速度（例：19200）を選択して、シャトルダイヤルを右に回す

- **通信速度の選択項目：**
  2400、4800、9600、19200

カーソルが「ステータス」に移動します。





3 シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルでステータス情報（例：入）を選択して、シャトルダイヤルを右に回す

- **入：**ステータス情報をRS485ラインで送信ができます。

カーソルが「アラーム」に移動します。

4 シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルでアラーム情報（例：入）を選択して、シャトルダイヤルを右に回す

- **入：**アラーム情報をRS485ラインで送信ができます。

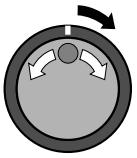
カーソルが「アドレス」に移動します。

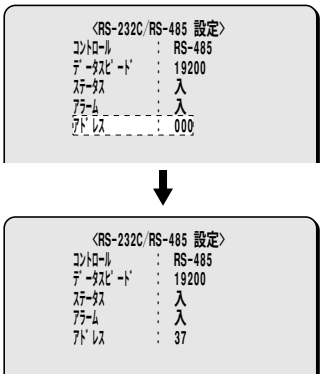
5 シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルでアドレス（例：37）を選択して、シャトルダイヤルを右に回す

設定が終了し、カーソルが「コントロール」に移動します。

注意：本機のアドレスを0～127までの間で設定してください。複数のハードディスクデジタルレコーダーを接続する場合には、アドレスが重複しないように注意してください。

- **アドレス選択項目：**0から127まで



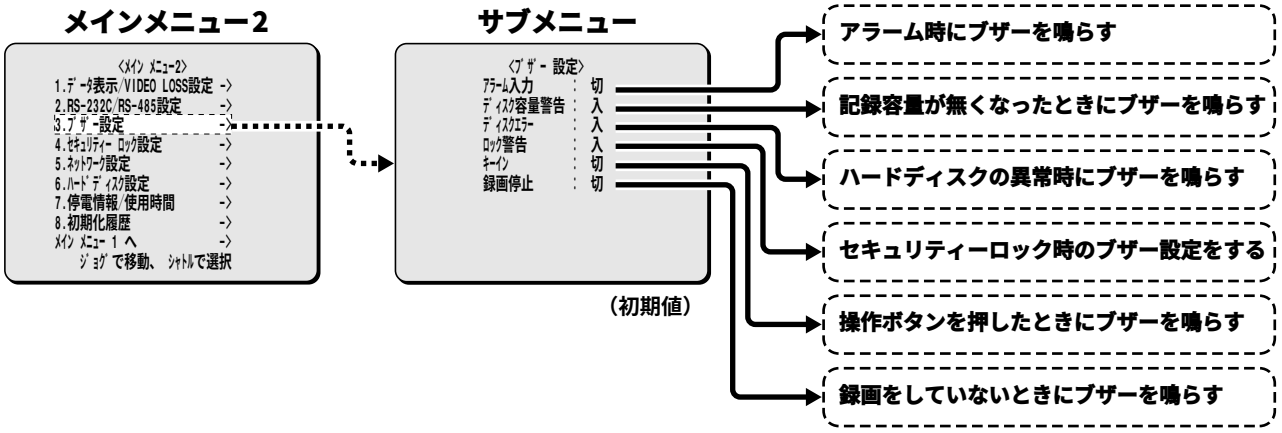


6 終了/画面表示ボタンを押す

通常の画面へ戻ります。

設定

ブザー設定



■ブザーの設定

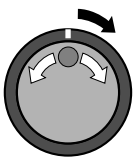
アラーム時やハードディスクの容量が不足すると、ブザーを鳴らし警告を音で知らせることができます。

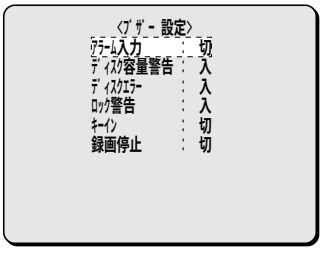
1 メニューボタンを2度押し、〈メインメニュー2〉画面にする

カーソルが「データ表示／VIDEO LOSS設定」に移動しています。

2 ジョグダイヤルでカーソルを「ブザー設定」に移動させ、シャトルダイヤルを右に回す

〈ブザー設定〉のサブメニューになり、カーソルが「アラーム入力」に移動しています。





3 シャトルダイヤルを右に回す

“ 切 ”が点滅します。ジョグダイヤルで“ 入 ”または“ 切 ”のどちらかを選択してください。

- **入：**アラームが入るとブザーが鳴ります。

4 同じ手順で必要に応じてブザー設定（入／切）を切り換えてください。

- **ディスク容量警告（入）：**上書き禁止の場合に、ハードディスクの残量が不足するとブザーを鳴らす設定です。
- **ディスクエラー（入）：**ハードディスクに異常が発生したときに、ブザーを鳴らす設定です。
- **ロック警告（入）：**セキュリティーロック時にロックされたボタンを押すと、ブザーを鳴らす設定です。

注意：“ 入 ”設定の場合、0.5秒程度の周期で2回ブザーがなります。

- **キーイン（入）：**操作ボタンを押すたびにブザーを鳴らす設定です。
- **録画停止（又はVIDEO LOSS）（入）：**録画を停止したときや他の者が故意に録画を停止させたときにブザーを鳴らす設定です。

＜ブザー設定＞

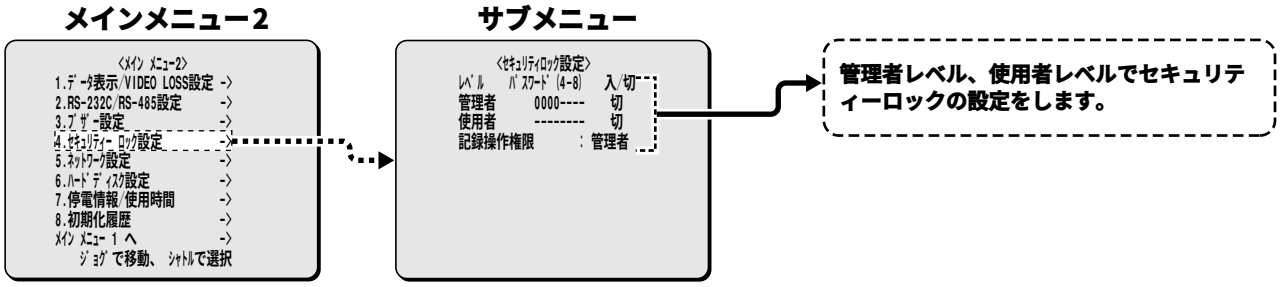
	設定モード	
VIDE LOSS	入	“ VIDEO LOSS ”時にブザーが鳴る。
	切	“ VIDEO LOSS ”時にブザーは鳴らない。
録画停止	入	録画停止時にブザーが鳴る。
	切	録画停止時にブザーは鳴らない。

5 終了/画面表示ボタンを押す

通常の画面へ戻ります。

セキュリティーロック設定

本機は管理者、使用者または双方によるパスワード設定ができます。パスワード設定により録画・再生時の操作優先権の選択ができます。そして、セキュリティーロック設定後にパスワード設定者以外の者が本機の操作ボタンに触れるとブザーが鳴りパスワード入力が必要になります。設定したパスワードは必ず控えておいてください。



■操作権の設定とセキュリティーロック

A 管理者のパスワード設定

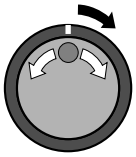
例 パスワードを「123456AB」に設定する

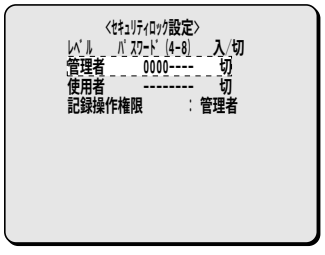
1 **メニューボタンを2回押し、〈メインメニュー2〉画面にする**

カーソルが「データ表示／VIDEO LOSS設定」に移動しています。

2 **ジョグダイヤルでカーソルを「セキュリティーロック設定」に移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

〈セキュリティロック設定〉のサブメニューになり、カーソルが「管理者」に移動しています。

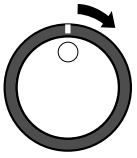




注意：
- レベル パスワード（4--8）入／切はタイトルです。変更はできません。
- 「管理者」の設定が“ 切 ”の場合は「使用者」のパスワード設定はできません。
- パスワードは4桁から8桁の数字とアルファベットの組合せで設定できます。
- ハードディスクの初期化や記録領域の設定、記録再開許可をおこなう場合は、管理者のパスワードが必要です。初期値は“ 0000 ”です。

3 **シャトルダイヤルを右に回す**

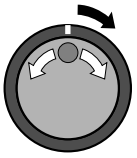
パスワード入力の最初の“ - ”が点滅します。



管理者 -------- 切

4 **ジョグダイヤルで“ 1 ”を表示させ、シャトルダイヤルを回す**

パスワード入力の2番目の“ - ”が点滅します。
- **パスワード入力の選択項目：** 0、1～9、A、B～Z



管理者 1------- 切

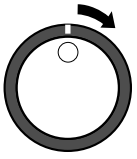
5 **ジョグダイヤルで“ 2 ”を表示させ、シャトルダイヤルを回す**

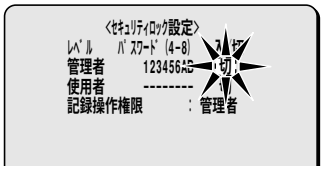
パスワード入力の3番目の“ - ”が点滅します。

管理者 12------ 切

6 **同じ手順で“ 3456AB ”を設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

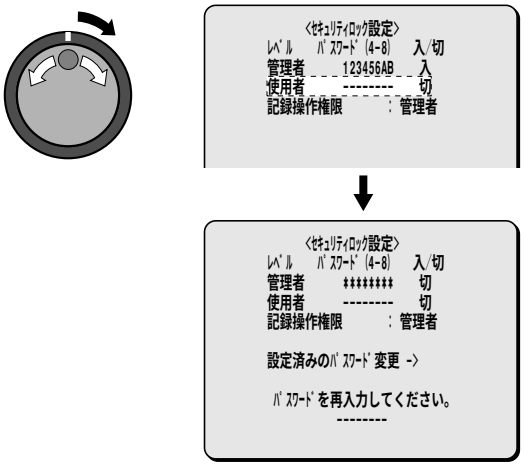
カーソルが“ 切 ”（点滅）に移動します





7 **ジョグダイヤルで“ 入 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「使用者」に移動します。



8 **「使用者」のパスワードを設定する**

「**B使用者のパスワード設定**」をおこなってください。使用者設定をおこなわない場合はこれで終了です。
ジョグダイヤルでカーソルを「記録操作権限」に移動させて「**録画・再生時の操作優先権の設定**」をおこなってください。(☞ P68)

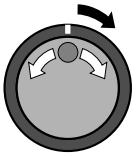
注意：4桁のパスワードを設定する場合は5桁目に“ − ”を表示した状態でシャトルダイヤルを右に回してください。

B 使用者のパスワード設定

例 **パスワードを「AB123456」に設定する**

1 **ジョグダイヤルでカーソルを「使用者」に移動させてシャトルダイヤルを右に回す**

パスワード入力の最初の“ - ”が点滅します。



使用者　-------　切

2 **ジョグダイヤルで“ A ”を表示させ、シャトルダイヤルを回す**

パスワード入力の2番目の“ - ”が点滅します。
● **パスワード入力の選択項目：**0、1〜9、A、B〜Z

使用者　A------　切

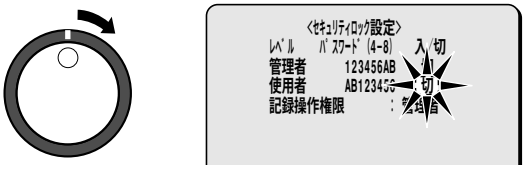
3 **ジョグダイヤルで“ B ”を表示させ、シャトルダイヤルを回す**

パスワード入力の3番目の“ - ”が点滅します。

使用者　AB-----　切

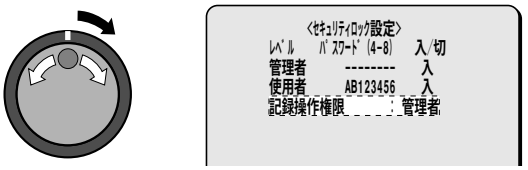
4 **同じ手順で“ 123456 ”を設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが“ OFF ”(点滅) に移動します。



5 **ジョグダイヤルで“ 入 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「記録操作権限」に移動します。
「**録画・再生時の操作優先権の設定**」をおこなってください。(☞ P68)



設定

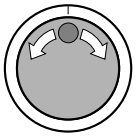
C 録画・再生時の操作優先権の設定

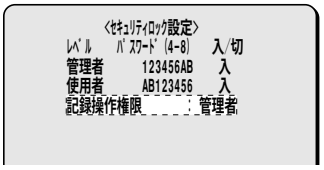
■操作優先権の選択

各項目の入／切、管理者／使用者設定により動作内容が異なります。

設定例	動作内容
ﾚﾍﾞﾙ　ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ(4-8)　入/切 管理者　123456AB　入 使用者　AB123456　入 記録操作権限　：管理者	すべての操作がロックされます。パスワード入力画面に使用者のパスワードを入力すると、再生関係の操作のみが操作できます。管理者のパスワードを入力するとすべての操作ができます。
管理者　123456AB　入 使用者　AB123456　入 記録操作権限　：使用者	すべての操作がロックされます。パスワード入力画面に使用者のパスワードを入力すると、再生と録画関係の操作のみが操作できます。管理者のパスワードを入力するとすべての操作ができます。
管理者　123456AB　入 使用者　--------　切 記録操作権限　：管理者	録画とメニュー関係の操作がロックされます。再生関係はロックされません。パスワード入力画面に管理者のパスワードを入力するとすべての操作ができます。
管理者　123456AB　入 使用者　--------　切 記録操作権限　：使用者	メニュー関係の操作がロックされます。録画と再生関係はロックされません。パスワード入力画面に管理者のパスワードを入力するとすべての操作ができます。
管理者　--------　切 使用者　--------　入 記録操作権限　：管理者	この設定はできません。
管理者　--------　切 使用者　--------　切 記録操作権限　：使用者	セキュリティーロックはかかりません。(初期値)

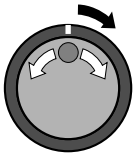
1　ジョグダイヤルでカーソルを「記録操作権限」に移動する





2　シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで“ 管理者 ”または“ 使用者 ”を選択する

これで設定は終了です。



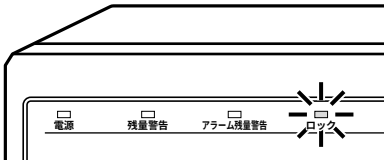
3　終了/画面表示ボタンを押す

通常の画面へ戻ります。

D セキュリティーロックの設定

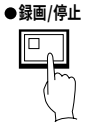
1　通常の監視画面で、シャトル保持ボタンを約3秒間押す

前面のロックランプが点灯してブザーが鳴り、セキュリティーロックが設定されます。



2　セキュリティーロックの確認は、いずれかの操作ボタンを押す

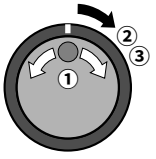
パスワード入力画面が表示します。
表示は約5秒で消えます。

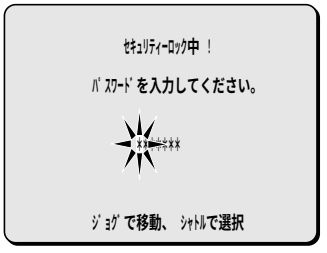


3　ジョグダイヤルとシャトルダイヤルでパスワードを入力して、再度シャトルダイヤルを右に回す

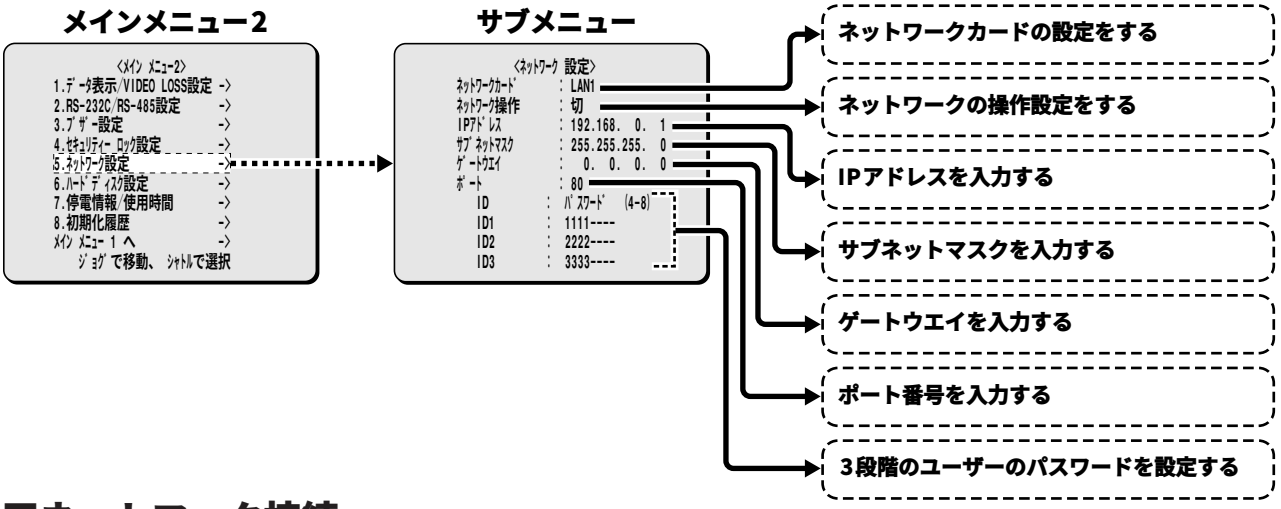
ロックランプが消えて通常画面に戻ります。

注意：管理者または使用者のパスワード設定で入力したパスワード（例：123456AB）を表示させる





ネットワーク設定

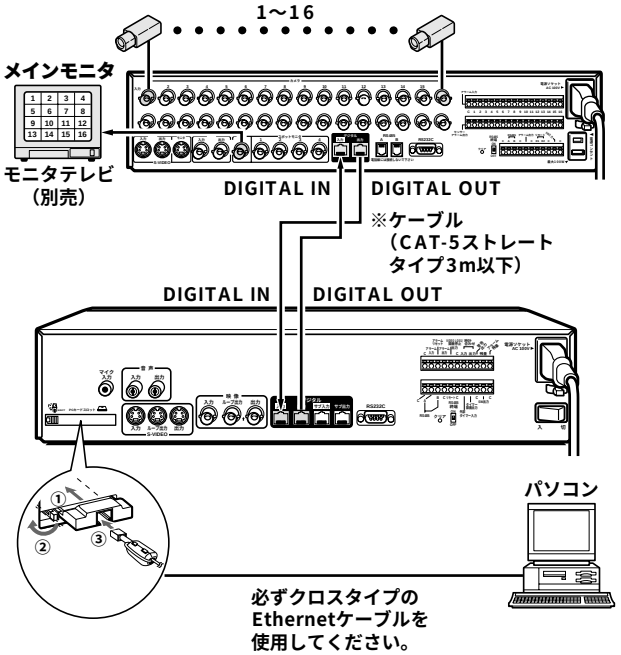


■ネットワーク接続

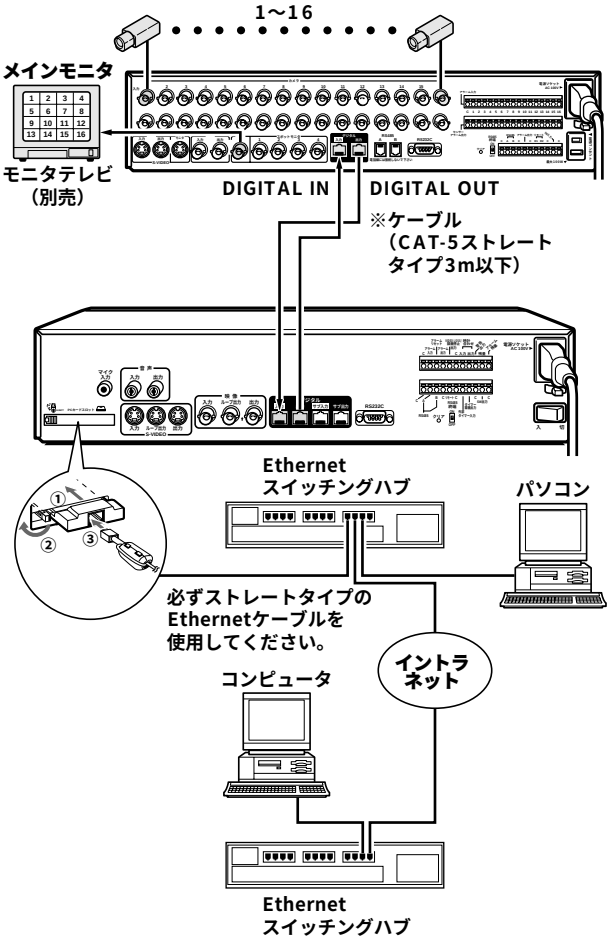
本機後面のPCカードスロットに市販の推奨LANカードまたはPCカードタイプ（Ethernetカード）を装着してください。
本機のメニュー設定や画像の監視をネットワーク（LAN）経由でパソコンから操作できます。

注意：
- 同時に接続できるコンピューターは、4台までです。ただし、接続中（4台）のユーザーレベルより上位のユーザーレベルで別のコンピュータから接続したときには、下位のレベルのユーザーは強制切断され上位のユーザーが優先的に接続されます。4台ともID1の場合は、最後に接続したユーザーが切断されます。
- PCカードソケットは、16bit 5V専用です。32bit card Busタイプを使用すると本体PCカードソケットが破損する恐れがありますので挿入しないでください。

●パソコンに直接接続するとき（Ethernetハブを使用しない）



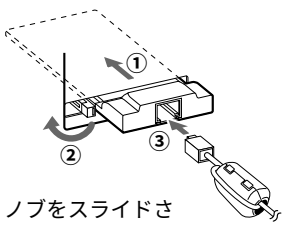
●イントラネット接続のとき（Ethernetハブを使用する）



注意：LANカード接続ケーブルに、フェライトコアを1回巻き付けて取り付けてください。

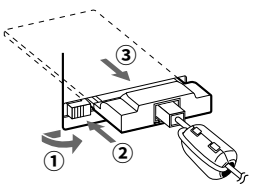
推奨LANカードの取り付けかた

（装着）



ノブをスライドさせると、簡易ロックできます。

（取出し）



ロックを外してからノブを起こしてください。

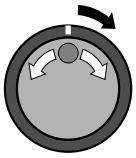
■ネットワークの設定

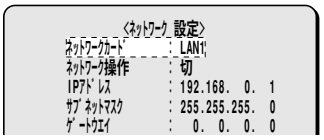
1 メニューボタンを2度押し、〈メインメニュー2〉画面にする

カーソルが「データ表示／VIDEO LOSS設定」に移動しています。

2 ジョグダイヤルでカーソルを「ネットワーク設定」に移動させ、シャトルダイヤルを右に回す

〈ネットワーク設定〉のサブメニューになり、カーソルが「ネットワークカード」に移動しています。





3 シャトルダイヤルを右に回す

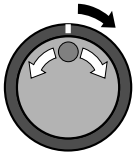
“ LAN1 ”が点滅します
使用するカードの種類に合わせて、“ LAN1 ”または“ LAN2 ”を選択してください。

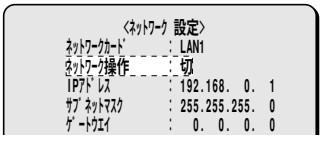
- **LAN1**：COREGA FEther II PPC-TXD“ CG-FE 2PCCTXD ”(10/100 BASE-T)
- **LAN2**：COREGA Ether II PCC-T（10 BASE-T）

注意：上記の推奨LANカード以外は動作保証は致しません。

4 ジョグダイヤルで「ネットワークカード」(例：LAN1) を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

カーソルが「ネットワーク操作」へ移動します。

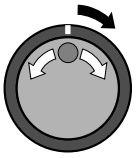


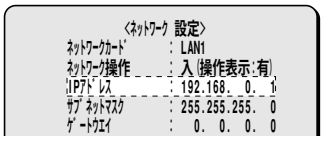


5 シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルでネッワーク操作 (例：入) を選択し、シャトルダイヤルを右に回して (操作表示：有) にする

カーソルが「IPアドレス」に移動します。
表示例：

- **入 (操作表示：有)**：ネットワーク接続中に本体のモニター出力に常に“ NETWORK CONTROL ”の表示が出ています。また、ネットワークから再生をおこなうと本体のモニター出力も再生画になります。ネットワーク接続中には本体の操作はできません。ただし、終了/画面表示ボタンを3秒間押すとネットワークを切断することができます。
- **入 (操作表示：無)**：ネットワーク接続中に本体のモニター出力に“ NETWORK CONTROL ”の表示が出ません。また、ネットワークから再生をおこなっても本体のモニター出力は常に監視映像を表示します。再生をおこなっても、本体の再生/停止ボタンは点灯しません (記録は可能)。ネットワーク接続中には本体の操作はできません。ただし、終了/画面表示ボタンを3秒間押すとネットワークを切断することができます。
- **切**：ネットワーク操作はできません。



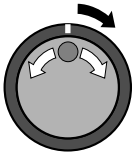


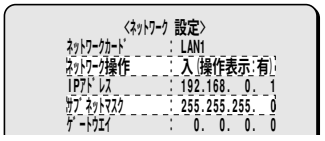
注意：

- **「ネットワーク操作」を“ 入 ”に設定しないとネットワーク経由でのコントロールはできません。ネットワークに接続されている状態で、ネットワークからのコントロールをおこないたくない場合には、“ 切 ”に設定してください。**
- **〈記録設定〉の「デジタルシリーズ記録」が“ 入 ”の場合には、「ネットワーク操作」を“ 入 ”にできません。**
- **ネットワーク操作中は、本体の操作はできません。ただし終了/画面表示ボタンを約3秒間押すとネットワークを切断することができます。**

6 シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルとシャトルダイヤルで「IPアドレス」(例：192. 168. 0. 1) を表示させ、シャトルダイヤルを右に回す

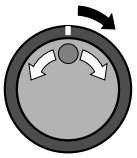
最後のシャトルダイヤル動作で、カーソルが「サブネットマスク」に移動します。

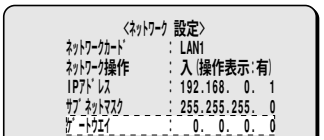




7 **シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルとシャトルダイヤルで「サブネットマスク」(例：255. 255. 255. 0) を表示させ、シャトルダイヤルを右に回す**

最後のシャトルダイヤル動作で、カーソルが「ゲートウェイ」に移動します。





8 **シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルとシャトルダイヤルで「ゲートウェイ」(例：192. 168. 0. 1) を入力し、シャトルダイヤルを右に回す**

最後のシャトルダイヤル動作で、カーソルが「ポート」の「80」に移動します。

注意：本機をLANに接続する場合には、「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」の設定は、LANのネットワーク管理者にご確認ください。

9 **シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで「ポート」番号 (例：90) を入力し、シャトルダイヤルを右に回す**

1～65535の範囲で任意のポート番号を設定してください。

注意：ポートを初期値の“ 80 ”以外に設定した場合には、IPアドレスの“ : ”の後にポート番号を入力してください。

■パスワードの設定

ネットワーク接続には3段階のアクセスレベルがあり、これに対するパスワードを設定します。各パスワードは4桁から8桁の数字とアルファベットの組み合わせで設定可能です。

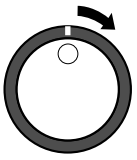
注意：「ID」、「パスワード (4-8)」にはカーソルは移動できません。

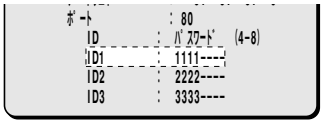
例 **「ID1」にパスワード「AB123456」を設定する**

1 **ジョグダイヤルでカーソルを「ID1」に移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

パスワード入力の最初の“ 1 ”が点滅します。

- **パスワード入力の選択項目：**0、1～9、A、B～Z

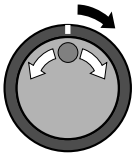




注意：
- **ID1：ネットワーク経由で映像の監視のみがおこなえるレベルです。**
- **ID2：ネットワーク経由で映像の監視、録画映像の再生やサーチ再生をおこなうことのできるレベルです**
- **ID3：本機および本機の各種設定を含めて、すべての操作をおこなうことのできるレベルです。**

2 **ジョグダイヤルで“ A ”を表示させ、シャトルダイヤルを回す**

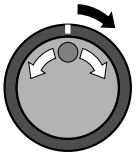
2番目の“ 1 ”が点滅します。



ID1 : A111----

3 **ジョグダイヤルで“ B ”を表示させ、シャトルダイヤルを回す**

3番目の“ 1 ”が点滅します。

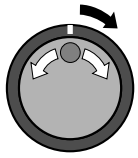


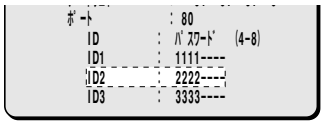
ID1 : AB11----

設定

4 **同じ手順で「123456」を設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「ID2」に移動します。





5 **必要に応じて、同じ手順で「ID2」と「ID3」のパスワードを設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「ネットワークカード」に移動します。

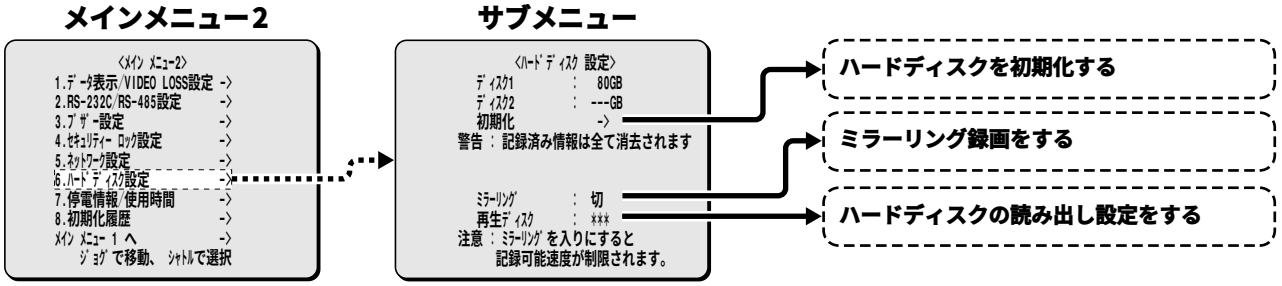
6 **終了/画面表示ボタンを押す**

通常の画面へ戻ります。

7 **パソコン操作**

別冊の「ネットワーク接続による遠隔操作マニュアル」をご覧ください。

ハードディスク設定



■ハードディスクの設定

ハードディスクの容量をディスク1（搭載）、ディスク2（搭載または増設用）に表示します。

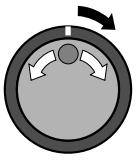
注意：ハードディスクを増設する前に、記録されている大切な映像はコンパクトフラッシュカードなどに事前に保存してください。

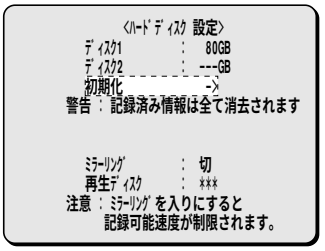
1 メニューボタンを2度押し、〈メインメニュー2〉画面にする

カーソルが「データ表示／VIDEO LOSS設定」に移動しています。

2 ジョグダイヤルでカーソルを「ハードディスク設定」に移動させ、シャトルダイヤルを右に回す

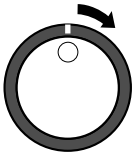
〈ハードディスク設定〉のサブメニューになり、カーソルが「初期化」に移動しています。

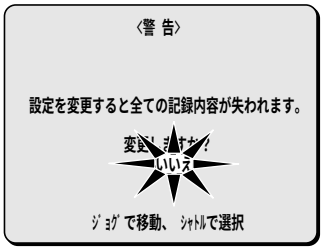




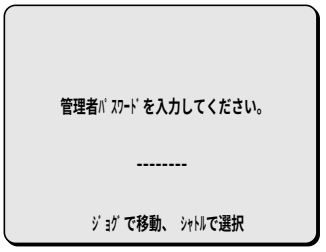
3 シャトルダイヤルを右に回す

☞〈警告〉画面になり「いいえ」が点滅します。



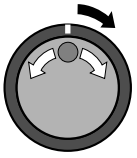


☞ セキュリティロックの管理者パスワードが設定されている場合は、パスワード入力画面が表示します。設定している管理者パスワードを入力してください。（☞ P66）パスワード入力後、〈警告〉画面が表示します。



4 ジョグダイヤルで「はい」に設定し、シャトルダイヤルを回す

“ ハードディスク初期化中！ ”の画面になりハードディスクが初期化され、〈ハードディスク設定〉画面に戻ります。



5 終了/画面表示ボタンを押す

通常の画面へ戻ります。

■ハードディスクを増設する

ハードディスクの増設はお買い上げ販売店にご相談ください。増設の場合には、別売の増設用ハードディスクユニットをご使用ください。

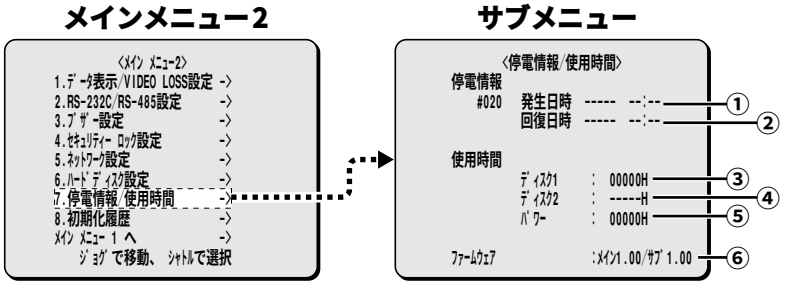
注意：ハードディスクを増設した場合は必ず「初期化」をおこなってください。ハードディスクの初期化は2台とも初期化されますので既存のハードディスクのデータは消去されます。

参考：ハードディスク設定画面

- **ミラーリング：**ハードディスクを増設または160GBハードディスクの場合、同じ映像を2台のハードディスクに録画することができます。そのため映像の書き込み不良が発生しても書き込み不良のない領域から読み出しができます。ミラーリングを設定すると記録スピードの上限が自動的に制限されますので、ご注意ください。
- **再生ディスク：**ミラーリングを設定後、2台のハードディスクのどちらから録画映像を読み出すかの設定ができます。ミラーリングの設定をおこなった状態で、再生画像に異常が発生した場合は現在使用中のハードディスク（ディスク1）からハードディスク（ディスク2）を選択してください。
- **ディスク1のデータをディスク2にコピーする：**ディスク1の記録データをディスク2にコピーすることができます。「次へ」を選択してシャトルダイヤルを右に回してください。コピー画面が表示します。全データのコピーには数時間かかる場合があります。

停電情報／使用時間の表示

メインメニュー②

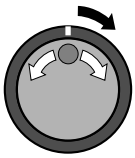


1 メニューボタンを2度押し、〈メインメニュー2〉画面にする

カーソルが「データ表示／VIDEO LOSS設定」に移動しています。

2 ジョグダイヤルでカーソルを「停電情報／使用時間」に移動させ、シャトルダイヤルを右に回す

〈停電情報／使用時間〉のサブメニューになります。
停電の日時やハードディスクなどの使用時間などを確認してください。



3 終了/画面表示ボタンを押す

通常の画面へ戻ります。

（サブメニューについて）

①発生日時
停電時の発生日時を表示します。
左端には停電回数を表示します。（例：＃020）999を越えると000となります。

②復旧時間
停電時の復帰日時を表示します。

③ディスク1
ハードディスク1の総使用時間を表示します。

④ディスク2
ハードディスク2（増設時）の総使用時間を表示します。

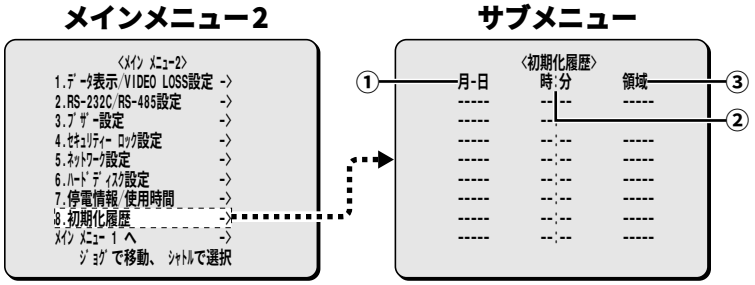
⑤パワー
本機の総通電時間を表示します。

⑥ファームウェア
現在のファームウェアのバージョンが表示します。

注意：電源スイッチで電源を切った場合も、停電として表示されます。

設定

初期化履歴の表示



■初期化履歴の表示

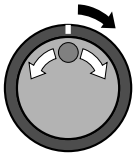
ハードディスクを初期化した日時の履歴を最大8件まで表示させて確認することができます。

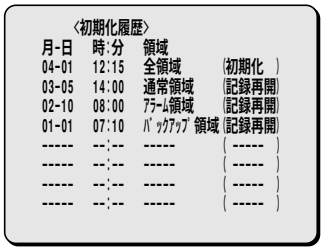
1 メニューボタンを2回押し、〈メインメニュー2〉画面にする

カーソルが「データ表示／VIDEO LOSS設定」に移動しています。

2 ジョグダイヤルでカーソルを「初期化履歴」に移動させ、シャトルダイヤルを右に回す

〈初期化履歴〉のサブメニューになります。初期化した日時の履歴を確認してください。





3 終了/画面表示ボタンを押す

通常の画面へ戻ります。

（サブメニューについて）

①月-日

ハードディスクを初期化した日付を表示します。

②時：分

ハードディスクを初期化した時間を表示します。

③領域

初期化した記録領域を以下の内容より表示します。

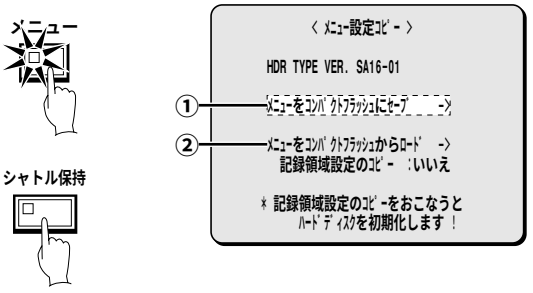
- 全領域（初期化）
- 通常領域（記録再開）
- アラーム領域（記録再開）
- バックアップ領域（記録再開）

メニュー設定の内容をセーブする

メニュー設定で設定した内容をコンパクトフラッシュカードへセーブ（コピー）したり、コンパクトフラッシュカードにセーブした設定内容を本体に読み込む（ロード）ことができます。この機能により、複数台のハードディスクデジタルレコーダーに同じ設定を容易におこなうことができます。

1 〈メインメニュー1〉を表示させて、シャトル保持ボタンを3秒以上押す

〈メニュー設定コピー〉画面が表示します。



①メニューをコンパクトフラッシュにセーブ
メニュー設定の内容をコンパクトフラッシュカードにセーブします。

②メニューをコンパクトフラッシュからロード
コンパクトフラッシュカードから本体へメニュー設定の内容を読み込みます。

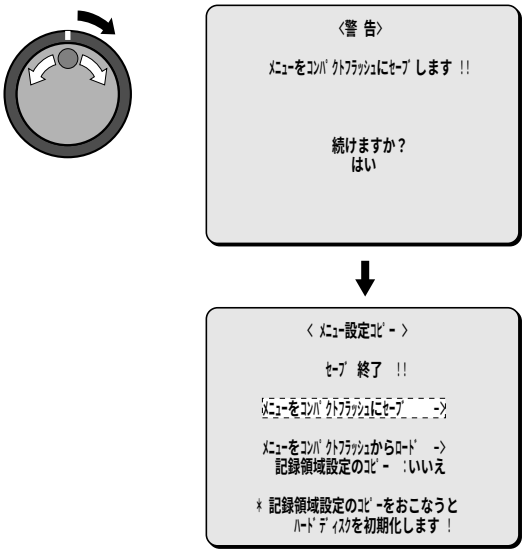
■コンパクトフラッシュにセーブする

1 ジョグダイヤルで「メニューをコンパクトフラッシュにセーブ」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

〈警告〉画面に切り換わります。これは、セーブの確認画面です。

2 セーブする場合はジョグダイヤルで「はい」表示にして、シャトルダイヤルを右に回す

セーブが始まります。セーブが終了すると、「セーブ終了！！」が表示します。コンパクトフラッシュカードのディレクトリーに「MENUCOPY.TXT」というファイルが作成されます。



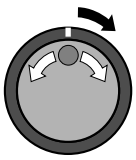
■セーブした設定内容をロードする

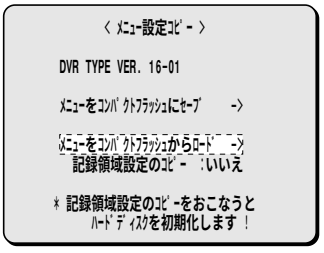
コンパクトフラッシュカードにセーブしたメニュー設定ファイルを本体へ読み込みます。

注意：本体にロードする際に記録領域設定のコピーをおこなうかどうかを選択できます。
すでに映像を記録している機器に、記録領域設定のメニューを読み込むと記録領域の初期化が自動的におこなわれますので、記録済みの情報が全て失われてしまいます。従って、通常は「記録領域設定のコピー」は「いいえ」にしてください。また、「はい」にして読み込むとハードディスクの初期化を伴いますので管理者用の「パスワード入力画面」になります。

1 ジョグダイヤルで「メニューをコンパクトフラッシュからロード」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

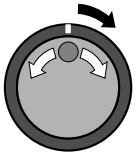
〈警告〉画面に切り換わります。これは、読み込みの確認画面です。

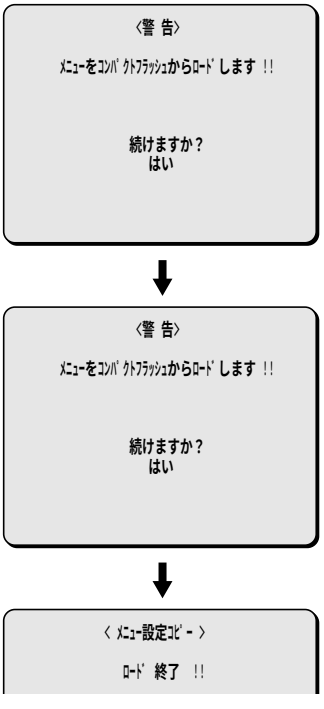




2 ロードする場合はジョグダイヤルで「はい」表示にして、シャトルダイヤルを右に回す

ロードが始まります。ロードが終了すると、「ロード終了！！」が表示します。



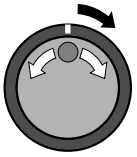


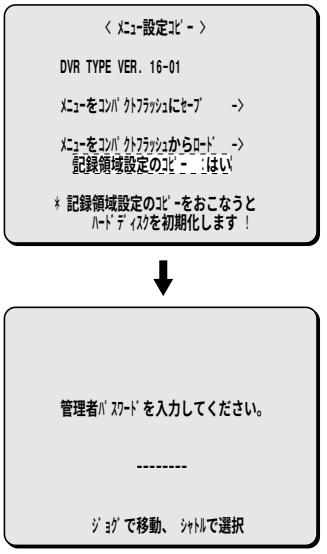
☞ 記録領域設定のコピーをする場合

記録領域の設定をコピーします。
通常は「記録領域設定のコピー」は「いいえ」にしてください。

1 コピーする場合は「記録領域設定のコピー」でジョグダイヤルで「はい」表示にして、シャトルダイヤルを右に回す

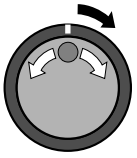
管理者のパスワード入力画面が表示します。
管理者のパスワードを入力してください。(☞ P66) 初期値では「0000」を入力してください。パスワード入力後、〈警告〉画面が表示します。
これはハードディスクを初期化するためのメッセージです。

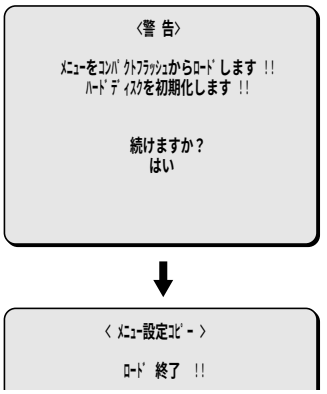




2 コピーする場合は〈警告〉画面でジョグダイヤルで「はい」表示にして、シャトルダイヤルを右に回す

コピーが始まります。コピーが終了すると、「ロード終了！！」が表示します。

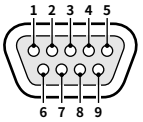




インターフェース仕様

RS-232C

9ピンコネクター仕様



ピン番号	信　号	動　作	信号方向
1	—	—	—
2	RXD	受信データ	コンピュータ→本機
3	TXD	送信データ	本機→コンピュータ
4	—	—	—
5	GND	接地	—
6	—	—	—
7	RTS	送信要求	本機→コンピュータ
8	—	—	—
9	—	—	—

■データ形式

モード	非同期
キャラクター長	8ビット
データ転送速度	2400、4800、9600、19200 bps
パリティチェック	なし
ストップビット	1ビット

■通信プロトコル

通信は1バイト単位で行います。コンピュータが1バイト送信した後、本機から返ってくる返答を待って次のバイトを送信します。
コマンドを開始するときは、ON（F6）コマンドを送り、終了するときはOFF（F7）コマンドを送るまで、本機はコマンドを受け付けます。本機はコマンドを受け取る毎にACK（OA）を返送します。
（☞P81　コマンドテーブル表4）

RS-485

■データ形式

モード	非同期
キャラクター長	8ビット
データ転送速度	2400、4800、9600、19200 bps
パリティチェック	なし
ストップビット	1ビット

■通信プロトコル

当社独自のプロトコル（SSP：Security Serial Protocol）を使用しています。専用コントローラを使用し操作することをお勧めします。専用コントローラについては、お買い上げ販売店へご確認ください。

RS485終端スイッチの設定

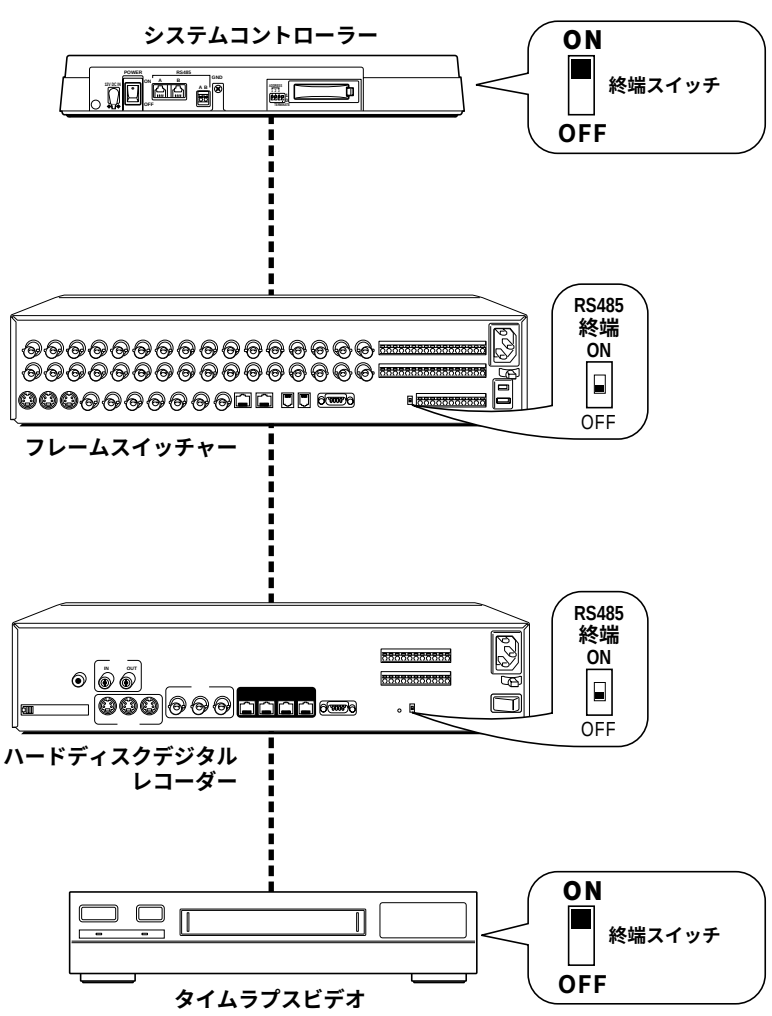
■終端を設定する

複数台の機器を接続した場合、両端の機器には終端設定が必要です。

- 後面パネルのRS485終端スイッチをONに設定して、最終端の機器の終端スイッチをONにしてください。
- 両端以外（始めの機器と終わりの機器）の機器以外は、必ずOFFにしてください。

注意：終端設定をおこなわないと、データが両端で反射して他のデータに影響を与え、各機器に正しいデータが伝わりません。

（例）



■コマンドテーブル（表4）

本機を介して使用できるコマンドは下表のとおりです。
本機に対応する機能がない場合は、コマンドを送信しても動作しません。

上位 / 下位	0	1	2	3	4	5	6	7
0							TIMER ON/OFF	
1								
2								
3						SHIFT←	SHIFT→	
4						SHIFT↑	SHIFT↓	MENU
5							SHIFT＋ /RP UP	
6							SHIFT－ /RP DOWN	
7								
8								
9							SECURITY LOCK ON	
A	ACK			PLAY	SEARCH			
B	NAK							
C							GROUP SET	
D							GROUP CHECK	
E							GROUP CLEAR	
F				STOP	STILL			

上位 / 下位	8	9	A	B	C	D	E	F
0							CLOCK ADJUST	
1							MENU RESET	
2								
3								
4								
5	ZOOM(MPX)							
6								
7						STATUS SENSE		
8						MENU UPLOAD	MENU DOWNLOAD	
9							CLOCK DOWNLOAD	
A					REC			REC/DUB REQUEST
B			FF/ALARM F					
C	CHANNEL		REW/ALARM R					
D	COPY							*RS-485 SEND START
E	OSD/EXIT			STATUSLOG2				*RS-485 RCV CMF.
F				STATUSLOG1	REC STOP			

（注1）□のコマンドは、RS-485で制御時のみに使用する。

アフターサービスについて

この商品は「保証書」を別途添付しております。
保証書は販売店（または工事店）でお渡しいたしますから、所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日から1年間です

- 正常な使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書記載内容により、お買い上げ販売店（または工事店）が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店（または工事店）にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
- 本機（ハードディスクデジタルレコーダー）が故障した場合、稼働していない時間に対する営業損失は補償対象外になります。

■定期点検・保守について

特に監視用などでご使用の場合は、定期点検・保守の実施をおすすめします。
詳しくは、お買い上げ販売店（または工事店）にご相談ください。

■補修用性能部品について

当社は、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後、8年保有しています。
なお、保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な場合は、お買い上げ販売店（または工事店）にご相談ください。

修理を依頼されるときは

下記の事項をお買い上げ販売店（または工事店）にご連絡ください。

① **故障の状況**（できるだけくわしく）

② **品名と品番**（ハードディスクデジタルレコーダー VDH-8000）

③ **お買い上げ年月日**（保証書に記入）

④ **製造番号**（保証書に記入）

⑤ **お名前、おところ、電話番号**

仕　様

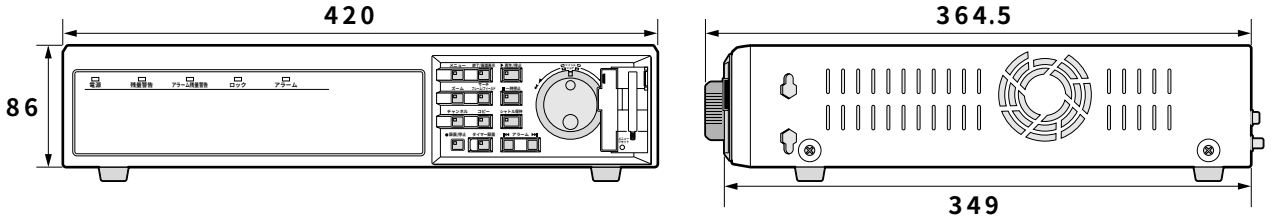
ハードディスク容量	80GB［増設用80GBハードディスク（別売）接続可］
信号方式	NTSCカラーテレビジョン方式準拠
解像度	720×240（フィールド）、720×480（フレーム）
圧縮方式	M-JPEG
記録画質	5レベル［Basic（ラフ画質）、Normal（標準画質）、Enhanced（準高画質）、Fine（高画質）、Super Fine（最高画質）］
記録タイプ	フレームまたはフィールド記録
記録スピード	27レベル
記録領域	通常記録領域 アラーム記録領域 バックアップ領域
再生	再生、一時停止、サーチ
ズーム	ズームボタンで2倍ズーム可（再生モードのみ）
サーチモード	
日付/時刻サーチ	日付と時刻からサーチ
アラームサーチ	アラームリストからサーチ
アラームサムネイルサーチ	アラームサムネイルからサーチ
バックアップサーチ	バックアップ領域のリストからサーチ
動き検出サーチ	モーションセンサーで動き検出サーチ
時刻設定	年/月/日/時/分/秒
ビデオ入力	1V（p-p）、75Ω不平衡、BNC接栓
S映像入力	セパレートYC信号、DINコネクター
デジタル入力	RJ-45×1
デジタルサブ入力	RJ-45×1
音声入力	−8dBs、27kΩ不平衡（RCAピンジャック）
マイク入力	−60dBs、10kΩ不平衡（3.5mmミニジャック）
ビデオ出力	1V（p-p）、75Ω不平衡、BNC接栓
S映像出力	セパレートYC信号、DINコネクター
ループ出力	1V（p-p）、75Ω不平衡、BNC接栓
S映像ループ出力	セパレートYC信号、DINコネクター
デジタル出力	RJ-45×1
デジタルサブ出力	RJ-45×1
音声出力	−8dBs、600Ω不平衡（RCAピンジャック）
コンパクトフラッシュスロット	コンパクトフラッシュType 2（前面パネル）
PCカードスロット	PCMCIA Type 2（後面パネル） SCSIまたはEthernet card
RS-232C端子	9ピン D-SUB（PCへ）
端子	
RS-485端子	プッシュロック、3端子（A、B、GND）
リモートコントロール入力端子	外部スイッチによる接続
アラーム入力端子	通常オープン、Lowレベルアクティブ
アラーム出力端子	通常0V、High（12V）レベルアクティブ
アラームリセット入力端子	通常オープン、Lowレベルアクティブ
SW出力端子	通常5V、Lowレベルアクティブ
VIDEO LOSS／録画停止出力端子	通常0V、High（12V）レベルアクティブ
時計合わせ入力端子	通常オープン、Lowレベルアクティブ
時計合わせ出力端子	通常5V、Lowレベルアクティブ
異常警告出力端子	通常0V、High（12V）レベルアクティブ
残量警告出力端子	通常0V、High（12V）レベルアクティブ
アラーム残量警告端子	通常0V、High（12V）レベルアクティブ
外部タイマー入力端子	通常オープン、Lowレベルアクティブ
タイマー録画出力端子	通常0V、High（12V）レベルアクティブ

電源	AC100V、50/60Hz
消費電力	27W　450mA
許容動作温度	5℃～40℃
許容動作湿度	10～80%
外形寸法	420（W）×86（H）×364.5（D）mm
質量	5.5kg

外観および仕様は、お断りなしに変更することがあります。ご了承ください。

寸法図

単位：mm



前面　　**側面**

この取扱説明書は、古紙配合率100%、白色度70%の再生紙を使用しています。

メ　モ

修理相談窓口

三洋コンシューママーケティング株式会社
受付時間　月曜日～金曜日　9:00～18:30
土曜日・日曜日・祝日　9:00～17:30

修理や部品に関するご相談は、お買い上げ販売店、または下記電話番号にお問い合わせください(修理相談窓口の名称・電話番号は変更することがあります)。

◆東日本コールセンター　東京　☎（03）5302-3401
◆西日本コールセンター　大阪　☎（06）4250-8400

関東・首都圏及び近畿地区以外にお住まいのお客様は、下記の電話をご利用いただけます。

◆東日本コールセンターへの転送電話番号
- ●北海道地区　札幌　☎（011）833-7888
- ●東北地区　仙台　☎（022）382-2213
- ●長野地区　長野　☎（0263）26-1772
- ●新潟地区　新潟　☎（025）285-2451
- ●福島地区　福島　☎（024）945-6811

◆西日本コールセンターへの転送電話番号
- ●北陸地区　金沢　☎（076）237-6650
- ●東海地区　名古屋　☎（052）459-3456
- ●中国地区　広島　☎（082）293-9333
- ●四国地区　高松　☎（087）844-8321
- ●九州地区　福岡　☎（092）922-6111

◆沖縄地区　沖縄　☎（098）944-5018

受付時間　月曜日～土曜日(日曜日、祝日、および当社の休日を除く)
9:00～12:00、13:00～17:30

お客さまメモ

お買い上げの際に記入してください。お問い合わせのときに便利です。

お買い上げ年月日	年　月　日
お買い上げ店名	
電話番号	(　　)　　ー

三洋マルチメディアセールス株式会社

ビジネス東日本営業部 CCTV東日本営業所
〒113-0033 東京都文京区本郷3-22-5　☎ 東京（03）5803-0340

CCTV事業推進部
〒574-8534 大阪府大東市三洋町1-1　☎ 大東（072）870-6133

三洋電機株式会社

コンシューマ企業グループ
DIソリューションズカンパニー CCTVソリューションビジネスユニット
〒574-8534 大阪府大東市三洋町1-1　☎ 大東（072）870-6277

この取扱説明書は、古紙配合率100%、白色度70%の再生紙を使用しています。

1AC6P1P2616-C
L8HAA/JP3（1203KR-SY）